

2025年度シラバス

科目名 ¹	人体の構造と機能		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		解剖生理学の基礎を教授する。当該内容はエステ、ネイル、メイクの施術の際に役立つ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、卒業後に必要な知識を習得する科目。解剖生理学の基礎を習得する。(人体の構造及び機能について簡単に説明することができる)日々学習を継続することができる。健康や美しさを維持するための基礎知識を習得する。						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること						
教科書名 ¹⁴		該当なし			教材名 ¹⁵	教科書以外に使用する参考書、市版本、オリジナルPowerPointなどのタイトル名/著者名/発行元/発行日/改版/関連頁など		
設備名・機器名 ¹⁶		実習機器名・実験機器名・素材名・動物名など			関連サイト ¹⁷	参考となる引用、関連するページタイトル/URL		
関連前科目 ¹⁸		該当なし			関連後科目 ¹⁹	解剖生理学 I		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第 回	○月○日	各回(コマ)同じ主題(タイトル)としない。	記入要領:書体B1Z UD明朝 Medium、フォントサイズ11級、上揃え・左揃え、一行45W×2行までに収めること。				正式な名称を記述する。	
第1回	4月15日	解剖生理学とは	オリエンテーション。解剖生理学を学ぶ目的、役割を理解する				オリジナルPowerPoint	
第2回	4月	細胞とは	細胞とは何かを学ぶ				オリジナルPowerPoint	
第3回	5月13日	組織・器官・系統 骨格系統1	組織・器官・系統とは何かを学ぶ 骨の名称、位置、働きを学ぶ				オリジナルPowerPoint	
第4回	5月20日	骨格系統2	骨の細胞と成長				オリジナルPowerPoint	
第5回	5月27日	筋肉系統1	筋肉の名称と位置、働きを学ぶ				オリジナルPowerPoint	
第6回	6月3日	筋肉系統2	筋肉の名称と位置、働きを学ぶ				オリジナルPowerPoint	
第7回	6月10日	消化器系統1	消化器の構造と働きを学ぶ				オリジナルPowerPoint	
第8回	6月17日	消化器系統2 栄養素	消化器の構造と働きを学ぶ 3大栄養素・ビタミン・ミネラル・カロリー・基礎代謝				オリジナルPowerPoint	
第9回	6月24日	呼吸器 循環器1(血液)	呼吸について学ぶ 循環器について学ぶ(血液成分・働き・循環経路・静脈・動脈・毛細血管)				オリジナルPowerPoint	
第10回	7月1日	循環器2(リンパ)	リンパについて学ぶ リンパとは何か、リンパの流れ				オリジナルPowerPoint	
第11回	7月8日	排泄器	排泄器について学ぶ 腎臓・尿管・尿の生成について学ぶ 腎臓の病気について				オリジナルPowerPoint	
第12回	7月15日	神経系	神経系の基本知識を学ぶ 大脳と神経の伝導・自律神経について				オリジナルPowerPoint	
第13回	7月22日	内分泌1	ホルモンについて学ぶ 作用・分泌のコントロール・内分泌腺の種類				オリジナルPowerPoint	
第14回	7月29日	内分泌2 解剖生理学まとめ	ホルモンについて学ぶ 作用・分泌のコントロール・内分泌腺の種類 1～14回の授業を復習し理解度を高める				オリジナルPowerPoint	
第15回	8月5日	成績判定試験	成績判定試験実施 到達目標 筆記試験(選択問題・記述問題を解くことができる)				オリジナル試験問題	
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) ²¹								
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題) ②記述式問題 授業内で出てきたワード(専門用語)を記述すること ③確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する④授業態度、提出物及び授業への出席状況を評価する。 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀(S):100点～90点
②確認テスト		2位	2位				30	優(A):89点～80点
③課題レポート							なし	良(B):79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D):69点～60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹縄恵理	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	竹縄恵理		
					実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹		皮膚科学		学科名 ² (コース名)		ビューティスペシャリスト科		学年		1学年							
授業形態 ⁴		講義		学期		前期		開講年月 ⁵		4月		該当資格区分 ⁶		該当なし			
教育課程区分 ⁷		必修		単位数 ⁸		1		時間数 ⁹		30		該当資格名称 ¹⁰		該当なし			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		皮膚およびその附属器官の構造、皮膚の循環系と血管の解剖と生理、皮膚と附属器官の一般的生理機能、皮膚と附属器官の保健ならびに疾病の概要等について教授する。															
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		美と健康に関わる皮膚の科学的な正しい知識と技術を習得し、これを活用し実践する能力を身につける 皮膚のトラブルの種類とその対処法を学び現場でお客様に的確にアドバイスすることができる知識を身に付ける															
受講条件		Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること															
教科書名		該当なし						教材名 ¹⁵		オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント							
設備名・機器名		該当なし						関連サイト ¹⁷		日本皮膚科学会HP https://www.dermatol.or.jp/							
関連前科目		該当なし						関連後科目 ¹⁹		解剖生理学 I							
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位												20.					
回(コマ)		開講日		授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標						使用教科書・教材					
第1回		4月16日		皮膚の概要		皮膚の概要、美しい肌の条件を理解する						YIC京都オリジナル教材					
第2回		4月23日		皮膚の構造(1)		皮膚の表面と断面について理解する						YIC京都オリジナル教材					
第3回		5月7日		皮膚の構造(2)		表皮の構造と役目について理解する						YIC京都オリジナル教材					
第4回		5月14日		皮膚の構造(3)		真皮の構造と役目について理解する						YIC京都オリジナル教材					
第5回		5月21日		皮膚の構造(4)		皮下組織の構造と役目について理解する						YIC京都オリジナル教材					
第6回		5月28日		皮膚付属器官の構造		汗腺・皮脂腺・毛・爪の構造について理解する						YIC京都オリジナル教材					
第7回		6月4日		皮膚の生理機能(1)		第1回から第6回までの確認テスト・皮膚の生理機能7つについて理解する						YIC京都オリジナル教材					
第8回		6月11日		皮膚の生理機能(2)		皮膚の生理機能7つについて理解する						YIC京都オリジナル教材					
第9回		6月18日		紫外線と皮膚		紫外線と皮膚への影響について理解する						YIC京都オリジナル教材					
第10回		6月25日		皮膚疾病(1)		ニキビ・ストレスと皮膚について理解する						YIC京都オリジナル教材					
第11回		7月2日		皮膚疾病(2)		シミの種類とスキンケアについて理解する						YIC京都オリジナル教材					
第12回		7月9日		月経周期と皮膚		月経周期と皮膚への影響について理解する						YIC京都オリジナル教材					
第13回		7月16日		皮膚科学まとめ(1)		第7回から第12回までの確認テスト・第1回から第12回の授業総復習グループワーク (発表準備)											
第14回		7月23日		皮膚科学まとめ(2)		第1回から第12回の授業総復習グループワーク (発表)											
第15回		7月30日		成績判定試験		筆記試験											
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。												21.					
出席率80%以上及び ①成績判定試験：筆記試験(選択問題・記述問題) ②確認テスト 中間テスト及び小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する ④作品 グループで1単元の発表資料の作成、発表ができる 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする																	
↓判定方法\該当する観点→				知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		評価配分%		成績評価基準	
①成績判定試験				1位		2位								50		秀 (S) : 100点~90点	
②確認テスト				1位		2位								30		優 (A) : 89点~80点	
③授業態度								2位		1位				10		良 (B) : 79点~70点	
④作品・発表				2位								1位		10		可 (D) : 69点~60点	
																不可 (E) : 59点以下	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。												不合格の場合		再試験			
シラバス作成者		福本真弓		シラバス承認者				授業担当教員		福本真弓							
								実務経験紹介		https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/							
更新履歴																	
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所				作成者		Check者(確認者)							
改1																	
改2																	
改3																	
改4																	
改5																	

2025年度シラバス

科目名 ¹	化粧品化学		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	日本化粧品検定2級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. 化粧品の科学的基礎知識を学ぶ。化粧品の成分、使用目的、安全性、原料や性状を理解しお客様のニーズに合わせてご提案できるための知識を教授する						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 日本化粧品検定2級合格相当の知識を身に付ける 化粧品の成分や働きを理解し、目的に合った使い方が出来るようになる。						
受講条件		13. Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に1年以上在籍していること						
教科書名		14. 日本化粧品検定 2級対策テキスト コスメの教科書 A5版 【第3版】日本化粧品検定 2級対策問題集 A5判			教材名 ¹⁵	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint		
設備名・機器名		16. 投影用プロジェクター設備/PC			関連サイト ¹⁷	17. https://cosme-ken.org/		
関連前科目		18. 人体の構造と機能、皮膚科学、アロマセラピー基礎			関連後科目 ¹⁹	19. メイクアップ総合/ネイル総合/エステ総合		
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月14日	オリエンテーション		オリエンテーション 現在の知識の復習、習得度を把握する				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト
第2回	4月21日 1限	2級試験対策Ⅰ※特別講師		肌タイプの見分け方・肌悩みの原因とお手入れ方法				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト
第3回	4月21日	2級試験対策Ⅲ※特別講師		肌を劣化させる様々な要因について理解する 紫外線が肌に与える影響について理解する				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト
第4回	4月28日 1 限	2級試験対策Ⅲ※特別講師		肌を劣化させる様々な要因について理解する 紫外線が肌に与える影響について理解する				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト
第5回	4月28日	2級試験対策Ⅳ※特別講師		効果的なマッサージの必要性和方法について理解する				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト
第6回	5月12日 1限	2級試験対策Ⅴ※特別講師		美しい肌を作る生活習慣について理解する				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト
第7回	5月12日	2級試験対策Ⅵ※特別講師		模擬試験 日本化粧品検定2級の内容を把握し、答えることができる				日本化粧品検定2級・3級対策テキスト
第8回	5月19日	2級試験対策Ⅶ		模擬試験 日本化粧品検定2級の内容を把握し、答えることができる				オリジナル教材
第9回	5月25日 (日) 2 限	日本化粧品検定 2 級試験		日本化粧品検定2級試験実施				オリジナル教材
第10回	5月26日	化粧品化学Ⅰ		化粧品の原料・界面活性剤について理解する				オリジナル教材
第11回	6月2日	化粧品化学Ⅲ		スキンケアアイテム・メイクアップの原料・成分について学ぶ、クラフト作成				オリジナル教材
第12回	6月9日	化粧品化学Ⅳ		ネイル・ヘアケア・ボディケアの基礎知識・原料・成分について理解する クラフト作成				オリジナル教材
第13回	6月16日	化粧品について		法律・広告やPR・化粧品を安全に使うための基礎知識を習得する				オリジナル教材
第14回	6月23日	総復習		1～12回の授業総復習				オリジナル教材
第15回	7月7日	成績判定試験		選択問題・記述問題				
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
出席率80%以上及び ①成績判定試験 (選択問題・記述式問題) 試験時間50分 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分率で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S) : 100点～90点
②確認テスト		2位	2位				20	優 (A) : 89点～80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可 (D) : 69点～60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	武田周子・奥谷千晴		
					実務経験紹介	該当なし		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	色彩学		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	パーソナルカラー検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	色の持つ文化的、感覚的な力を理解し、メイク、ネイル、トータルコーディネート等の実践に活かせる知識を教授する							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識を習得する科目。 ¹³ パーソナルカラー検定3級合格相当の知識を身に付ける 色の文化、色彩理論、パーソナルカラー、色とファッションについての知識を習得する							
受講条件	Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること							
教科書名 ¹⁴	パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント/CUS®カラーカード157		
設備名・機器名 ¹⁶	該当なし				関連サイト ¹⁷	厚生労働省後援 パーソナルカラー検定ホームページ https://colorist.or.jp/personal-colorist/		
関連前科目 ¹⁸	メイクアップ基礎・メイクセラピー基礎				関連後科目 ¹⁹	メイクアップ総合/ネイル総合/エステ総合		
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月29日	オリエンテーション	授業の目標、目的、成績評価について理解する 色彩学の概要について理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第2回	10月6日	四季を表す色味	春夏秋冬にかかわる色味について理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第3回	10月20日	色の歴史	特徴的な伝統色を知る				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第4回	10月27日	色の生活	衣食住等、周りを取り巻く色味について理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第5回	11月10日	色の種類	色の8系統のそれぞれの特徴について理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第6回	11月17日	色の仕組み	物体色と光源色、無彩色と有彩色の違いについて理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第7回	12月1日	CUS表色系	CUS色相、CUS色調、カラーアンダートーンシステムCUSについて理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第8回	12月8日	色の三属性と対比現象	明度、彩度、色相について理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第9回	12月15日	色の感情効果	明度、彩度、色相に関する心理的効果について理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第10回	12月22日	CUS配色効果	アンダートーンについて理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第11回	1月19日	ファッション概論	基本的な配色テクニックについて理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第12回	2月2日	ブライダルと色彩	ウェディングと配色調和について理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第13回	2月9日	パーソナルカラー	肌色の仕組みについて理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第14回	2月10日	パーソナルカラーの特徴	人の特徴によるアンダートーン、パーソナルカラーを理解する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
第15回	2月16日	総復習	期末試験対策 1～14回目の授業の復習、習得度を把握する				パーソナルカラー検定3級公式テキスト第2版	
	2月17日	成績判定試験	筆記試験 選択問題・記述問題50分					
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題) 試験時間50分 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③課題提出 所定の課題の提出を全体の成績に反映する ④授業態度 授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S): 100点～90点
②確認テスト		2位	2位				10	優(A): 89点～80点
③課題提出		1位	2位				15	良(B): 79点～70点
④授業態度				2位	1位		5	可(D): 69点～60点
⑤作品							なし	不可(E): 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	亀田純代			
				実務経験紹介	該当なし			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所			作成者	Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	ブライダル概論		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ 社会人として人生の節目に行なわれる通過儀礼を滞りなく実行できる冠婚葬祭の一般的な知識、マナーを教授する 当該内容は卒業後、社会人としての立ち居振る舞いに役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、 Diploma Policyの要件を満たす科目 冠婚葬祭基本的知識を身に付け、社会人としての通過儀礼を滞りなく実行でき、業界で働くためのマナー及びモラルを身に付ける							
受講条件	¹³ YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名	¹⁴ 該当なし				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント／オリジナルPowerPoint		
設備名・機器名	¹⁶ 教材投影用プロジェクター・PC（講師用）				関連サイト ¹⁷	一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会ホームページ https://www.zengokyo.or.jp/manner/mannercat/wedding/		
関連前科目	¹⁸ 該当なし				関連後科目 ¹⁹	ビジネスと仕事の実践		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位²⁰

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月21日3限	オリエンテーション	授業の目標、目的、成績評価について理解する 自己紹介実施・ブライダル概論の必要性について理解する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第2回	4月25日	冠婚葬祭Ⅰ	冠婚葬祭、日本の文化について理解する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第3回	5月9日	冠婚葬祭Ⅱ	冠婚葬祭のマナー（水引、熨斗、祝儀袋）について理解する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第4回	5月16日	結婚式用語について	六輝、忌み言葉、業界での用語について理解する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第5回	5月23日	結婚式のマナーⅠ	結婚式に招かれた時のマナーについて理解する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第6回	5月30日	結婚式のマナーⅡ	結婚式においての食事のマナーについて理解する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第7回	6月6日	接客マナーⅠ	対応について学ぶ	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第8回	6月13日	挙式、ドレスの種類	挙式+ドレスの種類について理解する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第9回	6月20日	和装・和婚	和装の花嫁、和装スタイルについて理解する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第10回	6月27日	ブライダル美容Ⅰ	ブライダル業界におけるエステ、メイク、ネイルの必要性について理解する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第11回	7月4日	ブライダル美容Ⅱ	ブライダル美容のスケジュール、注意点について理解する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第12回	7月11日	ブライダル美容Ⅲ	挙式、ドレススタイルに合わせた美容イメージカラーージュを考える	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第13回	7月18日	接客マナーⅡ	各分野での新郎新婦様へのご対応について学ぶ　ロールプレイングを実施する	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第14回	7月25日	ブライダル概論まとめ	1～13回の授業を復習し理解度を高める	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint
第15回	8月1日1限	成績判定試験	成績判定試験実施 到達目標：筆記試験（選択問題、記述式問題）を解くことができる	オリジナルプリント/オリジナルPowerPoint

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。²¹

出席率80%以上及び
①成績判定試験（選択問題・記述式問題） 試験時間50分
①記述式問題 授業内で出てきたワード（専門用語）を記入することができる
②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する
④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する
⑥プレゼンテーション 接客ロールプレイング実施
上記評価点数を下表の配分％で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				40	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				10	優（A）： 89点～80点
③課題レポート	2位	1位				10	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		30	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション（接客ロープレ）				1位	2位	10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者		授業担当教員	楠本五月子
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹		メイクアップ基礎（理論）		学科名（コース名） ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 学年
授業形態 ⁴		講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷		必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	日本メイクアップ知識検定試験ベーシック	
科目の概要（全コマ数を俯瞰して） ¹¹		メイクアップの知識及びスキンケアの基礎知識を教授する。 当該内容は現場での接客、施術の際に役立つ							
科目の到達目標（教育課程の位置づけ） ¹²		当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、 将来卒業後に必要な知識を習得する科目。 日本メイクアップ知識検定試験ベーシック合格相当の知識を身に付ける メイクアップの基礎知識を習得する							
受講条件 ¹³		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名 ¹⁴		(25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級2級 公式テキスト ／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント		
設備名・機器名 ¹⁶		該当なし				関連サイト ¹⁷	一般社団法人JMA公式ホームページ https://www.jma-makeup.or.jp/about/		
関連前科目 ¹⁸		該当なし				関連後科目 ¹⁹	メイクアップⅠ（理論）		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月16日	オリエンテーション		授業のルール、授業の目標、検定内容について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級2級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第2回	4月23日	顔のパーツの名称 メイクアップツール		顔のパーツの名称及び基本のパーツバランスについて覚える メイクアップツールの使い方について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級3級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第3回	5月7日	顔分析・肌分析		自分の顔のパーツバランスを知る 肌のタイプ別特徴を理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級4級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第4回	5月14日	スキンケアの基本		スキンケアの基礎知識を理解する、スキンケアアイテムのそれぞれの役割を理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級5級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第5回	5月21日	メイクアップ基礎理論		メイクアップの効果、色彩の基礎知識について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級6級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第6回	5月28日	ベースメイク理論		ベースメイクアイテムのそれぞれの役割について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級7級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第7回	6月4日	ポイントメイク理論Ⅰ		ハイライト、ローライト、チーク、リップの基礎知識について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級8級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第8回	6月11日	ポイントメイク理論Ⅱ		アイブロウ、アイメイクの基礎知識について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級9級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第9回	6月18日	修整メイクアップⅠ		顔型、顔バランスの修整方法について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級10級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第10回	6月25日	修整メイクアップⅡ		目元、眉、口元の修整方法について理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級11級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第11回	7月2日	検定対策Ⅰ		1～10回の授業内容を復習し理解度を高める				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級12級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第12回	7月9日	検定対策Ⅱ		模擬試験実施 日本メイクアップ知識検定ベーシック合格基準を満たすことが出来る				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級13級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第13回	7月16日	日本メイクアップ知識検定試験ベーシック		検定試験実施				一般社団法人JMA試験問題	
第14回	7月23日	期末試験対策		期末試験のポイントを理解する				25年度改訂版) 日本メイクアップ技術検定試験3級13級 公式テキスト／日本メイクアップ知識検定試験ベーシック 公式問題集	
第15回	7月30日	期末試験		期末試験実施 筆記試験：選択問題80問実施				オリジナルプリント	
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。									
出席率80%以上及び ①成績判定試験（選択問題60・記述式問題20） 設問80問（満点100点）・試験時間50分 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト		1位	2位				20	優（A）：89点～80点	
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点	
④授業態度				2位	1位		10	可（D）：69点～60点	
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下	
⑥プレゼンテーション							なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回	
シラバス作成者		福本真弓		シラバス承認者		授業担当教員	渡辺幸美		
						実務経験紹介	該当なし		
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所			作成者		Check者(確認者)
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

2025年度シラバス

科目名 ¹	「教育課程」と同じ科目名。		学科名 (コース名) ²	「学則」上の名称。略してはならない。				学年 ³	
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	民間検定		
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	アロマテラピー検定2級 アロマテラピー検定1級		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	香りによる心と身体への働きかけ及び活用法について教授する 当該内容社会人としての健康管理、現場での販売、接客、際に役立つ								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、 将来卒業後に必要な知識を習得する科目。 アロマテラピー検定1級、2級合格相当の知識を身に付ける。 香りによる心と身体への働きかけを理解し、接客や日常生活に役立てることができる								
受講条件	Y I C京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること								
教科書名	アロマテラピー検定公式テキスト2020年6月改訂版 アロマテラピー検定公式問題集2020年6月改訂版				教材名 ¹⁵	アロマテラピー検定2級対応 エッセンシャルオイルセット C アロマテラピー検定2級対応 エッセンシャルオイルセット C			
設備名・機器名	該当なし				関連サイト ¹⁷	日本アロマ環境協会ホームページ https://www.aromakankyo.or.jp/licences/aroma/			
関連前科目	該当なし				関連後科目 ¹⁹	サロン運営 I			
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回	10月1日	オリエンテーション	授業の目標、目的、成績評価について理解する アロマテラピーについて理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第2回	10月1日	精油のプロフィール1	イランイラン、クラリセージ、グレープフルーツの精油の特徴について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第3回	10月8日	精油の基礎知識1	精油、芳香物質の定義、性質、役割、抽出法について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第4回	10月8日	精油のプロフィール2	サイプレス、サンダルウッド、ジャーマンカモミールの精油の特徴について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第5回	10月15日	精油の基礎知識2	基材、芳香浴法、木浴法、吸入法、湿布法について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第6回	10月15日	精油のプロフィール3	ジャスミン、ジュンパーベリー、スイートオレンジの精油の特徴について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第7回	10月22日	アロマテラピーのメカニズム	精油が心身に伝わる仕組み、精油の作用について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第8回	10月22日	精油のプロフィール4	スイートマージョラム、ゼラニウム、ティートリーの精油の特徴について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第9回	10月29日	アロマテラピーの歴史1	古代のアロマテラピーについて理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第10回	10月29日	精油のプロフィール5	ネロリ、パチュリ、ブラックペッパーの精油の特徴について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第11回	11月5日	アロマテラピーの歴史2	中世から近世のアロマテラピーについて理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第12回	11月5日	精油のプロフィール6	フランキンセンス、ペチパー、ペパーミントの精油の特徴について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第13回	11月12日	アロマテラピーの歴史3	近代から現代のアロマテラピーについて理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第14回	11月12日	精油のプロフィール7	ベルガモット、ベンゾイン、ミルラの精油の特徴について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第15回	11月19日	アロマテラピーと環境	アロマを活用した化粧水を作成することができる				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第16回	11月19日	精油のプロフィール8	メリッサ、ユーカリ、ラベンダー、レモンの精油の特徴について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第17回	11月26日	精油のプロフィール9	レモングラス、ローズ、ローマンカモミールの精油の特徴について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第18回	11月26日	アロマテラピークラフト作成1	アロマを活用した化粧水を作成することができる				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第19回	12月3日	アロマテラピーに関する法律	アロマテラピーと法律について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第20回	12月3日	アロマテラピークラフト作成2	アロマを活用したトリートメントオイルを作成することができる				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第21回	12月10日	アロマテラピーと健康学1	アロマの活用（睡眠、ストレス）について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第22回	12月10日	アロマテラピークラフト作成3	アロマを活用したハーブティを作ることができる				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第23回	12月17日	アロマテラピーと健康学2	アロマの活用（女性ホルモン）について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第24回	12月17日	アロマテラピークラフト作成4	アロマを活用したバスソルトを作成することができる				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第25回	1月14日	アロマテラピーと健康学3	アロマの活用（スキンケア）症状別の利用法について理解する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第26回	1月14日	アロマテラピークラフト作成5	アロマを活用したクレイパックを作成することができる				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第27回	1月21日	アロマテラピー検定対策1	検定試験対策 1～26回の復習ができる				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第28回	1月21日	アロマテラピー検定対策2	模擬試験実施 現在の習得度を把握する				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第29回	1月28日	アロマテラピーまとめ	期末試験対策 1～28回の復習ができる				アロマテラピー検定公式テキスト アロマテラピー検定公式問題集		
第30回	1月28日	成績判定試験	成績判定試験：筆記試験						
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹									
出席率80%以上及び ①成績判定試験 筆記試験（選択問題）試験時間50分 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 授業への出席状況进行评估する ④作品 アロマクラフトの作成ができる 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト		2位	2位				15	優（A）：89点～80点	
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点	
④授業態度				2位	1位		10	可（D）：69点～60点	
⑤作品			2位	1位			5	不可（E）:59点以下	
⑥プレゼンテーション							なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等	
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	渡辺幸美			
					実務経験紹介	該当なし			
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所			作成者	Checker(確認者)		
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

2025年度シラバス

科目名 ¹	ネイル基礎		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	1学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	4	時間数 ⁹	120	該当資格名称 ¹⁰	ネイリスト技能検定試験3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	正しいネイルケアの方法と、ネイルを美しく保つ技術と知識を教授する。 当該内容は現場での印象管理、接客の際に役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	当該授業の教育課程における位置付けは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識、技術として位置づける ネイリスト技能検定試験3級合格相当の知識、技術を身に付ける ベーシックなネイルケア・カラーリング・ネイルアートの技能と知識の基礎を習得する							
受講条件	Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること							
教科書名	テクニカルシステム ベーシック第4版2025年3月発行 ネイリスト技能検定試験 筆記試験公式問題集				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント/ネイル道具一式		
設備名・機器名	水道				関連サイト ¹⁷	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター https://www.nail-kentei.or.jp/about/		
関連前科目	該当なし				関連後科目 ¹⁹	ネイルⅠ/ネイルⅡ/ネイルⅢ/ネイルⅣ		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月17日	オリエンテーション	授業の内容、目標、成績評価について理解する	テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験
第2回	4月17日	ネイル道具について	道具の検品が出来る テーブルセッティングの持ち物について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第3回	4月17日	ネイル理論1	ネイルの歴史について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第4回	4月17日	ネイル理論2	ネイル技術体系について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第5回	4月24日	ネイル理論3	爪の構造について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第6回	4月24日	ネイル理論4	爪の構造と働きについて理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第7回	4月24日	ネイルケア1	基本的なテーブルセッティングについて理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第8回	4月24日	メイルケア2	用具用材の名称と使用目的、ファイリングの仕方について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第9回	5月8日	ネイル理論5	ネイルのための皮膚科学について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第10回	5月8日	ネイルケア3	カットスタイル別ファイリング5種類について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第11回	5月8日	ネイルケア4	正しいファイリングの扱い方について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第12回	5月8日	ネイルケア5	ファイルを正しく扱うことができる	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第13回	5月15日	ネイル理論6	ネイルのための生理解剖学について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第14回	5月15日	ネイルケア6	安全メタルプッシャーの扱い方について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第15回	5月15日	ネイルケア7	キューティクルクリーンの方法について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第16回	5月15日	ネイルケア8	メタルプッシャーを正しく扱いキューティクルクリーンができる	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第17回	5月22日	ネイル理論7	爪の櫃の病気のトラブルについて理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第18回	5月22日	ネイルケア9	安全なキューティクルニッパーの扱い方について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第19回	5月22日	ネイルケア10	キューティクルニッパーを用いてキューティクルクリーンの方法を理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第20回	5月22日	ネイルケア11	キューティクルニッパーを正しく扱いキューティクルクリーンができる	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第21回	5月29日	ネイル理論8	消毒法について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第22回	5月29日	ネイルケア12	ネイルケアの手順について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第23回	5月29日	ネイルケア13	手順に沿ってネイルケアができる（施術者）	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第24回	5月29日	ネイルケア14	手順に沿ってネイルケアができる（被施術者）	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第25回	6月5日	ネイル理論9	ネイル検定の要点を理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第26回	6月5日	カラーリング1	ネイルポリッシュのカラーリング方法について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第27回	6月5日	カラーリング2	ネイルポリッシュを用いてカラーリングができる（施術者）	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第28回	6月5日	カラーリング3	ネイルポリッシュを用いてカラーリングができる（被施術者）	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第29回	6月12日	ネイル理論10	ネイル検定学科試験の要点を理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第30回	6月12日	ネイルケアカラー1	正しいネイルカラーリングの手順と方法について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第31回	6月12日	ネイルケアカラー2	正しい手順に沿ってカラーリングができる（施術者）	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第32回	6月12日	ネイルケアカラー3	正しい手順に沿ってカラーリングができる（被施術者）	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第33回	6月19日	カラーリング4	効率的なネイルカラーリングの方法について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第34回	6月19日	カラーリング5	材料の扱い方について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第35回	6月19日	カラーリング6	効率的にネイルカラーリングができる（施術者）	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第36回	6月19日	カラーリング7	効率的にネイルカラーリングができる（被施術者）	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第37回	6月26日	ネイル理論11	ネイル検定学科試験問題が解ける	ネイリスト技能検定試験筆記試験
第38回	6月26日	ネイルケアカラー4	安全な道具の扱い方について理解する	ネイリスト技能検定試験筆記試験

2025年度シラバス

第39回	6月26日	ネイルケアカラー5	ネイルケアカラーの効果を高めることができる（施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第40回	6月26日	ネイルケアカラー6	ネイルケアカラーの効果を高めることができる（被施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第41回	7月3日	ネイルアート1	ネイルアート材料の扱い方について理解する	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第42回	7月3日	ネイルアート2	ブラシワークについて理解する	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第43回	7月3日	ネイルアート3	検定課題のフラワーアートが描ける（施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第44回	7月3日	ネイルアート4	検定課題のフラワーアートが描ける（被施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第45回	7月10日	検定対策1	学科試験問題が解ける	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第46回	7月10日	検定対策2	検定試験課題を一連の流れでできる（施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第47回	7月10日	検定対策3	検定試験課題を一連の流れでできる（被施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第48回	7月10日	検定対策4	実技採点の詳細について理解する	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第49回	7月17日	模擬試験1	筆記模擬試験で合格基準を満たすことができる	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第50回	7月17日	模擬試験2	実技模擬試験で合格基準を満たすことができる（施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第51回	7月17日	模擬試験3	実技模擬試験で合格基準を満たすことができる（被施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第52回	7月17日	模擬試験4	実技、筆記試験の課題を把握することができる	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第53回	7月24日	セルフネイルアート1	幾何学模様の描き方について理解する	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第54回	7月24日	セルフネイルアート2	タータンチェックの描き方について理解する	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第55回	7月24日	セルフネイルアート3	幾何学模様、タータンチェックがセルフネイルできる（施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第56回	7月24日	セルフネイルアート4	幾何学模様、タータンチェックがセルフネイルできる（被施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第57回	7月31日	成績判定試験1	成績判定試験 到達目標：実技試験 ネイルケア、カラーリング、ネイルアートを65分で出来る（施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第58回	7月31日	成績判定試験2	成績判定試験 到達目標：実技試験 ネイルケア、カラーリング、ネイルアートを65分で出来る（被施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第59回	7月31日	成績判定試験3	成績判定試験 到達目標：実技試験 ネイルケア、カラーリング、ネイルアートを65分で出来る（施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
第60回	7月31日	成績判定試験4	成績判定試験 到達目標：実技試験 ネイルケア、カラーリング、ネイルアートを65分で出来る（被施術者）	ネイルアート実技検定試験筆記試験				
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。					21.			
出席率80%以上及び ①成績判定試験：実技試験60分（ネイルケア、カラーリング、ネイルアート） 筆記試験30分 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況进行评估する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位				1位	40	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		1位		2位			20	優（A）： 89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度				2位	1位		40	可（D）： 69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	平塚美千子・新宮・吉田			
				実務経験紹介	該当なし			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者		Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクアップ基礎（実習）		学科名 ² （コース名）	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷ 分	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	日本メイクアップ技術検定試験3級	
科目の概要 （全コマ数を俯瞰して）	メイクアップ基礎技術、道具の扱い方、身だしなみ、お客様への声掛け等を教授する 当該内容は卒業後の印象管理、接客、施術の際に役立つ							
科目の到達目標 （教育課程の位置づけ）	当該科目の教育課程における位置づけは学期上の卒業要件をであるとともに、 将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 日本メイクアップ技術検定試験3級合格相当の技術を身に付ける メイクアップ技術の基本を身に付け、相モデルでポイントメイククレンジング～ベースメイク基本、リクルートメイクの基本を身に付ける							
受講条件	YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名	（25年度改訂版）日本メイクアップ技術検定試験3級2級 公式テキスト				教材名 ¹⁵	メイクアップ道具一式		
設備名・機器名	該当なし				関連サイト ¹⁷	一般社団法人JMA公式ホームページ https://www.jma-makeup.or.jp/about/		
関連前科目	該当なし				関連後科目 ¹⁹	メイクアップⅠ（実習）		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回（コマ）	開講日	授業コマの主題（タイトル）		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月16日	オリエンテーション		授業のルール、目標、検定試験について理解する				メイク道具一式 25年度改訂版）日本メイクアップ技術 検定試験3級2級 公式テキスト
第2回	4月16日	メイクアップ道具について		メイクアップ道具の検品、用具の名称、セッティングについて理解する				
第3回	4月23日	セッティング		メイクアップ道具のセッティングの復習をする				
第4回	4月23日	スキンケア実習Ⅰ		ポイントクレンジングの手技、手順を理解する				
第5回	5月7日	スキンケア実習Ⅱ		全体クレンジング、化粧水、乳液の手技、手順を理解する				
第6回	5月7日	スキンケア実習Ⅲ		相モデルで全体クレンジング、化粧水、乳液の施術ができる				
第7回	5月14日	ベースメイク実習Ⅰ		メイクアップベース、コントロールカラー、ファンデーションの手技、手順を理解する				
第8回	5月14日	ベースメイク実習Ⅱ		相モデルでメイクアップベース、コントロールカラー、ファンデーションの施術ができる				
第9回	5月21日	ベースメイク実習Ⅲ		コンシーラー、フェイスパウダーの手技、手順を理解する				
第10回	5月21日	ベースメイク実習Ⅳ		相モデルでコンシーラー、フェイスパウダーの施術ができる				
第11回	5月28日	ポイントメイク実習Ⅰ		チーク、ローライト、ハイライトの手技、手順を理解する				
第12回	5月28日	ポイントメイク実習Ⅱ		相モデルでチーク、ローライト、ハイライトの施術ができる				
第13回	6月4日	チークのバリエーション		チークのバリエーションを増やすことができる				
第14回	6月4日	3級試験対策Ⅰ		3級試験課題所定の時間内で施術することができる				
第15回	6月11日	3級試験対策Ⅱ		3級試験課題を30分で施術することができる（施術者）				
第16回	6月11日	3級試験対策Ⅲ		3級試験課題を30分で施術することができる（被施術者）				
第17回	6月18日	3級試験対策Ⅳ		模擬試験実施 到達目標：日本メイクアップ技術検定試験3級合格基準を満たすことができる（施術者）				
第18回	6月18日	3級試験対策Ⅳ		模擬試験実施 到達目標：日本メイクアップ技術検定試験3級合格基準を満たすことができる（被施術者）				
第19回	6月25日	日本メイクアップ技術検定3級試験		日本メイクアップ技術検定3級試験実施（施術者）				
第20回	6月25日	日本メイクアップ技術検定3級試験		日本メイクアップ技術検定3級試験実施（被施術者）				
第21回	7月2日	フルメイク実習Ⅰ		宝塚メイクの特徴を理解し、相モデルで施術することができる（施術者）				
第22回	7月2日	フルメイク実習Ⅱ		宝塚メイクの特徴を理解し、相モデルで施術することができる（被施術者）				
第23回	7月9日	フルメイク実習Ⅳ		リクルートメイク（成績判定試験課題）の特徴を理解し、施術することができる（施術者）				
第24回	7月9日	フルメイク実習Ⅴ		リクルートメイク（成績判定試験課題）の特徴を理解し、施術することができる（被施術者）				
第25回	7月16日	フルメイク実習Ⅵ		トレンドメイクの特徴を理解し、施術することができる リクルートメイク（成績判定試験）練習（施術者）				
第26回	7月16日	フルメイク実習Ⅶ		トレンドメイクの特徴を理解し、施術することができる リクルートメイク（成績判定試験）練習（被施術者）				
第27回	7月23日	成績判定試験対策		リクルートメイク（成績判定試験課題）実施（施術者） 合格基準を満たすことができる				
第28回	7月23日	成績判定試験対策		リクルートメイク（成績判定試験課題）実施（被施術者） 合格基準を満たすことができる				
第29回	7月30日	成績判定試験		実技試験 リクルートメイク50分 相モデルで実施（施術者）				
第30回	7月30日	成績判定試験		実技試験 リクルートメイク50分 相モデルで実施（被施術者）				
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。								
出席率80％以上及び ①成績判定試験 実技試験 リクルートメイク50分 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 提出物及び授業への出席状況进行评估する 上記評価点数を下表の配分％で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位				20	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者		授業担当教員	渡辺幸美・奥谷千晴			
				実務経験紹介	該当なし			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所			作成者	Check者（確認者）	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	ヘアアレンジ基礎			学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 学年
授業形態 ⁴	実習		学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修		単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		¹¹ ヘアアレンジの基礎知識と技術、道具の扱い方、セルフヘアセットまでを教授する 当該内容は現場での印象管理の際に役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		¹² 当該授業の教育課程における位置付けは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術として位置付ける。 身だしなみのためのセルフヘアセット技術を身に付ける ウィックを使用し編み込みを取り入れたオリジナルのヘアアレンジの習得							
受講条件		¹³ YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名 ¹⁴					該当なし		教材名 ¹⁵	オリジナルプリント	
設備名・機器名 ¹⁶					ヘアアイロン用電気設備（コンセント）		関連サイト ¹⁷	https://www.biteki.com/hair/hair-arrange/369907	
関連前科目 ¹⁸					該当なし		関連後科目 ¹⁹	撮影メイク・ブライダルメイク	
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月14日	オリエンテーション			道具の種類と使用方法について理解する				ヘアアレンジ道具一式
第2回	4月21日	セルフヘアセット基礎Ⅰ			夜会巻きのセルフヘアセットの方法について理解する セルフでのヘアアイロンの使い方、巻き方の基本を習得する				ヘアアレンジ道具一式
第3回	4月28日	セルフヘアセット基礎Ⅱ			セルフで夜会巻きが出来る				ヘアアレンジ道具一式
第4回	5月12日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅰ			ブラッシング、ブロッキング、ピンニングを習得する				ヘアアレンジ道具一式
第5回	5月19日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅱ			ゴムの結び方、根留め（土台）、逆毛の技法を習得する				ヘアアレンジ道具一式
第6回	5月26日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅲ			一束（すき毛あり・すき毛なし等）にまとめることができる				ヘアアレンジ道具一式
第7回	6月2日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅳ			三つ編みの表編み、裏編みの基本を習得する				ヘアアレンジ道具一式
第8回	6月9日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅴ			フィッシュボーン、ロープ編みの基本を習得する				ヘアアレンジ道具一式
第9回	6月16日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅵ			ホットカーラーの巻き方の基本を習得する				ヘアアレンジ道具一式
第10回	6月23日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅶ			ヘアアイロンの注意点、基本の巻き方について理解する				ヘアアレンジ道具一式
第11回	6月30日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅷ			四編みを習得する				ヘアアレンジ道具一式
第12回	7月7日	ヘアアレンジ基礎技術Ⅸ			各セクションより髪をすくい取り編み込みのヘアアレンジができる				ヘアアレンジ道具一式
第13回	7月14日	アップスタイルの創作			編み込みを取り入れたオリジナルヘアアレンジを創作することができる				ヘアアレンジ道具一式
第14回	7月28日	ヘアアレンジまとめ			セルフ夜会巻き、オリジナルヘアアレンジを50分で作成することができる				ヘアアレンジ道具一式
第15回	8月4日	成績判定試験			成績判定試験実施 到達目標：50分でセルフ夜会巻きと試験課題ヘアアレンジの作成することができる				ヘアアレンジ道具一式
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法） ²¹									
出席率80%及び 成績判定試験：50分でセルフ夜会巻きと試験課題ヘアアレンジの作成 授業態度：提出物及び出席状況を評価する 作品：課題作品を全体の評価に反映する									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		2位				1位	70	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点	
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点	
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点	
⑤作品		2位				1位	10	不可（E）：59点以下	
⑥プレゼンテーション							なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等	
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者		授業担当教員	田村綾加・小林昌子				
				実務経験紹介					
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所			作成者		Check者(確認者)	
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

2025年度シラバス

科目名 ¹	着付け		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	着物の種類、着付けの方法について教授する。 当該内容は							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、 Diploma Policyの要件を満たす科目 浴衣、小紋、留袖の着付け方法の違いについて理解する。振袖の着付けができる							
受講条件	Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に1年以上在籍していること							
教科書名 ¹⁴	該当なし				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント/着物小物一式		
設備名・機器名 ¹⁶	着付け室 着付けボディ				関連サイト ¹⁷	京都さがの館ホームページ https://www.saganokan.com/		
関連前科目 ¹⁸	該当なし				関連後科目 ¹⁹	該当なし		
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月29日	オリエンテーション	授業の目標、目的、成績評価について理解する				着物小物一式	
第2回	9月29日	浴衣の着付け	浴衣の自装着付け方法、浴衣の畳み方を理解する				着物小物一式	
第3回	10月6日	小紋の着付け1	タオルを使った補正方法について理解する				着物小物一式	
第4回	10月6日	小紋の着付け2	小紋の着付け、蝶々結び、袴の着付けができる				着物小物一式	
第5回	10月20日	小紋の着付け3	タオルとガーゼを使った補整ができる				着物小物一式	
第6回	10月20日	小紋の着付け4	小紋の着付け、二重太鼓の帯結びができる				着物小物一式	
第7回	10月27日	小紋の着付け5	タオルとガーゼを使った補整ができる (第5回の課題点の改善)				着物小物一式	
第8回	10月27日	小紋の着付け6	留袖の着付け、袋帯の二重太鼓結びができる				着物小物一式	
第9回	11月10日	留袖の着付け1	タオルとガーゼを使った補整ができる				着物小物一式	
第10回	11月10日	留袖の着付け2	留袖の着付け、袋帯の二重太鼓結びができる				着物小物一式	
第11回	11月17日	留袖の着付け3	タオルとガーゼを使った補整ができる (第9回の課題点の改善)				着物小物一式	
第12回	11月17日	留袖の着付け4	留袖の着付け、袋帯の二重太鼓結びができる (第10回の課題点の改善)				着物小物一式	
第13回	12月1日	振袖着付け1	タオル5枚とガーゼを使った補整ができる				着物小物一式	
第14回	12月1日	振袖着付け2	振袖の着付け方法を理解する				着物小物一式	
第15回	12月8日	振袖着付け3	タオル5枚とガーゼを使った補整ができる (第13回の課題点の改善)				着物小物一式	
第16回	12月8日	振袖着付け4	振袖の着付け、袋帯のふくら雀結びができる				着物小物一式	
第17回	12月15日	振袖着付け5	タオル5枚とガーゼを使った補整ができる (第15回の課題点の改善)				着物小物一式	
第18回	12月15日	振袖着付け6	振袖の着付け、袋帯のふくら雀結びができる (第16回の課題点の改善)				着物小物一式	
第19回	12月22日	振袖着付け7	タオル5枚とガーゼを使った補整ができる (第17回の課題点の改善)				着物小物一式	
第20回	12月22日	振袖着付け8	振袖の着付け、袋帯のふくら雀結びができる (第18回の課題点の改善)				着物小物一式	
第21回	1月19日	振袖着付け9	タオル5枚とガーゼを使った補整ができる (第19回の課題点の改善)				着物小物一式	
第22回	1月19日	振袖着付け10	振袖の着付け、袋帯のふくら雀結びができる (第20回の課題点の改善)				着物小物一式	
第23回	1月26日	振袖着付け11	タオル5枚とガーゼを使った補整ができる (第21回の課題点の改善)				着物小物一式	
第24回	1月26日	振袖着付け12	振袖の着付け、袋帯のふくら雀結びができる (第22回の課題点の改善)				着物小物一式	
第25回	2月2日	振袖着付け13	タオル5枚とガーゼを使った補整ができる (第23回の課題点の改善)				着物小物一式	
第26回	2月2日	振袖着付け14	振袖の着付け、袋帯のふくら雀結びができる (第24回の課題点の改善)				着物小物一式	
第27回	2月9日	成績判定試験1	実技試験：振袖着付け、ふくら雀結びができる (施術者)				着物小物一式	
第28回	2月9日	成績判定試験2	実技試験：振袖着付け、ふくら雀結びができる (被施術者)				着物小物一式	
第29回	2月16日	袴の着付け1	袴の着付け、自装、他装ができる (施術者)				着物小物一式	
第30回	2月16日	袴の着付け2	袴の着付け、自装、他装ができる (被施術者)				着物小物一式	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
出席率80%以上及び ①成績判定試験：実技試験 振袖の着付け、ふくら雀結び								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験			2位			1位	100	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト							なし	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度							なし	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載			授業担当教員	株式会社さがの館	
						実務経験紹介	該当なし	
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ^{1.}		メイクセラピー基礎		学科名 ^{2.} (コース名)	ビューティスペシャリスト科(昼)		学年	1学年
授業形態 ^{4.}		実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	2025年4月	該当資格区分 ^{6.}	民間検定
教育課程区分 ^{7.}		必修	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	メイクセラピー検定3級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		メイクセラピーの手法、メイクによる心理的効果、スキンケア、メイクアップの基本を教授する。 当該内容は現場での印象管理、販売、接客の際に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、 将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 メイクセラピー検定3級合格相当の知識を身に付ける。 メイクアップの基本を習得し、印象を変えるセルフメイクができる。						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。						
教科書名		メイクセラピー入門(3級対策)/石井結実子/一般社団法人メイクセラピストジャパンメイクセラピー検定事務局/2019年10月1日/第5版第1刷/1頁～64頁			教材名 ^{15.}	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント/メイク道具		
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC(講師用)			関連サイト ^{17.}	メイクセラピー検定 https://www.maketherapy.com/		
関連前科目		該当なし			関連後科目 ^{19.}	メイクセラピーⅠ		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月18日	メイクセラピーとは		オリエンテーション メイクセラピーの目的・役割を理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第2回	4月25日	メイクセラピーの手法について		メイクセラピーの流れ、カウンセリングの必要性について理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第3回	5月9日	顔と心と化粧の関係		表情と感情の関係について理解する 化粧をする理由について考える				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第4回	5月16日	スキンケア概論		肌タイプの特徴と基礎化粧品目的と使用方法について理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第5回	5月23日	カウンセリング概論		カウンセリングの意義、基本テクニックについて理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第6回	5月30日	カウンセリング実習		傾聴スキルを用いたカウンセリング実習 傾き、相槌をしながら会話をすることができる				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第7回	6月6日	メイクアップ概論Ⅰ		パーツバランスによって与える印象の違いについて理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第8回	6月13日	メイクアップ概論Ⅱ		色彩学の概要について理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第9回	6月20日	メイクアップ概論Ⅲ		ポイントメイクの色、形、質感によって与える印象の違いについて理解する				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第10回	6月27日	セルフメイク実習		キャリア系、癒し系の印象にセルフメイクができる				メイク教材一式 メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第11回	オンデマンド課題	セルフメイク実習Ⅱ		メイクカルテを作成し、メイクのポイントについて説明することができる 練習問題を解き、現時点での理解度、習得度を把握することができる				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第12回	7月4日	3級試験対策Ⅱ		3級試験模擬試験で合格基準を満たすことができる				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第13回	7月11日	メイクセラピー検定3級試験		メイクセラピー検定3級試験実施 到達目標:メイクセラピー検定3級合格				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第14回	7月18日	メイクセラピーまとめ		1～13回の授業を復習し理解度を高める				メイクセラピー入門(3級対策) オリジナルPowerPoint
第15回	7月25日	成績判定試験		成績判定試験実施 到達目標:筆記試験(選択問題、記述式問題)を解くことができる				オリジナル試験問題
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) ^{21.}								
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題) 設問数73問(満点100点)・試験時間50分 ①記述式問題 授業内で出てきたワード(専門用語)とそれに伴う活用場面で100文字以上記述すること ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点～90点
②確認テスト		1位	2位				20	優(A):89点～80点
③課題レポート							なし	良(B):79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D):69点～60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者		福本真弓	シラバス承認者		山根大助	授業担当教員	福本真弓	
						実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/	
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所			作成者	Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ^{1.}	エステ基礎		学科名 ^{2.} (コース名)	ビューティスペシャリスト科		学年	1学年
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	3	時間数 ^{9.}	90	該当資格名称 ^{10.}	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	^{11.} 本授業では、エステティックの基礎技術として、特に需要の高い美脚マッサージの知識と技術を学びます。 ^{12.} 脚の構造理解に基づいたリンパ・血流促進技術を身につけ、むくみ・冷え・セルライトへの対応、そして見た目の変化を実感できる施術を目指します。 また、エステティシャンはもちろん、**美容部員やネイリストとして活躍する学生にとっても、「トータルビューティの一部としての脚ケアの重要性」** を理解し、将来的なサービス提案力の幅を広げることを目的とします。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	^{13.} 脚の骨格・筋肉・リンパ・血流の基本構造を理解し、適切なマッサージ手順を説明できる。 むくみや冷え、疲労、セルライトなど脚特有の悩みに対して、理論に基づいたマッサージアプローチができる。 衛生管理・禁忌事項・力加減など、安全に配慮した施術を正しく実施できる。 実技トレーニングを通じて、正しい姿勢・手技の習得とともに、接客対応の基本も身につけられる。 美脚マッサージの効果や魅力を第三者に説明できるプレゼンテーション力・提案力を養う						
受講条件	YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。 出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行なわない						
教科書名 ^{14.}				教材名 ^{15.}	オリジナルPowerPoint		
設備名・機器名 ^{16.}	教材投影用プロジェクター・PC（講師用）TVモニター			関連サイト ^{17.}			
関連前科目 ^{18.}	該当なし			関連後科目 ^{19.}	エステ（ボディ）		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回～第3回	4月15日	オリエンテーション	エステティックとは 授業の受け方 美脚マッサージを学ぶ意義 身だしなみ 正しい姿勢			オリジナルPowerPoint	
第4回～第6回	5月13日	事前準備	ホットタオルの作り方・ワゴンセット・ベッドセット ・ターバンの巻き方・タオルセットの方法を学ぶオンデマンド課題1コマ分			オリジナルPowerPoint	
第7回～第9回	5月20日	ヒップアップの手技、指圧を学ぶ	オイル塗布・軽擦 (圧を抜く・密着する・姿勢に気をつける) バイブレーション・プレシオン（指圧）			オリジナルPowerPoint	
第10回～第12回	5月27日	足裏のマッサージを学ぶ 強擦法 切打法を学ぶ	かかとの強擦・足の裏の切打・足の裏の圧迫			オリジナルPowerPoint	
第13回～第15回	6月3日	足裏のマッサージを学ぶ 足裏の血行促進方法を学ぶ	足の裏8の字・足の裏のプレシオン・足の裏の指圧			オリジナルPowerPoint	
第16回～第18回	6月10日	ふくらはぎのマッサージを学ぶ タッピング法を習得する	腓腹筋のマッサージ ①腓腹筋のマッサージ ②タッピング			オリジナルPowerPoint	
第19回～第21回	6月17日	ふくらはぎのマッサージを学ぶ 足首ストレッチ法を習得する	内分泌のツボ・足首のストレッチ・足のストレッチ			オリジナルPowerPoint	
第22回～第24回	6月24日	マッサージ後の効果検証	オイル塗布から足のストレッチまで通し（左右の脚で実践） 疑問点・苦手部分を確認する			オリジナルPowerPoint	
第25回～第27回	7月1日	セルライトにアプローチする マッサージを学ぶ ベトリサーージュを習得する	ベトリサーージュ (体の移動・密着を習得する)			オリジナルPowerPoint	
第28回～第30回	7月8日	ふくらはぎの血行を促進する マッサージを学ぶ 1 切打法を習得する	切打 (体の動き・手の動きを習得する)			オリジナルPowerPoint	
第31回～第33回	7月15日	ふくらはぎの血行を促進する マッサージを学ぶ 2 拍打法を習得する	拍打 (手の動きを習得する)			オリジナルPowerPoint	
第34回～第36回	7月22日	マッサージ後の沈静方法を学ぶ 擦り上げを習得する	擦り上げ (手の動き・手の圧・密着を習得する)			オリジナルPowerPoint	
第37回～第39回	7月29日	フットマッサージ全工程 復習 1	下肢背面 通し確認（左右の脚で実施） 疑問点・苦手部分の克服 下肢背面 通し計測			オリジナルPowerPoint	
第40回～第42回	8月5日	フットマッサージ全工程 復習 2	期末テスト詳細連絡 下肢背面 通し計測			オリジナルPowerPoint	
第43回～第45回	8月6日	期末試験実施	期末試験実施			オリジナルPowerPoint	
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}							
①実技期末試験（配点90点）身だしなみ、事前準備、衛生面、モデルへの気遣い、マッサージの各工程が正しくできているかを評価、（詳細は別紙参照）							
②授業態度（配点10%）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①実技期末試験		2位	3位			1位	90
②授業態度				2位	1位		10
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	田澤 初美	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	田澤 初美	
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所		作成者	Checker(確認者)	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

2025年度シラバス

科目名 ¹	ビジネスと仕事の実践		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ 社会人基礎力・ビジネスマナー・サロン運営について教授する 当該内容は社会人としての振る舞いに役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、 将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 社会人として必要な基礎知識を身に付け、ビジネス感覚を養う 個人サロンの考案、企画、プレゼンテーションができる							
受講条件	¹³ Y I C京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に1年以上在籍していること							
教科書名	¹⁴ 該当なし				教材名	¹⁵ オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント		
設備名・機器名	¹⁶ 投影用プロジェクター/PC (講師用)				関連サイト	¹⁷		
関連前科目	¹⁸ プライダル概論、サービス接遇特論				関連後科目	¹⁹ サロン運営Ⅰ、サロン運営Ⅱ、ソーシャルメディア活用概論		
²⁰ 授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月14日	オリエンテーション	授業の目標・目的、成績評価について理解する 仕事と作業について理解する				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第2回	5月19日	ビジネスマナーⅠ	基本的なビジネスマナーについて説明することができる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第3回	5月26日	ストレスについて	ストレスについて理解し、体調管理やストレスマネジメントに活かすことができる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第4回	6月2日	クレーム対応Ⅰ	クレーム発生のメカニズムについて理解する				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第5回	6月9日	クレーム対応Ⅱ	クレーム発生の対応について理解する				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第6回	6月16日	プレゼンテーションⅠ	プレゼンテーションの目的について理解する※確認テスト				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第7回	6月23日	プレゼンテーションⅡ	序論・本論・結論の構成で商品のプレゼンテーションができる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第8回	6月30日	お金と仕事Ⅰ※特別講師	家計管理、給与明細の見方について理解する				SMBC様オリジナルプリント・オリジナルPowerPoint	
第9回	6月30日	お金と仕事Ⅱ※特別講師	ローン、クレジットについて理解する				SMBC様オリジナルプリント・オリジナルPowerPoint	
第10回	7月7日	サロン考案Ⅰ	サロン運営について理解する※確認テスト				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第11回	7月14日	サロン考案Ⅱ	個人サロンの事業計画書が作成できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第12回	オンデマンド課題	サロン考案Ⅲ	個人店のチラシを作成することができる					
第13回	7月28日	プレゼンテーションⅢ	個人サロンのプレゼンテーションが出来る (成績評価)					
第14回	7月28日	プレゼンテーションⅣ	個人サロンのプレゼンテーションを聞き評価することができる					
第15回	8月4日	成績判定試験	成績判定試験実施					
²¹ 成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
出席率80%以上及び ①成績判定試験: 筆記試験 (選択問題・記述問題) ①記述式問題 授業内で出てきたワード (専門用語) を記入すること ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する ⑤プレゼンテーション: 序論・本論・結論でストーリーが組み立てられているか 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト		2位	2位				10	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		20	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション			2位			1位	20	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	福本真弓		
					実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	サービス接遇		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	サービス接遇検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ ビューティ業界で働くにあたり必要な心構えと基本的なサービス接遇マナーを教授する 当該内容は卒業後、社会人としての立ち居振る舞いに役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、 Diploma Policyの要件を満たす科目 サービス接遇3級試験合格相当の知識を身に付ける 社会人基礎力の向上を目指し、基本的な接客、接遇マナーを身に付ける							
受講条件	¹³ YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名	¹⁴ サービス接遇検定 3級公式テキスト公益財団法人 実務技能検定協会 編 A5判／146P サービス接遇検定3級 実問題集 (第52回～第58回) ¹⁶ サービス接遇検定1-2級 実問題集 (第52回～第58回)				教材名 ¹⁵	¹⁷ オリジナルプリント		
設備名・機器名	ホワイトボード				関連サイト	公益財団法人 実務技能検定協会 https://jitsumu-kentei.jp/SV/index		
関連前科目 ¹⁸	該当なし				関連後科目 ¹⁹	サービス接遇特論		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月18日	オリエンテーション	授業の目的、目標、検定試験について理解する	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定3級 実問題集
第2回	4月25日	3級試験対策1	必要とされる要件、従業要件を理解し、表現が出来る	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定3級 実問題集
第3回	5月9日	3級試験対策2	サービスの意義、機能、種類を理解する/商業用語、経済用語が理解できる	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定3級 実問題集
第4回	5月16日	3級試験対策3	社会常識、時事問題が理解できる	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定3級 実問題集
第5回	5月23日	3級試験対策4	一般駅な人間関係や対人心理、マナーが理解できる	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定3級 実問題集
第6回	5月30日	3級試験対策5	接遇用語を理解し、基本的な話し方ができる	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定3級 実問題集
第7回	6月6日	3級試験対策6	問題処理、環境整備、金品管理について理解する	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定3級 実問題集
第8回	6月13日	2級・準1級対策1	丁寧語、謙譲語、尊敬語を理解する	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定1-2級 実問題集
第9回	6月20日	2級・準1級対策2	基本の挨拶言葉、お辞儀ができる	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定1-2級 実問題集
第10回	6月27日	2級・準1級対策3	TP0に合わせた話し方、服装ができる	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定1-2級 実問題集
第11回	7月4日	2級・準1級対策4	サービスの種類を理解する	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定1-2級 実問題集
第12回	7月11日	2級・準1級対策5	接遇用語を理解し、基本的な話し方ができる	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定1-2級 実問題集
第13回	7月18日	2級・準1級対策6	接客実習 お会計対応ができる	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定1-2級 実問題集
第14回	7月25日	2級・準1級対策7	1～13回の授業を復習し理解度を高める	サービス接遇検定 3級公式テキスト サービス接遇検定1-2級 実問題集
第15回	8月1日2限	成績判定試験	成績判定試験実施 目標：実技試験	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹

出席率80%以上及び ①成績判定試験 実技試験＋課題レポート ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		2位				1位	70
②確認テスト	1位	2位					10
③課題レポート		1位	2位				5
④授業態度			2位	1位			15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
							再試験1回

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者		授業担当教員	城戸さち子
				実務経験紹介	該当なし

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹		メイクアップⅠ（理論）		学科名（コース名） ²		ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース		学年	³ 学年
授業形態 ⁴		講義	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷		選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	日本メイクアップ知識検定試験アドバンス	
科目の概要 （全コマ数を俯瞰して）		¹¹ メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などのメイクアップ知識を教授する 当該内容は現場での販売、接客、施術の際に役立つ							
科目の到達目標 （教育課程の位置づけ）		¹² 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、 将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 日本メイクアップ知識検定アドバンス合格相当の知識を身に付ける メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などののメイクアップ知識が説明できる							
受講条件		¹³ Y I C京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科メイクアップアドバイザーコースに在籍していること メイクアップ基礎（理論）履修済み							
教科書名		¹⁴ 日本メイクアップ知識検定試験アドバンス 公式テキスト [61500] 日本メイクアップ知識検定試験アドバンス 公式問題集 [61080]				教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント		
設備名・機器名		¹⁶ 投影用プロジェクター/講師用PC				関連サイト ¹⁷	一般社団法人JMAホームページ		
関連前科目		¹⁸ メイクアップ基礎				関連後科目 ¹⁹	メイクアップⅡ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位									
回（コマ）	開講日	授業コマの主題（タイトル）		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月29日	オリエンテーション		授業の目標・ルール・検定について理解する 現在の習得度、理解度を把握する				日本メイクアップ知識検定試験 アドバンス 公式テキスト 日本メイクアップ知識検定試験 アドバンス 公式問題集 YIC京都オリジナル教材	
第2回	10月6日	顔の成り立ちⅠ		骨格・筋肉・皮膚・皮膚の生理機能について理解する					
第3回	10月20日	顔の成り立ちⅡ		肌タイプ・季節と肌・紫外線と肌について理解する					
第4回	10月27日	化粧品学		化粧品の定義について理解する					
第5回	11月10日	顔のバランスと印象Ⅰ		顔のバランス、肌色の印象について理解する					
第6回	11月17日	顔のバランスと印象Ⅱ		顔の印象の分類について理解する					
第7回	12月1日	メイクアップ理論Ⅰ		メイクアップの効果、色彩とメイクアップについて理解する					
第8回	12月8日	メイクアップ理論Ⅱ		メイクアップの質感、形とイメージについて理解する					
第9回	12月15日	メイクアップのテクニック		ベースメイク、ポイントメイクについて理解する					
第10回	12月22日	メイクアップのイメージ理論		メイクアップの強弱のポイントについて理解する					
第11回	1月19日	顔分析と修整メイク		加齢による顔の変化とメイクアップの修整について理解する					
第12回	2月2日	メイクアップ理論Ⅲ		男性の肌、アイラッシュについて理解する					
第13回	2月9日	模擬試験		総復習					
第14回	2月10日	日本メイクアップ知識検定アドバンス		日本メイクアップ知識検定アドバンス試験実施					
第15回	2月16日	期末試験		筆記試験					
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。									
出席率80%以上及び ①成績判定試験：筆記試験（選択問題・記述式問題） ①記述式問題 授業内で出てきたワード（専門用語）を記入すること ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト		2位	2位				20	優（A）： 89点～80点	
③課題レポート							なし	良（B）： 79点～70点	
④授業態度				2位	1位		10	可（D）： 69点～60点	
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下	
⑥プレゼンテーション							なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回	
シラバス作成者		福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	福本真弓		
						実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/		
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者（確認者）	
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクアップⅠ（実習）		学科名 ² （コース名）	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース			学年 1	1 ³ 学年	
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	民間検定		
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	日本メイクアップ技術検定試験2級		
科目の概要 （全コマ数を俯瞰して）	メイクアップの基礎知識・ベーシック～応用技術・アイテムの知識を教授する 容は顧客や社会のために誠実な思いを持って提供するメイクアップに携わる職業に役立つ							当該内	
科目の到達目標 （教育課程の位置づけ）	当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。日本技術メイクアップ技術検定試験2級合格相当の知識を身に付ける。モデルの顔分析をし基本のバランスにフルメイクを身につける。メイクアイテムを理解し用途に応じて使い分ける知識を身につける。								
受講条件	Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科メイクアップアドバイザーコースに在籍していること メイクアップ基礎（理論）、メイクアップ基礎（実習）履修済み								
教科書名	14（25年度改訂版）日本メイクアップ技術検定試験3級2級 公式テキスト・YICオリジナル教材				教材名 ¹⁵	メイクアップ道具一式			
設備名・機器名	16該当なし				関連サイト ¹⁷	一般社団法人JMA公式ホームページ https://www.jma-makeup.or.jp/about/			
関連前科目	18メイクアップ基礎（実習）				関連後科目 ¹⁹	メイクアップⅡ			
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位									20.
回（コマ）	開講日	授業コマの主題（タイトル）	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材	
第1回		オリエンテーション	JMA2級試験内容、授業の目標、目的、成績評価について理解する					1 1 6 ・ <	

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクアップⅡ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース			学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	4	時間数 ⁹	120	該当資格名称 ¹⁰	日本メイクアップ技術検定1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		技術力・接客力・知識力を高め、メイクアップの修整、イメージ応用までを教授する。 当該内容は現場での接客、販売、メイクアップの提供、お客様へのアドバイスに役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該授業の教育課程における位置付けは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識、技術として位置づける。 日本メイクアップ技術検定1級合格相当の知識、技術を身に付ける。 メイクアップの応用テクニックを習得し、イメージメイク、メイクアップの修整ができるようになる						
受講条件		メイクアップⅠ（理論）、メイクアップⅠ（実習）履修済み						
教科書名		日本メイクアップ技術検定試験1級公式テキスト			教材名 ¹⁵	オリジナルプリント/メイク道具一式		
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC			関連サイト ¹⁷	一般社団法人JMA https://www.jma-makeup.or.jp/		
関連前科目		メイクアップⅠ（理論）、メイクアップⅠ（実習）			関連後科目 ¹⁹	メイクアップ総合		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月15日	オリエンテーションⅠ	授業の目的、目標、内容を理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第2回	4月15日	オリエンテーションⅡ	日本メイクアップ技術検定1級試験の合格基準、内容を理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第3回	4月15日	カウンセリング法	顔分析、メイクアップにおけるカウンセリング法を理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第4回	4月15日	アドバイス法	メイクアップにおけるアドバイス法を理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第5回	4月22日	キュートメイクⅠ	キュートメイクの基本の理論について理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第6回	4月22日	キュートメイクⅡ	キュートメイクの色彩、パーツバランス、コスメティクスの質感について理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第7回	4月22日	キュートメイクⅢ	相モデルでキュートメイク実習（施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第8回	4月22日	キュートメイクⅣ	相モデルでキュートメイク実習（被施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第9回	5月13日	キュートメイク応用Ⅰ	顔分析、キュートメイクの似合わせメイクと修整メイクについて理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第10回	5月13日	キュートメイク応用Ⅱ	キュートメイクを利用したエイジングメイクとスキンケアアドバイス				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第11回	5月13日	キュートメイク応用Ⅲ	相モデルでキュートメイク応用実習（施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第12回	5月13日	キュートメイク応用Ⅳ	相モデルでキュートメイク応用実習（被施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第13回	5月20日	フレッシュメイクⅠ	フレッシュメイクの基本の理論について理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第14回	5月20日	フレッシュメイクⅡ	フレッシュメイクの色彩、パーツバランス、コスメティクスの質感について理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第15回	5月20日	フレッシュメイクⅢ	相モデルでフレッシュメイク実習（施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第16回	5月20日	フレッシュメイクⅣ	相モデルでフレッシュメイク実習（被施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第17回	5月27日	フレッシュメイク応用Ⅰ	顔分析、フレッシュメイクの似合わせメイクと修整メイクについて理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第18回	5月27日	フレッシュメイク応用Ⅱ	フレッシュメイクを利用したエイジングメイクとスキンケアアドバイス				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第19回	5月27日	フレッシュメイク応用Ⅲ	相モデルでフレッシュメイク応用実習（施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第20回	5月27日	フレッシュメイク応用Ⅳ	相モデルでフレッシュメイク応用実習（被施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第21回	6月3日	エレガントメイクⅠ	エレガントメイクの基本の理論について理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第22回	6月3日	エレガントメイクⅡ	エレガントメイクの色彩、パーツバランス、コスメティクスの質感について理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第23回	6月3日	エレガントメイクⅢ	相モデルでエレガントメイク実習（施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第24回	6月3日	エレガントメイクⅣ	相モデルでエレガントメイク実習（被施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第25回	6月10日	エレガントメイク応用Ⅰ	顔分析、エレガントメイクの似合わせメイクと修整メイクについて理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第26回	6月10日	エレガントメイク応用Ⅱ	エレガントメイクを利用したエイジングメイクとスキンケアアドバイス				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第27回	6月10日	エレガントメイク応用Ⅲ	相モデルでエレガントメイク応用実習（施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第28回	6月10日	エレガントメイク応用Ⅳ	相モデルでエレガントメイク応用実習（被施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第29回	6月17日	クールメイクⅠ	クールメイクの基本の理論について理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第30回	6月17日	クールメイクⅡ	クールメイクの色彩、パーツバランス、コスメティクスの質感について理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第31回	6月17日	クールメイクⅢ	相モデルでクールメイク実習（施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第32回	6月17日	クールメイクⅣ	相モデルでクールメイク実習（被施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第33回	6月24日	クールメイク応用Ⅰ	顔分析、クールメイクの似合わせメイクと修整メイクについて理解する				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第34回	6月24日	クールメイク応用Ⅱ	クールメイクを利用したエイジングメイクとスキンケアアドバイス				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第35回	6月24日	クールメイク応用Ⅲ	相モデルでクールメイク応用実習（施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	
第36回	6月24日	クールメイク応用Ⅳ	相モデルでクールメイク応用実習（被施術者）				日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式	

2025年度シラバス

第37回	7月1日	エイジングメイクⅠ	加齢とメイクアップについて理解する	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第38回	7月1日	エイジングメイクⅡ	エイジングメイクアップのポイントについて理解する	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第39回	7月1日	エイジングメイクⅢ	相モデルでメイク実習（施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第40回	7月1日	エイジングメイクⅣ	相モデルでメイク実習（被施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第41回	7月8日	メンズメイクⅠ	男性の肌とスキンケアアドバイスについて理解する	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第42回	7月8日	メンズメイクⅡ	メンズメイクの基本的ポイントについて理解する	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第43回	7月8日	メンズメイクⅢ	相モデルでメンズメイク実習（施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第44回	7月8日	メンズメイクⅣ	相モデルでメンズメイク実習（被施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第45回	7月15日	1級試験対策Ⅴ	1級試験課題を通して実施することができる（施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第46回	7月15日	1級試験対策Ⅵ	1級試験課題を通して実施することができる（被施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第47回	7月15日	1級試験対策Ⅶ	問題点、課題の発見をすることができる	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第48回	7月15日	1級試験対策Ⅷ	問題点、課題の修整が出来る	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第49回	7月22日	1級試験対策Ⅸ	1級試験課題を時間内に実施することができる（施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第50回	7月22日	1級試験対策Ⅹ	1級試験課題を時間内に実施することができる（被施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第51回	7月22日	1級試験対策Ⅺ	課題のメイクの修整、改善が出来る（施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第52回	7月22日	1級試験対策Ⅻ	課題のメイクの修整、改善が出来る（被施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第53回	7月29日	期末試験Ⅰ	成績判定試験：事前審査・カウンセリング・イメージメイクが出来る（施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第54回	7月29日	期末試験Ⅱ	成績判定試験：アドバイスシートが書ける。実技審査実施する（施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第55回	7月29日	期末試験Ⅲ	成績判定試験：事前審査・カウンセリング・イメージメイクが出来る（被施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第56回	7月29日	期末試験Ⅳ	成績判定試験：アドバイスシートが書ける。実技審査実施する（被施術者）	日本メイクアップ技術検定1級公式テキスト/メイク道具一式
第57回	8月5日	日本メイクアップ技術検定1級試験	日本メイクアップ技術検定1級試験の前半課題が出来る（施術者）	
第58回	8月5日	日本メイクアップ技術検定1級試験	日本メイクアップ技術検定1級試験の後半課題が出来る（施術者）	
第59回	8月5日	日本メイクアップ技術検定1級試験	日本メイクアップ技術検定1級試験の前半課題が出来る（被施術者）	
第60回	8月5日	日本メイクアップ技術検定1級試験	日本メイクアップ技術検定1級試験の後半課題が出来る（被施術者）	

成績評価方法	21.
--------	-----

出席率80%以上及び
①成績判定試験 実技試験（カウンセリングスキンケア15分、下地～モデルリクエストをふまえたイメージメイク30分、アドバイスシート5分）
②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する
③授業態度 提出物及び出席状況を評価する

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位			1位	70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位			1位	10	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	毛利美保
				実務経験紹介	該当なし

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	ブライダルメイク		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース			学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11 ブライダル業界におけるヘア・メイク・衣装などの知識、技術を教授する。 当該内容は卒業後のキャリアアップの際に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12 当該授業の教育課程における位置付けは、学則上の卒業要件である。 成人式、卒業式、結婚式の衣装に合わせたヘアメイクの習得						
受講条件		13 ヘアアレンジ基礎、イメージメイク基礎、メイクアップⅠ（実習）、メイクセラビーⅠ履修済み						
教科書名		14 該当なし			教材名	15 オリジナルプリント		
設備名・機器名		16 ヘアアイロン用電気設備（コンセント）			関連サイト	17 https://zexy.net/article/app000002195/		
関連前科目		18 ヘアアレンジ基礎			関連後科目	19 メイクアップ総合		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月14日	オリエンテーション	授業の目的、目標、内容を理解する				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第2回	4月14日	技術チェック	現時点でのヘアメイク技術の理解度、習得度を把握する				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第3回	4月21日	カウンセリング	ブライダルヘアメイクのカウンセリングについて理解する				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第4回	4月21日	アップスタイル実習	相モデル実習、アップスタイル2パターンの方法を理解する				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第5回	4月28日	和装、洋装について	和装、洋装のメイクの違いについて理解する				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第6回	4月28日	ヘアメイク実習Ⅰ	相モデル実習、洋装のオーダーにメイクを仕上げることができる				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第7回	5月12日	アテンドについて	ヘアメイクのアテンドについて理解する				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第8回	5月12日	ヘアメイク実習Ⅱ	相モデル実習、和装のオーダーにメイクを上げることができる				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第9回	5月19日	ヘアメイク実習Ⅲ	洋装から和装へのヘアチェンジ方法について理解する				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第10回	5月19日	ヘアメイク実習Ⅳ	相モデル実習、洋装から和装にヘアメイクチェンジができる				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第11回	5月26日	ヘアメイク実習Ⅴ	和装から洋装へのヘアチェンジ方法について理解する				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第12回	5月26日	ヘアメイク実習Ⅵ	相モデル実習、和装から洋装にヘアメイクチェンジが出来る				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第13回	6月2日	衣装について	成人式、卒業式、結婚式の衣装について理解する				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第14回	6月2日	ヘアメイク実習Ⅶ	相モデル実習、式典に合わせたヘアメイクが出来る				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第15回	6月9日	衣装合わせⅠ	ドレスフィッティング、衣装合わせについて理解する				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第16回	6月9日	衣装合わせⅡ	ドレスフィッティング、衣装合わせができる				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第17回	6月16日	ブライダルヘアメイクⅠ	ウエディングドレスに合わせたヘアメイク実習（施術者）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第18回	6月16日	ブライダルヘアメイクⅡ	ウエディングドレスに合わせたヘアメイク実習（被施術者）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第19回	6月23日	ブライダルヘアメイクⅢ	カラードレスに合わせたヘアメイク実習（施術者）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第20回	6月23日	ブライダルヘアメイクⅣ	カラードレスに合わせたヘアメイク実習（被施術者）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第21回	6月30日	ブライダルヘアメイク創作	オーダーに合わせたブライダルヘアメイクの創作ができる（施術者前半）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第22回	6月30日	ブライダルヘアメイク創作	オーダーに合わせたブライダルヘアメイクの創作ができる（施術者後半）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第23回	7月7日	ブライダルヘアメイク創作	オーダーに合わせたブライダルヘアメイクの創作ができる（被施術者前半）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第24回	7月7日	ブライダルヘアメイク創作	オーダーに合わせたブライダルヘアメイクの創作ができる（被施術者後半）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第25回	7月14日	ブライダルヘアメイク実習Ⅰ	試験課題のヘアメイクを90分で仕上げることができる（施術者）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第26回	7月14日	ブライダルヘアメイク実習Ⅱ	試験課題のヘアメイクを90分で仕上げることができる（被施術者）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第27回	7月28日	成績判定試験Ⅰ	成績判定試験課題の制作、発表 前半（施術者前半）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第28回	7月28日	成績判定試験Ⅱ	成績判定試験課題の発表 前半（施術者後半）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第29回	8月4日	成績判定試験Ⅲ	成績判定試験課題の制作、発表 後半（被施術者前半）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
第30回	8月4日	成績判定試験Ⅳ	成績判定試験課題の発表 後半（被施術者前半）				ヘアアレンジ道具一式 メイク道具一式	
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）… 21.								
成績判定試験：90分でドレスに合わせたヘアメイク 授業態度：提出物及び出席状況を評価する 作品：課題作品を全体の評価に反映する								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位				1位	70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品			2位			1位	10	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本真弓		シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	田村綾加	
						実務経験紹介	該当なし	
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者（確認者）
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	撮影メイク		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース			学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	4	時間数 ⁹	120	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		表現力、創造力を高め、ヘアアレンジ応用、メイクアップ応用までを教授する 当該内容は卒業後のキャリアアップや創造力、技術力の向上に役立つ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該授業の教育課程における位置付けは原則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識、技術として位置づける。 顔分析を行い、モデルの骨格に合わせたメイクアップが出来る メイクアップ応用、ヘアメイク応用技術を習得し、フォトコンテストのテーマに合わせ、ヘアメイクで表現することができる。						
受講条件		ヘアアレンジ基礎、イメージメイク基礎、メイクアップⅠ（実習）、メイクセラピーⅠ履修済み						
教科書名 ¹⁴		MAKE UP SKILLS TEXT BOOK BASIC			教材名 ¹⁵	オリジナルプリント/メイク道具一式		
設備名・機器名 ¹⁶		ヘアアイロン用電気設備、フォトスタジオ			関連サイト ¹⁷	https://www.icamjapan.com		
関連前科目 ¹⁸		イメージメイク基礎			関連後科目 ¹⁹	メイクアップ総合		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月16日	オリエンテーション	授業の目的、目標、内容を理解する				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第2回	4月16日	ヘアアレンジ技術確認	ヘアアレンジの習得度を把握する				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第3回	4月16日	メイクアップ技術確認Ⅰ	メイクアップの習得度を把握する（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第4回	4月16日	メイクアップ技術確認Ⅱ	メイクアップの習得度を把握する（被）施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第5回	4月23日	ヘアアレンジⅠ	編み込みを取り入れたヘアアレンジができる				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第6回	4月23日	顔分析メイクⅠ	縦 横 内心 外心メイクについて理解する				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第7回	4月23日	顔分析メイクⅡ	相モデル実習 縦 横 内心、外心を意識したフルメイクが出来る（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第8回	4月23日	顔分析メイクⅢ	相モデル実習 縦 横 内心、外心を意識したフルメイクが出来る（被施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第9回	5月7日	ヘアアレンジⅡ	ハーフアップにヘアアレンジができる				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第10回	5月7日	顔分析メイクⅣ	上方 下方メイクについて理解する				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第11回	5月7日	顔分析メイクⅤ	相モデル実習 縦 上方 下方を意識したフルメイクが出来る（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第12回	5月7日	顔分析メイクⅥ	相モデル実習 縦 上方 下方を意識したフルメイクが出来る（被施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第13回	5月14日	ヘアアレンジⅢ	編み込みまとめ髪を取り入れたヘアアレンジができる				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第14回	5月14日	顔分析メイクⅦ	上方 下方メイクについて理解する				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第15回	5月14日	顔分析メイクⅧ	相モデル実習 上方 下方を意識したフルメイクができる（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第16回	5月14日	顔分析メイクⅨ	相モデル実習 上方 下方を意識したフルメイクができる（被施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第17回	5月21日	ヘアアレンジⅣ	コテ巻き、巻きおろし、ピンワークが出来る				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第18回	5月21日	メイクテクニックⅠ	アイカラーの中抜きテクニックを理解する				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第19回	5月21日	フルメイク実習Ⅰ	相モデル実習 中抜きテクニックを取り入れたフルメイクができる（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第20回	5月21日	フルメイク実習Ⅱ	相モデル実習 中抜きテクニックを取り入れたフルメイクができる（被施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第21回	5月28日	海外風ヘアアレンジⅠ	海外風ヘアアレンジができる				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第22回	5月28日	海外メイクⅠ	海外のメイク特徴、違いを理解する				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第23回	5月28日	海外メイクⅡ	相モデル実習 海外メイクの特徴を取り入れたフルメイクが出来る（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第24回	5月28日	海外メイクⅢ	相モデル実習 海外メイクの特徴を取り入れたフルメイクが出来る（被施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第25回	6月4日	海外風ヘアアレンジⅡ	トレンドのヘアアレンジができる				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第26回	6月4日	海外メイクⅣ	トレンドメイクについて理解する				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第27回	6月4日	海外メイクⅤ	相モデル実習 トrendを取り入れたフルメイクが出来る（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第28回	6月4日	海外メイクⅥ	相モデル実習 トrendを取り入れたフルメイクが出来る（被施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第29回	6月11日	ヴィランズメイクⅠ	ヴィランズメイクを考案することができる				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第30回	6月11日	ヴィランズメイクⅡ	ヴィランズメイクをデッサンすることができる				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第31回	6月11日	ヴィランズメイクⅢ	相モデル実習 ヴィランズメイクが出来る（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第32回	6月11日	ヴィランズメイク(4)	相モデル実習 ヴィランズメイクが出来る（被施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第33回	6月18日	撮影Ⅰ	中間テスト テーマに合わせたヘアメイクができる（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第34回	6月18日	撮影Ⅱ	中間テスト テーマに合わせヘアメイクを施し、撮影ができる（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第35回	6月18日	撮影Ⅲ	中間テスト テーマに合わせたヘアメイクができる（被施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第36回	6月18日	撮影Ⅳ	中間テスト テーマに合わせヘアメイクを施し、撮影ができる（被施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第37回	6月25日	コンテスト準備Ⅰ	コンテストテーマのイメージ①を収集することができる				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第38回	6月25日	コンテスト準備Ⅱ	コンテスト作品①の構成を考案することができる				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第39回	6月25日	コンテスト準備Ⅲ	コンテスト作品用ヘアメイク①を実践することができる（施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	
第40回	6月25日	コンテスト準備Ⅳ	コンテスト作品用ヘアメイク①を実践することができる（被施術者）				メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式	

2025年度シラバス

第41回	7月2日	コンテスト対策Ⅰ	コンテストテーマのイメージ②を収集することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第42回	7月2日	コンテスト対策Ⅱ	コンテスト作品②の構成を考案することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第43回	7月2日	コンテスト対策Ⅲ	コンテスト作品用ヘアメイク②を実践することができる（施術者）	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第44回	7月2日	コンテスト対策Ⅳ	コンテスト作品用ヘアメイク②を実践することができる（被施術者）	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第45回	7月9日	コンテスト対策Ⅴ	コンテスト作品①②の課題点を把握する	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第46回	7月9日	コンテスト対策Ⅵ	コンテスト作品①の課題点の改善、修整を行う	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第47回	7月9日	コンテスト対策Ⅶ	コンテスト作品②の課題点の改善、修整を行う	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第48回	7月9日	コンテスト対策Ⅷ	デザインを確定することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第49回	7月16日	コンテスト対策Ⅸ	コンテスト作品制作（施術1）することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第50回	7月16日	コンテスト対策Ⅹ	コンテスト作品制作（施術2）することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第51回	7月16日	コンテスト対策Ⅺ	コンテスト作品制作（施術3）することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第52回	7月16日	コンテスト対策Ⅻ	コンテスト作品制作（施術4）することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第53回	7月23日	撮影準備Ⅰ	撮影準備（セッティング等）、エントリーシートの作成ができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第54回	7月23日	撮影準備Ⅱ	撮影準備（施術1）、エントリーシートの作成ができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第55回	7月23日	撮影準備Ⅲ	撮影準備（施術2）、エントリーシートの作成ができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第56回	7月23日	撮影準備Ⅳ	撮影準備（チェック）、エントリーシートの作成ができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第57回	7月30日	コンテスト作品撮影Ⅰ	コンテスト作品作成（成績判定作品）することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第58回	7月30日	コンテスト作品撮影Ⅱ	コンテスト作品作成し撮影することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第59回	8月6日1限	コンテスト作品提出準備	応募写真選定することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式
第60回	8月6日2限	コンテスト作品提出準備	応募作品エントリーシート（成績評価）を作成し提出することができる	メイク道具一式/ヘアアレンジ道具一式

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）

21.

出席率80%以上及び
確認テスト：中間テストの得点を全体の成績に反映する
授業態度：提出物及び出席状況进行评估する
作品：コンテスト提出作品进行评估する

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位			1位	20	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		30	可（D）： 69点～60点
⑤作品		2位			1位	50	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福田有麻
				実務経験紹介	該当なし

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版:2024.7.16_YIC京都_校長

科目名 ¹		コスメティック販売実習		学科名 ² (コース名)		ビューティスペシャリスト科		学年 ³		I学年							
授業形態 ⁴		実習		学期		後期		開講年月 ⁵		4月							
								該当資格区分 ¹⁶		該当なし							
教育課程区分 ⁷		選択必修		単位数 ⁸		2		時間数 ⁹		60							
								該当資格名称 ¹⁰		該当なし							
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		店頭でのカウンター業務・接客方法を教授する。お客様の肌悩みに応じたアドバイスと商品の提案に役立つ。															
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		百貨店研修・メーカー研修での学習内容をいち早く取得し即戦力となるよう販売方法を身につける。															
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科メイクアップアドバイザーコースに在籍していること。															
教科書名 ¹⁴		YIC京都オリジナル教材						教材名 ¹⁵		オリジナルプリント							
設備名・機器名 ¹⁶		該当なし						関連サイト ¹⁷		該当なし							
関連前科目 ¹⁸		該当なし						関連後科目 ¹⁹		接客マナー実習（応用）							
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰																	
回(コマ)		開講日		授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材						
第 1回		○月○日		オリエンテーション・ビューティアドバイザーに求められる条件		自己紹介・授業内容確認・身だしなみ・店舗活動・百貨店模擬研修について学ぶ					正式な名称を記述する。						
第 2回		○月○日		アプローチ～接客までの流れ		購買心理『褒める』『ネガティブ→ポジティブ』コミュニケーション・金銭受け取り・お見送りができる											
第 3回		○月○日		カウンター業務		割引・レジ計算問題・ハンドアウト・お詫び状の記入ができる※特別講師											
第 4回		○月○日		ニーズの把握（スキんケア）について		ニーズの把握を知る・皮膚知識トークが出来る											
第 5回		○月○日		ニーズの把握（メイクアップ）メーカー		提案の流れを知る・ブランドごとの強みの把握を把握する											
第 6回		○月○日		百貨店見学		各メーカーでタッチアップを受けレポート作成※私服登校											
第 7回		○月○日		クカウンセリング・タッチアップ		肌悩みをカウンセリングし似合うベースメイクの提案・ベースメイクタッチアップメイク実習ができる											
第 8回		○月○日		タッチアップ実習		アイメイク・リップのご提案・タッチアップ実習ができる					小テスト						
第 9回		○月○日		肌診断について		肌診断～スキんケアアドバイスができる											
第 10回		○月○日		お出迎え～フルメイク		ロープレ メイク実習ができる											
第 11回		○月○日		プレゼンテーション大会		化粧品メーカーのプレゼンテーションができる											
第 12回		○月○日		合同授業		メイクレッスンを受講する											
第 13回		○月○日		アンチエイジングについて		アンチエイジングの原因と対策と提案・各ブランドのアンチエイジングラインを理解する											
第 14回		○月○日		サロン実習		サロン運営プレオープン参加する											
第 15回		○月○日		期末試験		お客様の悩みに対応できる知識と接客知識を高める											
第 回		○月○日		↓以降は行数を増やす。													
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹																	
出席率80%以上及び ①成績判定試験 実技試験（お客様のイメージに合わせたスキんケア～フルメイク50分） ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ③授業態度 提出物及び出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする																	
↓判定方法\該当する観点→				知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		評価配分%		成績評価基準	
①成績判定試験				1位		2位								70		秀（S）：100点～90点	
②確認テスト				2位		2位								15		優（A）：89点～80点	
③課題レポート														なし		良（B）：79点～70点	
④授業態度								2位		1位				15		可（D）：69点～60点	
⑤作品														なし		不可（E）：59点以下	
⑥プレゼンテーション														なし			
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。												不合格の場合		補修、追試の有無等			
シラバス作成者		奥谷千晴		シラバス承認者		フルネームを記載				授業担当教員		フルネームを記載					
										実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載					
更新履歴																	
シラバス更新履歴		更新理由				更新箇所				作成者				Check者(確認者)			
改1																	
改2																	
改3																	
改4																	
改5																	

2025年度シラバス

科目名 ¹		接客マナー実習		学科名 ² (コース名)		ビューティスペシャリスト科		学年		1学年							
授業形態 ⁴		講義		学期		前期		開講年月 ⁵		4月		該当資格区分 ⁶		該当なし			
教育課程区分 ⁷		選択必修		単位数 ⁸		1		時間数 ⁹		30		該当資格名称 ¹⁰		該当なし			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		美しい所作を身に付けると同時に社会人基礎力の知識を教授する															
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		社会人として、接客マナーの基本を身に付け電話対応・企業訪問マナーを身に付ける。															
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。															
教科書名		該当なし						教材名 ¹⁵		オリジナルプリント							
設備名・機器名		該当なし						関連サイト ¹⁷		該当なし							
関連前科目		該当なし						関連後科目 ¹⁹		接客マナー実習（基礎）							
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位												20.					
回(コマ)		開講日		授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標						使用教科書・教材					
第 1回		〇月〇日		接客マナーについて		授業の目標・マナーの基本について理解する						正式な名称を記述する。					
第 2回		〇月〇日		接客マナーの基本①		表情・笑顔の演出トレーニング・笑顔の効果について理解する											
第 3回		〇月〇日		接客マナーの基本②		挨拶言葉とお辞儀実習（基本の挨拶言葉・お辞儀）が出来る											
第 4回		〇月〇日		接客マナーの基本③		身だしなみを整える事が出来る											
第 5回		〇月〇日		コミュニケーションスキル①		話し方の基本スキル（聴き方・話し方のポイント）を学ぶ											
第 6回		〇月〇日		コミュニケーションスキル②		言葉遣い 敬語の種類（尊敬語・謙譲語・丁寧語）を理解する											
第 7回		〇月〇日		コミュニケーションスキル③		言葉遣い 相手に合わせた正しい敬語・クッション言葉を用いたロールプレイングを実施する											
第 8回		〇月〇日		電話対応①		電話の受け方（対応の基本・電話を受ける流れ・よく使われる用語）を理解する											
第 9回		〇月〇日		電話対応②		話のかけ方（タイミングを考える・準備をする・電話をかける流れ）を理解する											
第 10回		〇月〇日		電話対応③		電話対応ロールプレイング・お客様・社内など様々なケースを想定したペアワークを実施する											
第 11回		〇月〇日		来客・訪問対応①		来客応対について（基本の流れ・対応の流れ）理解する											
第 12回		〇月〇日		来客・訪問対応②		案内（誘導）案内マナー・エレベーターが出来る											
第 13回		〇月〇日		来客・訪問対応③		訪問のマナー（事前準備・当日のマナー・手順）について理解する											
第 14回		〇月〇日		期末試験対策		1～14回目までの復習・ロールプレイングが出来る											
第 15回		〇月〇日		期末試験対策		企業様への電話対応・企業訪問のマナーのロールプレイングが出来る											
第 回		〇月〇日		↓以降は行数を増やす。													
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。												21.					
出席率80%以上及び 成績判定試験 接客販売コンテスト審査表を利用し項目に沿って評価する 授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする																	
↓判定方法\該当する観点→				知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		評価配分%		成績評価基準	
①成績判定試験				1位		2位								70		秀（S）：100点～90点	
②確認テスト				2位		2位								15		優（A）： 89点～80点	
③課題レポート														なし		良（B）： 79点～70点	
④授業態度								2位		1位				15		可（D）： 69点～60点	
⑤作品														なし		不可（E）:59点以下	
⑥プレゼンテーション														なし			
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。												不合格の場合		補修、追試の有無等			
シラバス作成者		奥谷千晴		シラバス承認者		フルネームを記載		授業担当教員		フルネームを記載							
								実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載							
更新履歴																	
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所				作成者		Check者(確認者)							
改1																	
改2																	
改3																	
改4																	
改5																	

2025年度シラバス

科目名 ¹	接客マナー実習（応用）		学科名 （コース名） ²	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース		学年	³ 2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし
科目の概要 （全コマ数を俯瞰して） ¹¹		接客マナー、お客様対応、販売スキルについて教授する。 当該内容は現場での印象管理、販売、接客の際に役立つ					
科目の到達目標 （教育課程の位置づけ） ¹²		当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術として位置付ける。 接客販売コンテストにてお出迎え・ニーズの把握・カウンセリング・商品提案、説明、商品決定までをロールプレイング形式で実施することができる					
受講条件 ¹³		接客マナー実習（基礎）履修済み					
教科書名 ¹⁴				該当なし			
教材名 ¹⁵				オリジナルプリント・メイク道具			
設備名・機器名 ¹⁶				コスメカウンター			
関連サイト ¹⁷				職業情報提供サイト（日本版O-NET） https://shigoto.mhlw.go.jp/User/Occupation/Detail/464			
関連後科目 ¹⁸				接客マナー実習（基礎）			
関連後科目 ¹⁹				メイクアップ総合、サロン運営Ⅰ			
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	4月17日	コンテスト対策1	オリエンテーション コンテストのシナリオ1パターン作成ができる			オリジナルプリント	
第2回	4月24日	コンテスト対策2	オリエンテーション コンテストのシナリオ2パターン作成ができる			オリジナルプリント	
第3回	5月8日	コンテスト対策3	オリエンテーション コンテストのシナリオ3パターン作成ができる			オリジナルプリント	
第4回	5月15日	コンテスト対策4	接客ロープレ タッチアップの仕方を理解する			オリジナルプリント	
第5回	5月22日	コンテスト対策5	接客ロープレ お出迎え～お見送りまでの接客の流れを理解する			オリジナルプリント	
第6回	オンデマンド課題	コンテスト対策6	お出迎え～お見送りまでの接客ロープレを2パターン動画提出			オリジナルプリント	
第7回	6月5日	コンテスト対策7	6週目の接客ロープレ動画をういて修整、改善することができる			オリジナルプリント	
第8回	6月12日	コンテスト対策8	コンテスト対策 お出迎え～商品決定までロールプレイングをすることができる（1色目）			オリジナルプリント	
第9回	6月19日	コンテスト対策9	コンテスト対策 お出迎え～商品決定までロールプレイングをすることができる（2色目）			オリジナルプリント	
第10回	6月26日	コンテスト対策10	コンテスト対策 お出迎え～商品決定までロールプレイングをすることができる（3色目）			オリジナルプリント	
第11回	7月3日	コンテスト対策11	コンテスト対策 お出迎え～商品決定までロールプレイングをすることができる（ランダム）			オリジナルプリント	
第12回	7月10日	コンテスト対策12	コンテスト対策 お出迎え～商品決定までロールプレイングをすることができる（総合Ⅰ）			オリジナルプリント	
第13回	7月17日	コンテスト対策13	コンテスト対策 お出迎え～商品決定までロールプレイングをすることができる（総合Ⅱ）			オリジナルプリント	
第14回	7月24日	接客販売コンテストⅠ	成績判定試験 お出迎え～商品決定までロールプレイングをすることができる				
第15回	7月24日	接客販売コンテストⅡ	成績判定試験 お出迎え～商品決定までロールプレイングをすることができる				
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法） ²¹							
出席率80%以上及び ⑥成績判定試験 接客販売コンテスト審査表を利用し項目に沿って評価する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験			2位			1位	60
②確認テスト							なし
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		40
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者		シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	村上燈里	
更新履歴				実務経験紹介		該当なし	
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクセラピーⅠ		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース			学年	³ 学年
授業形態 ⁴	講義実習	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	メイクセラピー検定2級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ 化粧療法の領域における援助法の一つとして、心理的な援助活動に必要な「心理学」「コミュニケーション」メイクアップに必要な「メイク理論」「色彩学」及びメイクセラピーの概念を教授する 当該内容は現場での印象管理、販売、接客の際に役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 メイクセラピー検定2級合格相当の知識を身に付ける。 会話をしながら、クライアントのオーダーに伴った印象にメイクアップができる							
受講条件	¹³ Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科メイクアップアドバイザーコースに在籍していること メイクセラピー基礎履修済み							
教科書名 ¹⁴	メイクセラピー検定2級対策				教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント		
設備名・機器名 ¹⁶	投影用プロジェクター/講師用PC				関連サイト ¹⁷	¹⁷ メイクセラピー検定ホームページ https://www.maketherapy.com/		
関連前科目 ¹⁸	メイクセラピー基礎				関連後科目 ¹⁹	メイクセラピーⅡ		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回		オリエンテーション	授業の目標・目的、成績評価について理解する	メイクセラピー検定2級対策
第2回		メイクセラピーの心理学1	精神分析と無意識について理解する	メイクセラピー検定2級対策
第3回		メイクセラピーの心理学2	論理療法、交流分析について理解する	メイクセラピー検定2級対策
第4回		メイク実習1	キャリア系or癒し系の印象にメイクすることができる	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第5回		化粧品心理学1	化粧の歴史、役割、印象分析について理解する	メイクセラピー検定2級対策
第6回		メイク実習2	遠心メイク、求心メイクについて理解する	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第7回		化粧品心理学2	承認欲求について理解する	メイクセラピー検定2級対策
第8回		メイク実習3	知的で大人っぽく仕事ができる印象に半顔メイクができる	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第9回		カウンセリング概論	クライアントとの接し方について理解する	メイクセラピー検定2級対策
第10回		メイク実習4	上品で優しく女性らしい印象に半顔メイクができる	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第11回		印象分析	印象分析、パーツバランスについて理解する	メイクセラピー検定2級対策
第12回		メイク実習5	明るく健康的で元気な印象に半顔メイクができる	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第13回		メイクアップに必要な3要素	色彩、コスメティックスの質感が与える印象について理解する	メイクセラピー検定2級対策
第14回		メイク実習6	華やかでエレガントな印象に半顔メイクができる	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第15回		2級試験対策1	論述問題の出題傾向を把握する	メイクセラピー検定2級対策
第16回		2級試験対策2	2級試験課題が時間内に施術することができる	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第17回		2級試験対策3	筆記試験の出題傾向を把握することができる	メイクセラピー検定2級対策
第18回		2級試験対策4	苦手オーダーの課題が克服することができる	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第19回		2級試験対策5	筆記試験の出題傾向を把握することができる（第17回の課題点の改善）	メイクセラピー検定2級対策
第20回		2級試験対策6	苦手オーダーの課題が克服することができる（第18回の課題点の改善）	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第21回		模擬試験1	2級試験通し（筆記試験）	メイクセラピー検定2級対策
第22回		模擬試験2	2級試験通し（実技試験）	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第23回		メイクセラピー検定試験1	メイクセラピー検定2級試験実施（筆記試験）	
第24回		メイクセラピー検定試験2	メイクセラピー検定2級試験実施（実技試験）	メイク道具一式
第25回		メイクセラピー実習1	オーダーカウンセリング～フォローカウンセリングまでできる（施術者）	メイク道具一式
第26回		メイクセラピー実習2	オーダーカウンセリング～フォローカウンセリングまでできる（被施術者）	メイク道具一式
第27回		成績判定試験対策1	1～26回の授業の復習ができる	メイクセラピー検定2級対策
第28回		成績判定試験対策2	会話をしながらオーダーに伴ったメイクアップが半顔にできる	メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第29回		成績判定試験1	成績判定試験：筆記試験（選択問題、記述問題、論述問題）	
第30回		成績判定試験2	成績判定試験：実技試験 会話をしながらオーダーに伴ったメイクアップ半顔にできる	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

出席率80%以上及び
 ①成績判定試験（選択問題・記述式問題） 記述式問題 授業内で出てきたワード（専門用語）とそれに伴う活用場面について記述すること
 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する
 ④授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する
 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				20	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点

2025年度シラバス

④授業態度			2位	1位		10	可（D）： 69点～60点 不可（E）：59点以下
⑤作品						なし	
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福本真弓
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクセラピーⅡ		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース			学年	2 ³ 学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	メイクセラピー検定1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		心理学を応用したカウンセリング技術、傾聴をしながら、クライアントのオーダーに伴った印象にメイクアップ技術を教授する 当該内容は現場での印象管理、販売、接客の際に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 メイクセラピー検定1級合格相当の知識を身に付ける。 傾聴をしながら、クライアントのオーダーに伴った印象にメイクアップができる						
受講条件		Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科2年生に在籍していること						
教科書名		メイクセラピー検定1級対策第2版			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント インサイドヘッドDVD		
設備名・機器名		投影用プロテクター/PC			関連サイト ¹⁷	https://www.maketherapy.com/about		
関連前科目		メイクセラピーⅠ			関連後科目 ¹⁹	メイクアップ総合		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月17日	オリエンテーション	授業の目標・目的、成績評価について理解する				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第2回	4月17日	感情について	メイクセラピーⅠの復習ができる※DVD視聴 感情の役割について理解する				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第3回	4月24日	カウンセリング1	カウンセリングの目的、自己理解と他社理解について理解する				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第4回	4月24日	メイク実習1	職業に合わせたオーダーのメイクが施術できる				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第5回	5月8日	傾聴スキル1	コミュニケーション、傾聴スキルを用いて会話ができる				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第6回	5月8日	メイク実習2	傾聴スキルを用いて会話をしながら半顔メイクができる				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第7回	5月15日	傾聴スキル2	要約・沈黙の処理・質問について学び、会話の中で意識的に使えるようになる				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第8回	5月15日	メイク実習3	カウンセリングをしながら半顔メイクができる				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第9回	5月22日	傾聴スキル3	IメッセージとYOUメッセージを会話の中で使い会話ができる				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第10回	5月22日	傾聴スキル4	フィードバック、フォローができる				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第11回	5月29日	対話分析	逐語録からカウンセリングの状況について理解する※確認テスト				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第12回	5月29日	メイク実習4	オーダーに伴ったメイクが半顔に施術できる※確認テスト				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第13回	6月5日	メイクセラピー実習1	オーダーカウンセリング～メイクアップまでができる				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第14回	6月5日	メイクセラピー実習2	メインカウンセリング～フォローカウンセリングまでができる				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第15回	6月12日	1級試験対策1	筆記試験、実技試験の出題のポイントを理解する				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第16回	6月12日	1級試験対策2	1級試験課題を通して実施する				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第17回	6月19日	1級試験対策3	対話分析、論述問題の課題点の発見をする				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第18回	6月19日	1級試験対策4	苦手オーダー、課題点の発見、修整を行う				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第19回	6月26日	1級試験対策5	1級試験の注意点について理解する				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第20回	6月26日	1級試験対策6	1級試験課題出題傾向を把握し、メイクアップができる				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第21回	7月3日	1級試験対策7	筆記試験対策1、出題傾向の把握と解説を理解する				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第22回	7月3日	1級試験対策8	実技試験対策2 オーダーに伴ったメイクアップを実施する				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第23回	7月10日	1級試験対策9	筆記試験対策1、出題傾向の把握と解説を理解する				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第24回	7月10日	1級試験対策10	実技試験対策2 オーダーに伴ったメイクアップを実施する				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第25回	7月17日	模擬試験1	メイクセラピー検定1級模擬試験（筆記）				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第26回	7月17日	模擬試験2	メイクセラピー検定1級模擬試験（筆記）				メイクセラピー検定1級対策 メイクセラピー検定2級対策	
第27回	7月31日	メイクセラピー検定1級試験1	メイクセラピー検定1級試験（筆記）実施					
第28回	7月31日	メイクセラピー検定1級試験2	メイクセラピー検定1級試験（実技）実施					
第29回	8月7日	成績判定試験1	成績判定試験 筆記試験（選択問題、記述問題、論述問題）					
第30回	8月7日	成績判定試験2	成績判定試験 実技試験（オーダーに伴ったメイクアップ40分）					
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
出席率80%以上及び ①成績判定試験（選択問題・記述式問題） 記述式問題 授業内で出てきたワード（専門用語）とそれに伴う活用場面について記述すること ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位				20	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	

2025年度シラバス

上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。				不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福本真弓
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/
更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	解剖生理学Ⅰ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶		
教育課程区 分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. エステティシャンや美容部員を目指す美容専門学校生にとって、「解剖生理学の応用」を学ぶことは、単に体の仕組みを理解するだけでなく、施術の効果を高め、安全で的確なケアを提供するために不可欠です。「解剖生理学の応用」を学ぶことで、単なる美容技術ではなく、体の仕組みを理解した上での科学的根拠に基づいた施術・アドバイスが可能になります。 12. ✓ 皮膚の構造を理解し、適切なスキンケアや施術ができる ✓ 血流やリンパを意識したマッサージで、より効果的なケアを提供できる ✓ 筋肉や骨格を考慮したフェイシャル・ボディ施術ができる ✓ 自律神経や内臓の働きを理解し、ストレスや食事からのケアを提案できる ✓ 免疫機能を考慮し、安全な施術・アドバイスができる 美容業界で活躍するためには、表面的な技術だけでなく、「体の仕組みを知り、根本から美しさを引き出す力」を身につけることが大切です！							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	13. 皮膚・筋肉・骨格などの身体構造の基礎を理解し、それに基づいた施術の選択・実施ができる。 血液循環・リンパ・自律神経などの生理機能を理解し、美容効果を高める施術やアドバイスに活用できる。 体の構造と機能の関係性を学び、個々の顧客の状態に応じた安全かつ効果的なケアを提案できる。 美容と健康のつながりを科学的根拠に基づいて説明できるようになる。 施術中の身体反応（発赤・発汗・むくみなど）を適切に観察・評価し、対応できる判断力を身につける。							
受講条件	人体の構造と機能 皮膚科学 履修程度の知識							
教科書名 ¹⁴	INFA (Theorie) テキスト				教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint		
設備名・機器名 ¹⁶	教材投影用プロジェクター・PC				関連サイト ¹⁷			
関連前科目 ¹⁸	人体の構造と機能 皮膚科学				関連後科目 ¹⁹	解剖生理学Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月30日	導入 解剖生理学復習	前期に学んだ解剖生理学の復習テスト				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第2回	9月30日	細胞 1	細胞の構造について学ぶ（各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第3回	10月7日	細胞 2	細胞の構造について学ぶ（各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第4回	10月7日	骨格系統 1	骨の働きを理解する 骨の名称を覚える 骨を形状別に区別する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第5回	10月14日	骨格系統 2	骨と関節の構造と役割について学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第6回	10月14日	筋肉 1	筋肉の働きを理解する 筋肉の名称を覚える 筋肉の種類を理解する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第7回	10月21日	筋肉 2	筋の収縮と疲労について学ぶ 運動と栄養と筋肉の関係について学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第8回	10月21日	皮膚 1	皮膚の役目を理解する 表皮、真皮、について学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第9回	10月28日	皮膚 2	皮下組織について学ぶ 皮膚の付属器について学ぶ（汗腺・皮脂腺・毛・爪）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第10回	10月28日	皮膚 3	様々な皮膚トラブルについて学ぶ アトピー性皮膚炎、アレルギー、紫外線により肌への影響、にきびの発生の仕方				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第11回	11月4日	消化器 1	消化器の構造を学ぶ 概論、口腔と付属器官、咽頭と食道				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第12回	11月4日	消化器 2	消化器官について学ぶ（胃・小腸・大腸） 胃潰瘍、便秘について				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第13回	11月11日	消化器 3	消化器官について学ぶ（肝臓・すい臓）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第14回	11月11日	栄養学 1	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第15回	11月18日	栄養学 2	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第16回	11月18日	栄養学 3	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第17回	11月25日	呼吸器	呼吸器系について学ぶ 気道、肺、横隔膜、胸式呼吸と腹式呼吸 喫煙のデメリットについて				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第18回	11月25日	循環器 1	循環器について学ぶ（血液の循環経路・心臓の働き） 心臓疾患について				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第19回	12月2日	循環器 2	血液成分とその役割 ・各血管の特徴				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第20回	12月2日	循環器 3	リンパについて学ぶ（リンパとは何か・リンパの循環経路）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第21回	12月9日	排泄器	排泄器について学ぶ（腎臓の働き） 腎臓疾患について				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第22回	12月9日	神経系 1	神経系を学ぶ（概論・神経系の分類）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第23回	12月16日	神経系 2	大脳皮質と脳幹・脊髄とその機能・神経の伝導路（うつ病、パーキンソン病の発症の仕組み）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第24回	12月16日	神経系 3	自律神経 交感神経、副交感神経の働き（自律神経失調症発症の原因）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	

2025年度シラバス

第25回	1月20日	内分泌 1	ホルモンについて学ぶ（ホルモンの作用・ホルモン分泌をコントロールしているもの）	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第26回	1月20日	内分泌系 2	主な内分泌腺とホルモンの働き（刺激ホルモン、甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎ホルモン）	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第27回	1月27日	内分泌系 3	性腺と性ホルモン（更年期障害について その対処法）	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第28回	1月27日	総合確認テスト	各章の確認テスト実施	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第29回	2月3日	総合確認テスト 振り返り	総合テストの振り返り学習 各章の復習	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第30回	2月3日	期末試験	期末試験実施	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。21.

①記述式筆記試験（配点70％）穴埋め問題：30問×1点 記述問題：10問×3点 短答式問題：40問×1点
②提出物（配点10％）1回未提出：－3点
③確認テストの点数（配点10％）80点以下：－2点
④授業態度（配点10％）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①記述式筆記試験	1位					70	秀（S）：100点～90点
②提出物			1位	2位		10	優（A）： 89点～80点
③確認テストの点数	1位		2位			10	良（B）： 79点～70点
④授業態度				1位		10	可（D）： 69点～60点
							不可（E）:59点以下
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	田澤 初美	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	田澤 初美
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	解剖生理学Ⅰ		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	1 ³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	INFA国際ライセンス(ボディ)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. エステティシャンや美容部員を目指す美容専門学校生にとって、「解剖生理学の応用」を学ぶことは、単に体の仕組みを理解するだけでなく、施術の効果を高め、安全で的確なケアを提供するために不可欠です。「解剖生理学の応用」を学ぶことで、単なる美容技術ではなく、体の仕組みを理解した上での科学的根拠に基づいた施術・アドバイスが可能になります。 12. ✓ 皮膚の構造を理解し、適切なスキンケアや施術ができる ✓ 血流やリンパを意識したマッサージで、より効果的なケアを提供できる ✓ 筋肉や骨格を考慮したフェイシャル・ボディ施術ができる ✓ 自律神経や内臓の働きを理解し、ストレスや食事からのケアを提案できる ✓ 免疫機能を考慮し、安全な施術・アドバイスができる 美容業界で活躍するためには、表面的な技術だけでなく、「体の仕組みを知り、根本から美しさを引き出す力」を身につけることが大切です！							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	13. 皮膚・筋肉・骨格などの身体構造の基礎を理解し、それに基づいた施術の選択・実施ができる。血液循環・リンパ・自律神経などの生理機能を理解し、美容効果を高める施術やアドバイスに活用できる。体の構造と機能の関係を学び、個々の顧客の状態に応じた安全かつ効果的なケアを提案できる。美容と健康のつながりを科学的根拠に基づいて説明できるようになる。施術中の身体反応（発赤・発汗・むくみなど）を適切に観察・評価し、対応できる判断力を身につける。							
受講条件	人体の構造と機能 皮膚科学 履修程度の知識							
教科書名 ¹⁴	INFA (Theorie) テキスト				教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint		
設備名・機器名 ¹⁶	教材投影用プロジェクター・PC				関連サイト ¹⁷			
関連前科目 ¹⁸	人体の構造と機能 皮膚科学				関連後科目 ¹⁹	解剖生理学Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月30日	導入 解剖生理学復習	前期に学んだ解剖生理学の復習テスト				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第2回	9月30日	細胞 1	細胞の構造について学ぶ（各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第3回	10月7日	細胞 2	細胞の構造について学ぶ（各名称を覚える・細胞の役割・分裂について学ぶ）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第4回	10月7日	骨格系統 1	骨の働きを理解する 骨の名称を覚える 骨を形状別に区別する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第5回	10月14日	骨格系統 2	骨と関節の構造と役割について学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第6回	10月14日	筋肉 1	筋肉の働きを理解する 筋肉の名称を覚える 筋肉の種類を理解する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第7回	10月21日	筋肉 2	筋の収縮と疲労について学ぶ 運動と栄養と筋肉の関係について学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第8回	10月21日	皮膚 1	皮膚の役目を理解する 表皮、真皮、について学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第9回	10月28日	皮膚 2	皮下組織について学ぶ 皮膚の付属器について学ぶ（汗腺・皮脂腺・毛・爪）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第10回	10月28日	皮膚 3	様々な皮膚トラブルについて学ぶ アトピー性皮膚炎、アレルギー、紫外線により肌への影響、にきびの発生の仕方				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第11回	11月4日	消化器 1	消化器の構造を学ぶ 概論、口腔と付属器官、咽頭と食道				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第12回	11月4日	消化器 2	消化器官について学ぶ（胃・小腸・大腸） 胃潰瘍、便秘について				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第13回	11月11日	消化器 3	消化器官について学ぶ（肝臓・すい臓）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第14回	11月11日	栄養学 1	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第15回	11月18日	栄養学 2	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第16回	11月18日	栄養学 3	主要栄養素を学ぶ 三大栄養素、ミネラル、ビタミンの働きと欠乏症状 栄養素の吸収を学ぶ				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第17回	11月25日	呼吸器	呼吸器系について学ぶ 気道、肺、横隔膜、胸式呼吸と腹式呼吸 喫煙のデメリットについて				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第18回	11月25日	循環器 1	循環器について学ぶ（血液の循環経路・心臓の働き） 心臓疾患について				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第19回	12月2日	循環器 2	血液成分とその役割 ・各血管の特徴				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第20回	12月2日	循環器 3	リンパについて学ぶ（リンパとは何か・リンパの循環経路）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第21回	12月9日	排泄器	排泄器について学ぶ（腎臓の働き） 腎臓疾患について				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第22回	12月9日	神経系 1	神経系を学ぶ（概論・神経系の分類）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第23回	12月16日	神経系 2	大脳皮質と脳幹・脊髄とその機能・神経の伝導路（うつ病、パーキンソン病の発症の仕組み）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第24回	12月16日	神経系 3	自律神経 交感神経、副交感神経の働き（自律神経失調症発症の原因）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第25回	1月20日	内分泌 1	ホルモンについて学ぶ（ホルモンの作用・ホルモン分泌をコントロールしているもの）				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	

2025年度シラバス

第26回	1月20日	内分泌系 2	主な内分泌腺とホルモンの働き（刺激ホルモン、甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎ホルモン）	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint				
第27回	1月27日	内分泌系 3	性腺と性ホルモン（更年期障害について その対処法）	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint				
第28回	1月27日	総合確認テスト	各章の確認テスト実施	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint				
第29回	2月3日	総合確認テスト 振り返り	総合テストの振り返り学習 各章の復習	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint				
第30回	2月3日	期末試験	期末試験実施	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint				
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。21.								
①記述式筆記試験（配点70%）穴埋め問題：30問×1点 記述問題：10問×3点 短答式問題：40問×1点 ②提出物（配点10%）1回未提出：－3点 ③確認テストの点数（配点10%）80点以下：－2点 ④授業態度（配点10%）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①記述式筆記試験		1位					70	秀（S）：100点～90点
②提出物				1位	2位		10	優（A）： 89点～80点
③確認テストの点数		1位		2位			10	良（B）： 79点～70点
④授業態度					1位		10	可（D）： 69点～60点
								不可（E）:59点以下
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	田澤 初美	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	田澤 初美			
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者		Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	解剖生理学Ⅱ		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶		
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60時間	該当資格名称 ¹⁰		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. エステティシャンや美容部員に必要な皮膚の構造や働きについて学び、トラブルの原因や改善方法をアドバイスができる知識を教授する。 また、解剖生理学の知識を元に皮膚との関係性を享受する ✔ お客様の悩みに的確にアドバイスできる ✔ 科学的根拠のある美容知識を持ち、信頼を得られる 12. ✔ 施術や商品の効果を最大限に引き出せる 美容業界でのキャリアを築くうえで、本科目は「美のプロフェッショナル」としての価値を高める重要なスキルとなる							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. 皮膚の構造と機能を深く理解し、説明できる 2. 皮膚の健康に影響を与える内外的要因を分析できる 3. 皮膚トラブルの種類と原因を理解し、適切なケア方法を提案できる 13. 4. スキンケア成分の作用と効果を理解し、適切に選択できる 5. 皮膚に安全な施術を行うための基礎知識を習得する 6. 皮膚科学の最新トレンドを理解し、応用できる							
受講条件	人体の構造と機能 皮膚科学 解剖生理学Ⅰ 履修程度の知識							
教科書名 ¹⁴	INFA (Theorie) テキスト				教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint		
設備名・機器名 ¹⁶	教材投影用プロジェクター・PC				関連サイト ¹⁷			
関連前科目 ¹⁸	人体の構造と機能 皮膚科学 解剖生理学Ⅰ				関連後科目 ¹⁹	サロン運営		
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位20.								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月25日	オリエンテーション 皮膚学 復習	授業内ルールの確認 授業計画の説明 評価方法の説明 皮膚科学 期末試験レベルの問題を解く				INFA (Theorie) テキスト	
第2回	4月25日	皮膚学 応用①	表皮の構造を深く理解する ターンオーバー、保湿因子、バリア機能				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第3回	5月9日	皮膚学 応用②	真皮の構造を深く理解する 基底膜、各細胞と線維の働き				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第4回	5月9日	皮膚の生理機能とは①	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第5回	5月16日	皮膚の生理機能とは②	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第6回	5月16日	皮膚のアルカリ中和能	皮膚のアルカリ中和能 ODT 経皮吸収				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第7回	5月23日	にきびについて①	にきびの発生の仕方 にきびの種類 常在菌				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第8回	5月23日	にきびについて②	アダルトにきびと大人ニキビ にきびの有効成分 手入れ方法				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第9回	5月30日	皮膚の乾燥について	皮膚の乾燥とはどのような状態か 表皮の乾燥 真皮の乾燥 お手入れの方法				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第10回	5月30日	皮膚と紫外線①	皮膚と紫外線の関係を理解する 紫外線の分類と皮膚への作用 光老化について 紫外線防御とSPF				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第11回	6月6日	皮膚と紫外線②	メラニンの生成過程と美白剤を理解する メラニン合成経路、適応する美白剤				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第12回	6月6日	皮膚と色素異常 皮膚と湿疹①	皮膚と色素異常について理解する 肝斑、そばかす等				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第13回	6月13日	皮膚と色素異常 皮膚と湿疹②	皮膚と湿疹について理解する 湿疹の分類方法と発症過程				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第14回	6月13日	皮膚とストレスの関係①	ホルモンの復習 (各ホルモンの働き) ストレスとホメオスタシス				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第15回	6月20日	皮膚とストレスの関係②	ランゲルハンス細胞、NK細胞、副腎皮質ホルモン、自律神経				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第16回	6月20日	皮膚と女性ホルモンの関係①	皮膚と女性ホルモンの関係を理解する 月経周期による肌の変化				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第17回	6月27日	皮膚と女性ホルモンの関係②	更年期と肌の関係				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第18回	6月27日	皮膚と老化	皮膚の老化とは 老化した皮膚の表皮の状態 老化した皮膚の真皮の状態				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第19回	7月4日	皮膚と睡眠の関係	皮膚と睡眠の関係を理解する 成長ホルモン、レム睡眠、ノンレム睡眠				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第20回	7月4日	皮膚と睡眠の関係	睡眠とホルモンの関係を理解する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第21回	7月11日	美しい皮膚になるための食生活について①	肌が美しくなる栄養素を理解する 脂質 糖質 タンパク質				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第22回	7月11日	美しい皮膚になるための食生活について②	肌が美しくなる栄養素を理解する ビタミン、ミネラル				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第23回	7月18日	アレルギーについて	アレルギーについて理解する 一次刺激性とアレルギー性皮膚炎の違い アレルギーを起こす原因物質				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第24回	7月18日	アトピー性皮膚炎について	アトピー性皮膚炎について理解する 定義と症状、かゆみの発症過程と治療法、 スキンケアのポイント				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第25回	7月25日	皮膚生理学 皮膚と内臓	皮膚と内臓の関係を理解する 内臓疾患が肌に与える影響 生理学の復習				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第26回	7月25日	皮膚生理学 皮膚と内臓	肝臓 大腸 胃 心臓 卵巣 子宮				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	

2025年度シラバス

第27回	8月1日	美容皮膚科の新技術とその応用 ①	レーザー治療はどのようなものか 治療の実際 注意点 コラーゲン注入療法はどのようなものか 療法の実際 注意点 ケミカルピーリングはどのようなものか 有効性 注意点 トレチノイン療法はどのようなものか 有効性 注意すること	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第28回	8月1日	美容皮膚科の新技術とその応用 ②	痩身に対する治療 肥満症の定義 部分痩身について	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第29回	8月6日	期末試験対策 総復習	第1回～28回の総復習	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第30回	8月6日	期末試験実施	期末試験の実施	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。21.

①記述式筆記試験（配点70％）穴埋め問題：30問×1点 記述問題：10問×3点 短答式問題：40問×1点 ②提出物（配点10％）1回未提出：－3点 ③確認テストの点数（配点10％）80点以下：－2点 ④授業態度（配点10％）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①記述式筆記試験	1位					70	秀（S）：100点～90点
②提出物			1位	2位		10	優（A）： 89点～80点
③確認テストの点数	1位		2位			10	良（B）： 79点～70点
④授業態度				1位		10	可（D）： 69点～60点
							不可（E）:59点以下
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	田澤 初美	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	田澤 初美
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	解剖生理学Ⅱ		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60時間	該当資格名称 ¹⁰	INFA国際ライセンス(フェイシャル)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 エステティシャンや美容部員に必要な皮膚の構造や働きについて学び、トラブルの原因や改善方法をアドバイスができる知識を教授する。 また、解剖生理学の知識を元に皮膚との関係性を享受する ✓ お客様の悩みに的確にアドバイスできる ✓ 科学的根拠のある美容知識を持ち、信頼を得られる ✓ 施術や商品の効果を最大限に引き出せる 美容業界でのキャリアを築くうえで、本科目は「美のプロフェッショナル」としての価値を高める重要なスキルとなる							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	13 1. 皮膚の構造と機能を深く理解し、説明できる 2. 皮膚の健康に影響を与える内外的要因を分析できる 3. 皮膚トラブルの種類と原因を理解し、適切なケア方法を提案できる 4. スキンケア成分の作用と効果を理解し、適切に選択できる 5. 皮膚に安全な施術を行うための基礎知識を習得する 6. 皮膚科学の最新トレンドを理解し、応用できる							
受講条件	人体の構造と機能 皮膚科学 解剖生理学Ⅰ 履修程度の知識							
教科書名 ¹⁴	INFA (Theorie) テキスト				教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint		
設備名・機器名 ¹⁶	教材投影用プロジェクター・PC				関連サイト ¹⁷			
関連前科目 ¹⁸	人体の構造と機能 皮膚科学 解剖生理学Ⅰ				関連後科目 ¹⁹	サロン運営		
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月25日	オリエンテーション 皮膚学 復習	授業内ルールの確認 授業計画の説明 評価方法の説明 皮膚科学 期末試験レベルの問題を解く				INFA (Theorie) テキスト	
第2回	4月25日	皮膚学 応用①	表皮の構造を深く理解する ターンオーバー、保湿因子、バリア機能				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第3回	5月9日	皮膚学 応用②	真皮の構造を深く理解する 基底膜、各細胞と線維の働き				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第4回	5月9日	皮膚の生理機能とは①	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第5回	5月16日	皮膚の生理機能とは②	皮膚の生理機能 生理機能7つを理解する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第6回	5月16日	皮膚のアルカリ中和能	皮膚のアルカリ中和能 ODT 経皮吸収				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第7回	5月23日	にきびについて①	にきびの発生の仕方 にきびの種類 常在菌				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第8回	5月23日	にきびについて②	アダルトにきびと大人ニキビ にきびの有効成分 手入れ方法				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第9回	5月30日	皮膚の乾燥について	皮膚の乾燥とはどのような状態か 表皮の乾燥 真皮の乾燥 お手入れの方法				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第10回	5月30日	皮膚と紫外線①	皮膚と紫外線の関係を理解する 紫外線の分類と皮膚への作用 光老化について 紫外線防御とSPF				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第11回	6月6日	皮膚と紫外線②	メラニンの生成過程と美白剤を理解する メラニン合成経路、適応する美白剤				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第12回	6月6日	皮膚と色素異常 皮膚と湿疹①	皮膚と色素異常について理解する 肝斑、そばかす等				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第13回	6月13日	皮膚と色素異常 皮膚と湿疹②	皮膚と湿疹について理解する 湿疹の分類方法と発症過程				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第14回	6月13日	皮膚とストレスの関係①	ホルモンの復習 (各ホルモンの働き) ストレスとホメオスタシス				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第15回	6月20日	皮膚とストレスの関係②	ランゲルハンス細胞、NK細胞、副腎皮質ホルモン、自律神経				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第16回	6月20日	皮膚と女性ホルモンの関係①	皮膚と女性ホルモンの関係を理解する 月経周期による肌の変化				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第17回	6月27日	皮膚と女性ホルモンの関係②	更年期と肌の関係				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第18回	6月27日	皮膚と老化	皮膚の老化とは 老化した皮膚の表皮の状態 老化した皮膚の真皮の状態 皮膚と睡眠の関係を理解する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第19回	7月4日	皮膚と睡眠の関係	成長ホルモン、レム睡眠、ノンレム睡眠				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第20回	7月4日	皮膚と睡眠の関係	睡眠とホルモンの関係を理解する				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第21回	7月11日	美しい皮膚になるための食生活について①	肌が美しくなる栄養素を理解する 脂質 糖質 タンパク質				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第22回	7月11日	美しい皮膚になるための食生活について②	肌が美しくなる栄養素を理解する ビタミン、ミネラル				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第23回	7月18日	アレルギーについて	アレルギーについて理解する 一次刺激性とアレルギー性皮膚炎の違い アレルギーを起こす原因物質				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第24回	7月18日	アトピー性皮膚炎について	アトピー性皮膚炎について理解する 定義と症状、かゆみの発症過程と治療法、 スキンケアのポイント				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第25回	7月25日	皮膚生理学 皮膚と内臓	皮膚と内臓の関係を理解する 内臓疾患が肌に与える影響 生理学の復習				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	
第26回	7月25日	皮膚生理学 皮膚と内臓	肝臓 大腸 胃 心臓 卵巣 子宮				INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint	

2025年度シラバス

第27回	8月1日	美容皮膚科の新技術とその応用 ①	レーザー治療はどのようなものか 治療の実際 注意点 コラーゲン注入療法はどのようなものか 療法の実際 注意点 ケミカルピーリングはどのようなものか 有効性 注意点 トレチノイン療法はどのようなものか 有効性 注意すること	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第28回	8月1日	美容皮膚科の新技術とその応用 ②	痩身に対する治療 肥満症の定義 部分痩身について	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第29回	8月6日	期末試験対策 総復習	第1回～28回の総復習	INFA (Theorie) テキスト オリジナルPowerPoint
第30回	8月6日	期末試験実施	期末試験の実施	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。21.

①記述式筆記試験（配点70％）穴埋め問題：30問×1点 記述問題：10問×3点 短答式問題：40問×1点 ②提出物（配点10％）1回未提出：－3点 ③確認テストの点数（配点10％）80点以下：－2点 ④授業態度（配点10％）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①記述式筆記試験	1位					70	秀（S）：100点～90点
②提出物			1位	2位		10	優（A）： 89点～80点
③確認テストの点数	1位		2位			10	良（B）： 79点～70点
④授業態度				1位		10	可（D）： 69点～60点
							不可（E）:59点以下
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	田澤 初美	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	田澤 初美
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹		解剖生理学（口述）		学科名 ² （コース名）		ビューティスペシャリスト科		学年		学年 ³							
授業形態 ⁴		講義		学期		後期		開講年月 ⁵		10月		該当資格区分 ⁶		民間検定			
教育課程区分 ⁷		選択必修		単位数 ⁸		1		時間数 ⁹		30		該当資格名称 ¹⁰		INFA国際ライセンス			
科目の概要 （全コマ数を俯瞰して）		本授業では、エステティシャンに必要な人体の基礎知識（解剖生理学・皮膚科学）を習得し、国際ライセンス（INFA）口頭試問試験に対応できる表現力・応用力を養います。身体の構造と機能を理解した上で、トリートメントの根拠を自ら説明できる力を身につけます。															
科目の到達目標 （教育課程の位置づけ）		解剖学・生理学・皮膚科学の基本用語を正しく理解し、専門用語を用いて説明できる。 各器官（皮膚、筋肉、骨格、循環器、神経系、リンパ系、内分泌系など）の働きと美容との関係性を理解できる。 美容施術の効果を生理学的に説明し、安全性と根拠を持って施術を提案できる。 INFA試験の口頭試問形式に慣れ、論理的・的確に答える練習ができる。 英語やフランス語での用語に触れ、国際的な視点での理解を深める（補助的に）															
受講条件		人体の構造と機能 皮膚科学 履修程度の知識															
教科書名 ¹⁴		INFA（Theorie）テキスト						教材名 ¹⁵		オリジナルPowerPoint							
設備名・機器名 ¹⁶		教材投影用プロジェクター・PC						関連サイト ¹⁷									
関連前科目 ¹⁸		人体の構造と機能 皮膚科学						関連後科目 ¹⁹		解剖生理学Ⅱ サロン運営							
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位												20.					
回（コマ）		開講日		授業コマの主題（タイトル）		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標						使用教科書・教材					
第1回		9月30日		オリエンテーション		INFA国際ライセンスとは？ 試験概要と合格のポイント理解						INFA（Theorie）テキスト					
第2回		10月7日		解剖生理学の応用①		解剖生理学の基礎①：細胞・組織の構造と役割						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第3回		10月14日		解剖生理学の応用②		解剖生理学の基礎②：筋肉・骨格系の構造と美容への応用						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第4回		10月21日		解剖生理学の応用③		解剖生理学の基礎③：循環器・リンパ系の機能とトリートメント効果						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第5回		10月28日		解剖生理学の応用④		解剖生理学の基礎④：神経系・内分泌系とストレスケア						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第6回		11月4日		皮膚科学の応用①		皮膚科学の基礎①：皮膚の構造とターンオーバー						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第7回		11月11日		皮膚科学の基礎②		皮膚科学の基礎②：皮膚タイプ・トラブルの見分けと対策						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第8回		11月18日		美容施術の科学的根拠と効果		美容施術の科学的根拠と効果：例）フェイシャル・ボディ						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第9回		11月25日		各系統の復習と応用		各系統の復習と応用：ケア提案に結びつける力を養う						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第10回		12月2日		口頭試問対策①		模擬Q&Aと回答の組み立て練習						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第11回		12月9日		口頭試問対策②		英語・フランス語用語の確認（補助）						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第12回		12月16日		ケーススタディ		お客様の悩みに対しての説明と提案練習						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第13回		1月20日		総復習テストとフィードバック		総復習テストとフィードバック						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第14回		1月27日		模擬口頭試問		個別形式 グループ形式・相互フィードバック						INFA（Theorie）テキスト オリジナルPowerPoint					
第15回		2月3日		期末試験実施		期末試験実施											
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。												21.					
①記述式筆記試験（配点45％）穴埋め問題：30問×1点 記述問題：10問×3点 短答式問題：40問×1点 ②口述式試験（配点45％）過去に出題された口頭試問問題から10問を出題 評価項目は別紙 ③授業態度（配点10％）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点																	
↓判定方法\該当する観点→				知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		評価配分％		成績評価基準	
①記述式筆記試験				1位		2位								45		秀（S）：100点～90点	
②口述式試験				2位		2位								45		優（A）： 89点～80点	
③授業態度								2位		1位				10		良（B）： 79点～70点	
																可（D）： 69点～60点	
																不可（E）：59点以下	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。												不合格の場合		再試験1回			
シラバス作成者		田澤 初美		シラバス承認者		フルネームを記載				授業担当教員		田澤 初美					
										実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載					
更新履歴																	
シラバス更新履歴		更新理由				更新箇所				作成者				Check者（確認者）			
改1																	
改2																	
改3																	
改4																	
改5																	

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクアップ総合		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 メイクアップアドバイザーコース			学年	3 2学年
授業形態 ⁴	実習		学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	なし
教育課程区 分 ⁷	選択必修		単位数 ⁸	6	時間数 ⁹	180	該当資格名称 ¹⁰	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		¹¹ メイク講座開講における企画、構成、運営、接客、施術について教授する 当該内容は現場での接客、施術に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		¹² 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 今まで学んだメイクアップの知識、技術をお客様に伝える（教える）力を身に付ける メイク動画の作成及びメイク講座の開講ができる						
受講条件		¹³ Y I C京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科メイクアップアドバイザーコースに在籍していること メイクアップⅡ、メイクセラピーⅡ履修済み						
教科書名 ¹⁴		該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント		
設備名・機器名 ¹⁶		投影用プロジェクター/Pcorタブレット			関連サイト ¹⁷	Y I C京都ビューティ専門学校ホームページ https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/		
関連前科目 ¹⁸		メイクアップⅡ、メイクセラピーⅡ			関連後科目 ¹⁹	サロン運営Ⅰ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	水	オリエンテーション	授業の目標、目的、評価方法について理解する				オリジナルプリント	
第2回	水	コミュニケーションスキル1	非言語コミュニケーションについてグループワークができる				オリジナルプリント	
第3回	水	コミュニケーションスキル2	オープンクエスチョン、クローズドクエスチョンを使い分けることができる				オリジナルプリント	
第4回	水	コミュニケーションスキル3	ジョハリの窓ワーク、伝える技術を用いてフィードバックができる				オリジナルプリント	
第5回	木	メイク動画オリエンテーション	メイク動画作成の目的、目標について理解する				オリジナルプリント	
第6回	木	メイクと色彩	メイクにおけるカラーの提案について理解する				オリジナルプリント	
第7回	木	色彩ワーク1	色彩ワークができる				オリジナルプリント	
第8回	木	色彩ワーク2	色彩ワークでの課題点の発見ができる				オリジナルプリント	
第9回	水	メイクセラピー実習1	カウンセリングの重要性について復習ができる				オリジナルプリント	
第10回	水	メイクセラピー実習2	オーダーカウンセリングでやりたい印象を引き出す				オリジナルプリント	
第11回	水	メイクセラピー実習3	オーダーに伴ったメイクアップが半顔に施術し、クライアントにメイク方法を伝えることができる				オリジナルプリント	
第12回	水	メイクセラピー実習4	フォローカウンセリングとメイクの課題点の発見ができる				オリジナルプリント	
第13回	木	メイクに必要な色彩学1	色彩理論について説明ができる				オリジナルプリント	
第14回	木	メイクに必要な色彩学2	パーソナルカラー、4シーズンの特徴について理解する				オリジナルプリント	
第15回	木	メイクに必要な色彩学3	パーソナルカラー診断ができる（施術者）				オリジナルプリント	
第16回	木	メイクに必要な色彩学4	パーソナルカラー診断ができる（被施術者）				オリジナルプリント	
第17回	水	模写メイク1	顔分析とメイクアップの修整について理解する				オリジナルプリント	
第18回	水	模写メイク2	メイクアッププランが作成できる				オリジナルプリント	
第19回	水	模写メイク3	顔分析とメイクアップの修整を行い、模写メイクができる（施術者）				オリジナルプリント	
第20回	水	模写メイク4	顔分析とメイクアップの修整を行い、模写メイクができる（被施術者）				オリジナルプリント	
第21回	木	パーソナルカラー1	配色の方向性について理解する				オリジナルプリント	
第22回	木	パーソナルカラー2	4シーズンのコーディネートについて理解する				オリジナルプリント	
第23回	木	パーソナルカラー3	色彩心理について理解する				オリジナルプリント	
第24回	木	パーソナルカラー4	カラーカードワークができる				オリジナルプリント	
第25回	水	メイク講座の組み立て方1	メイク講座における注意点を理解する				オリジナルプリント	
第26回	水	メイク講座の組み立て方2	メイク講座の内容を考案することができる				オリジナルプリント	
第27回	水	メイク講座の組み立て方3	導入、展開、まとめの構成を考案する				オリジナルプリント	
第28回	水	メイク講座の組み立て方4	資料、ビジュアルツールの作成準備ができる				オリジナルプリント	
第29回	木	メイク動画作成1	メイク動画の内容を考案する				オリジナルプリント	
第30回	木	メイク動画作成2	メイク動画の構成を考える				オリジナルプリント	
第31回	木	メイク動画作成3	メイク動画撮影に必要な材料のピックアップができる				オリジナルプリント	
第32回	木	メイク動画作成4	メイク動画撮影の準備を行う				オリジナルプリント	
第33回	水	サロン運営1	メイクサロンの事業計画書作成することができる				オリジナルプリント	
第34回	水	サロン運営2	メイクサロンメニューを考案することができる				オリジナルプリント	
第35回	水	サロン運営3	サロンメニューの施術内容を考案することができる				オリジナルプリント	
第36回	水	サロン運営4	サロンメニューの施術マニュアルの作成ができる				オリジナルプリント	
第37回	木	メイク動画作成5	動画のメイクプラン作成できる				オリジナルプリント	
第38回	木	メイク動画作成6	動画のメイクが施術できる				オリジナルプリント	
第39回	木	メイク動画作成7	動画の素材を集めることができる				オリジナルプリント	

2025年度シラバス

第40回	木	メイク動画作成8	動画のシナリオ作成ができる	オリジナルプリント
第41回	水	メイク講座考案1	メイク講座のレッスンプラン1を作成することができる	オリジナルプリント
第42回	水	メイク講座考案2	メイク講座のレッスンプラン2を作成することができる	オリジナルプリント
第43回	水	メイク講座考案3	メイク講座のレッスンプラン3を作成することができる	オリジナルプリント
第44回	水	メイク講座考案4	メイク講座のレッスンプラン4を作成することができる	オリジナルプリント
第45回	木	メイク動画作成9	動画作成、編集1ができる	オリジナルプリント
第46回	木	メイク動画作成10	動画作成、編集2ができる	オリジナルプリント
第47回	木	カラーメイク講座考案1	カラーメイク講座を考案することができる	オリジナルプリント
第48回	木	カラーメイク講座考案2	カラーメイク講座のレッスンプランが作成することができる	オリジナルプリント
第49回	水	メイク講座考案5	考案したメイク講座を実践することができる	オリジナルプリント
第50回	水	メイク講座考案6	第49回の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第51回	水	メイク講座考案7	課題点の修整、改善を行う	オリジナルプリント
第52回	水	メイク講座考案8	レッスンプランを修正することができる	オリジナルプリント
第53回	木	メイク動画作成13	動画作成の編集を行い、課題点を発見する	オリジナルプリント
第54回	木	メイク動画作成14	動画の課題点の修整を行う	オリジナルプリント
第55回	木	カラーメイク講座考案3	カラーメイク講座のレッスンプラン2を作成することができる	オリジナルプリント
第56回	木	カラーメイク講座考案4	カラーメイク講座に必要な材料のピックアップできる	オリジナルプリント
第57回	水	メイク講座準備1	お出迎え～カウンセリング、サロンメニューの施術ができる（施術者）	オリジナルプリント
第58回	水	メイク講座準備2	メイクアドバイス～お見送りまでできる（施術者）	オリジナルプリント
第59回	水	メイク講座準備3	お出迎え～カウンセリング、サロンメニューの施術ができる（被施術者）	オリジナルプリント
第60回	水	メイク講座準備4	メイクアドバイス～お見送りまでできる（被施術者）	オリジナルプリント
第61回	木	メイク動画作成17	メイク動画撮影練習ができる（施術者）	オリジナルプリント
第62回	木	メイク動画作成18	メイク動画撮影練習ができる（被施術者）	オリジナルプリント
第63回	木	カラーメイク講座考案5	考案したカラーメイク講座を実践することができる	オリジナルプリント
第64回	木	カラーメイク講座考案6	カラーメイク講座の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第65回	水	メイク講座準備5	考案したメイク講座2を実践することができる	オリジナルプリント
第66回	水	メイク講座準備6	第65回の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第67回	水	メイク講座準備7	第66回の課題点の修整、改善を行う	オリジナルプリント
第68回	水	メイク講座準備8	メイク講座2のレッスンプランを修正することができる	オリジナルプリント
第69回	木	メイク動画撮影・編集1	メイク動画撮影の流れを把握する	オリジナルプリント
第70回	木	メイク動画撮影・編集2	メイク動画の撮影を実施する（前半）	オリジナルプリント
第71回	木	メイク動画撮影・編集3	メイク動画の撮影を実施する（後半）	オリジナルプリント
第72回	木	メイク動画撮影・編集4	撮影した動画の編集を行う	オリジナルプリント
第73回	水	メイク講座準備9	考案したメイク講座3を実践することができる	オリジナルプリント
第74回	水	メイク講座準備10	第73回の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第75回	水	メイク講座準備11	第74回の課題点の修整、改善を行う	オリジナルプリント
第76回	水	メイク講座準備12	メイク講座3のレッスンプランを修正することができる	オリジナルプリント
第77回	木	メイク動画発表1	撮影したメイク動画の鑑賞をする	オリジナルプリント
第78回	木	メイク動画発表2	鑑賞したメイク動画のフィードバックができる	オリジナルプリント
第79回	木	カラーメイク講座考案7	考案したカラーメイク講座2を実践することができる	オリジナルプリント
第80回	木	カラーメイク講座考案8	カラーメイク講座2の課題点の発見を行う	オリジナルプリント
第81回	水	メイク講座実践1	お出迎え～カウンセリング、メイク講座が開講ができる（施術者）	オリジナルプリント
第82回	水	メイク講座実践2	メイクアドバイス～お見送りまでできる（施術者）	オリジナルプリント
第83回	水	メイク講座実践3	お出迎え～カウンセリング、メイク講座を受講することができる（被施術者）	オリジナルプリント
第84回	水	メイク講座実践4	メイクアドバイス～お見送りまでできる（被施術者）	オリジナルプリント
第85回	木	百貨店見学1	コスメカウンターブランド1でタッチアップを受けることができる	
第86回	木	百貨店見学2	コスメカウンターブランド2でタッチアップを受けることができる	
第87回	木	百貨店見学3	タッチアップ、接客を受けての振り返りができる	
第88回	木	百貨店見学4	商品のプレゼンテーションができる	
第89回	水	成績判定試験1	講座を開講することができる（成績判定試験）	オリジナルプリント
第90回	水	成績判定試験2	講座を受講することができる（成績判定試験）	オリジナルプリント

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。

21.

出席率80%以上及び
 ①成績判定試験：接客ロープレ、メイクカルテ、アドバイスシート作成
 ④授業態度：提出物及び授業への出席状況进行评估する
 ⑤作品：ビジュアルツール、動画作成を成績に反映する
 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

2025年度シラバス

↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験			2位			1位	40	秀（S）：100点～90点 優（A）： 89点～80点 良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下
②確認テスト							なし	
③課題レポート							なし	
④授業態度				2位	1位		30	
⑤作品			2位			1位	30	
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	毛利美保・福本真弓			
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	ネイルⅠ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科 ネイリストコース			学年	³ 1学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区 分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	4	時間数 ⁹	120	該当資格名称 ¹⁰	ネイリスト技能検定2級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ ネイル技術のネイルケア、チップ&ラップ、カラーリング、ネイルアートについて教授する 当該内容は現場での施術に役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 ネイリスト技能検定2級試験合格相当の知識を身に付ける。							
受講条件	¹³ ビューティスペシャリスト科ネイリストコースに在籍していること							
教科書名	¹⁴ テクニカルシステム ベーシック第4版2025年3月発行 ネイリスト技能検定試験 筆記試験公式問題集				教材名 ¹⁵	ネイル道具一式		
設備名・機器名	¹⁶ 水道				関連サイト ¹⁷	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター https://www.nail-kentei.or.jp/about/		
関連前科目	¹⁸ ネイル基礎				関連後科目 ¹⁹	ネイルⅤ、ネイルⅥ、ネイルⅦ、ネイルⅧ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	10月2日	オリエンテーション		授業の内容、目標、評価について理解する				ネイル道具一式
第2回	10月2日	ネイリスト技能検定2級対策 1		ネイリスト技能検定2級試験の概要について理解する				ネイル道具一式
第3回	10月2日	ネイリスト技能検定2級対策 2		2級試験課題ラウンドの手技、手順を理解する				ネイル道具一式
第4回	10月2日	ネイリスト技能検定2級対策 3		2級試験課題ケアアートの手技、手順を理解する				ネイル道具一式
第5回	10月9日	ネイリスト技能検定2級対策 4		2級試験課題チップ&ラップの概要について理解する				ネイル道具一式
第6回	10月9日	ネイリスト技能検定2級対策 5		2級試験課題チップ&ラップの手技、手順を理解する				ネイル道具一式
第7回	10月9日	ネイリスト技能検定2級対策 6		チップ&ラップ施術ができる				ネイル道具一式
第8回	10月9日	ネイリスト技能検定2級対策 7		ラウンドにファイリングすることができる				ネイル道具一式
第9回	10月16日	ネイリスト技能検定2級対策 8		ラウンドにファイリングすることができる（両手）				ネイル道具一式
第10回	10月16日	ネイリスト技能検定2級対策 9		両手10本のネイルケアができる				ネイル道具一式
第11回	10月16日	ネイリスト技能検定2級対策 1 0		チップ&ラップ施術ができる（第7回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第12回	10月16日	ネイリスト技能検定2級対策 1 1		チップ&ラップの施術ができる（第11回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第13回	10月23日	ネイリスト技能検定2級対策 1 2		2級試験課題（前半）の施術ができる				ネイル道具一式
第14回	10月23日	ネイリスト技能検定2級対策 1 3		2級試験課題（前半）の課題点が把握できる				ネイル道具一式
第15回	10月23日	ネイリスト技能検定2級対策 1 4		2級試験課題（後半）施術ができる				ネイル道具一式
第16回	10月23日	ネイリスト技能検定2級対策 1 5		2級試験課題（後半）の課題点の把握ができる				ネイル道具一式
第17回	10月29日	ネイリスト技能検定2級対策 1 6		2級試験課題の練習（第14回、16回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第18回	10月29日	ネイリスト技能検定2級対策 1 7		2級試験課題アートについて理解する				ネイル道具一式
第19回	10月29日	ネイリスト技能検定2級対策 1 8		2級試験課題アートの手技、手順について理解する				ネイル道具一式
第20回	10月29日	ネイリスト技能検定2級対策 1 9		2級試験課題アートの施術ができる				ネイル道具一式
第21回	11月6日	ネイリスト技能検定2級対策 2 0		2級試験課題前半の施術ができる（第17回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第22回	11月6日	ネイリスト技能検定2級対策 2 1		2級試験課題後半の施術ができる（第17回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第23回	11月6日	ネイリスト技能検定2級対策 2 2		2級試験課題アートの施術ができる（第20回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第24回	11月6日	ネイリスト技能検定2級対策 2 3		第23回の2級試験課題アートの課題点、改善点を発見することができる				ネイル道具一式
第25回	11月13日	ネイリスト技能検定2級対策 2 4		2級試験課題前半の通し練習ができる 1				ネイル道具一式
第26回	11月13日	ネイリスト技能検定2級対策 2 5		2級試験課題前半の通し練習ができる 2				ネイル道具一式
第27回	11月13日	ネイリスト技能検定2級対策 2 6		2級試験課題後半の通し練習ができる 1				ネイル道具一式
第28回	11月13日	ネイリスト技能検定2級対策 2 7		2級試験課題後半の通し練習ができる 2				ネイル道具一式
第29回	11月20日	ネイリスト技能検定2級対策 2 8		2級試験課題前半の施術ができる（第25回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第30回	11月20日	ネイリスト技能検定2級対策 2 9		2級試験課題前半の施術ができる（第26回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第31回	11月20日	ネイリスト技能検定2級対策 3 0		2級試験課題アートが所定の時間内で施術することができる				ネイル道具一式
第32回	11月20日	ネイリスト技能検定2級対策 3 1		第31回の課題点と改善点の発見ができる				ネイル道具一式
第33回	11月27日	ネイリスト技能検定2級対策 3 2		2級試験課題前半の施術ができる（第30回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第34回	11月27日	ネイリスト技能検定2級対策 3 3		チップ&ラップの施術ができる（施術者）				ネイル道具一式
第35回	11月27日	ネイリスト技能検定2級対策 3 4		チップ&ラップの施術ができる（被施術者）				ネイル道具一式
第36回	11月27日	ネイリスト技能検定2級対策 3 5		2級試験課題後半の施術ができる（第28回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第37回	12月4日	ネイリスト技能検定2級対策 3 6		2級試験課題前半の施術ができる（第33回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第38回	12月4日	ネイリスト技能検定2級対策 3 7		2級試験課題前半の課題点と改善点の発見ができる（第37回）				ネイル道具一式
第39回	12月4日	ネイリスト技能検定2級対策 3 8		2級試験課題後半の施術ができる（第36回の課題点の改善）				ネイル道具一式
第40回	12月4日	ネイリスト技能検定2級対策 3 9		2級試験課題後半の課題点と改善点の発見ができる（第39回）				ネイル道具一式
第41回	12月11日	ネイリスト技能検定2級対策 4 0		2級筆記試験の出題傾向を把握する				ネイル道具一式
第42回	12月11日	ネイリスト技能検定2級対策 4 1		2級筆記試験問題を解くことができる				ネイル道具一式
第43回	12月11日	ネイリスト技能検定2級対策 4 2		2級試験課題前半を所定の時間内で施術ができる				ネイル道具一式
第44回	12月11日	ネイリスト技能検定2級対策 4 3		2級試験課題後半を所定の時間内に施術ができる				ネイル道具一式
第45回	12月18日	ネイリスト技能検定2級対策 4 4		2級筆記試験練習問題を解くことができる				ネイル道具一式
第46回	12月18日	ネイリスト技能検定2級対策 4 5		2級試験課題前半を所定の時間内に施術ができる（第43回の改善）				ネイル道具一式

2025年度シラバス

第47回	12月18日	ネイリスト技能検定2級対策4 6	2級試験課題後半を所定の時間内に施術ができる（第4 4回の改善）	ネイル道具一式
第48回	12月18日	ネイリスト技能検定2級対策4 7	第45, 46, 47回の課題点と改善点の発見ができる	ネイル道具一式
第49回	1月15日	ネイリスト技能検定2級対策4 8	模擬試験実施（2級筆記試験）	ネイル道具一式
第50回	1月15日	ネイリスト技能検定2級対策4 9	模擬試験実施（2級試験前半）	ネイル道具一式
第51回	1月15日	ネイリスト技能検定2級対策5 0	模擬試験実施（2級試験後半）	ネイル道具一式
第52回	1月15日	ネイリスト技能検定2級対策5 1	2級試験の課題点と改善点の発見ができる（第48, 49, 50回）	ネイル道具一式
第53回	1月22日	ネイリスト技能検定1級対策1	2級試験の振り返りができる	ネイル道具一式
第54回	1月22日	ネイリスト技能検定1級対策2	1級試験課題の概要を把握することができる	ネイル道具一式
第55回	1月22日	ネイリスト技能検定1級対策3	1級試験課題アクリルscalpの手技、手順を理解する	ネイル道具一式
第56回	1月22日	ネイリスト技能検定1級対策4	アクリルscalpの施術ができる	ネイル道具一式
第57回	1月29日	成績判定試験1	実技試験：ネイルケア	ネイル道具一式
第58回	1月29日	成績判定試験2	実技試験：チップ&ラップ	ネイル道具一式
第59回	1月29日	成績判定試験3	実技試験：カラーリング	ネイル道具一式
第60回	1月29日	成績判定試験4	実技試験：ネイルアート	ネイル道具一式

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。21.

出席率80%以上及び
①成績判定試験：実技試験：ネイルケア・チップ&ラップ・カラーリング・ネイルアート
②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する
④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する
上記評価点数を下表の配分%で按分し、総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者（確認者）
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	ネイルⅡ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科 ネイリストコース			学年	³ 学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	4	時間数 ⁹	120	該当資格名称 ¹⁰	ネイリスト技能検定1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		¹¹ スタイリング、チップの装着、ナチュラルスカルプ、チップオーバーレイの技術を教授する 当該内容は現場での施術に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		¹² 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 ネイリスト技能検定1級試験合格相当の知識を身に付ける。						
受講条件		¹³ ビューティスペシャリスト科ネイリストコースに在籍していること						
教科書名 ¹⁴				テクニカルシステム ベーシック第4版2025年3月発行 ネイリスト技能検定試験 筆記試験公式問題集		教材名 ¹⁵	ネイル道具一式	
設備名・機器名 ¹⁶		水道			関連サイト ¹⁷	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター https://www.nail-kentei.or.jp/about/		
関連前科目 ¹⁸		ネイル基礎			関連後科目 ¹⁹	ネイルⅤ、ネイルⅥ、ネイルⅦ、ネイルⅧ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回		オリエンテーション		授業の内容、目標、評価方法について理解する				ネイル道具一式
第2回		ネイル技術応用1		ワンボールをとり、広げることができる				ネイル道具一式
第3回		ネイル技術応用2		ワンボールをとり、広げることができる（第2回の改善）				ネイル道具一式
第4回		ネイル技術応用3		ワンボールをとり、広げることができる（第3回の改善）				ネイル道具一式
第5回		ネイル技術応用4		ワンボールをとり、広げることができる（第4回の改善）				ネイル道具一式
第6回		ネイル技術応用5		ワンボールをとり、広げることができる（第5回の改善）				ネイル道具一式
第7回		ネイル技術応用6		ハンドにフォームを付けることができる				ネイル道具一式
第8回		ネイル技術応用7		ハンドにフォームを付けることができる（第7回の改善）				ネイル道具一式
第9回		ネイル技術応用8		3ボールまでのアプリケーションができる				ネイル道具一式
第10回		ネイル技術応用9		3ボールまでのアプリケーションができる（第9回の改善）				ネイル道具一式
第11回		ネイル技術応用10		4ボールまでのアプリケーションができる（第10回の改善）				ネイル道具一式
第12回		ネイル技術応用11		4ボールまでのアプリケーションができる（第11回の改善）				ネイル道具一式
第13回		ネイル技術応用12		チップオーバーレイができる				ネイル道具一式
第14回		ネイル技術応用13		チップオーバーレイができる（第13回の改善）				ネイル道具一式
第15回		ネイル技術応用14		チップオーバーレイができる（第14回の改善）				ネイル道具一式
第16回		ネイル技術応用15		チップオーバーレイができる（第15回の改善）				ネイル道具一式
第17回		ネイル技術応用16		苦手箇所の改善ができる（第2～16回の改善）				ネイル道具一式
第18回		ネイル技術応用17		苦手箇所の改善ができる（第17回の改善）				ネイル道具一式
第19回		ネイル技術応用18		苦手箇所の改善ができる（第18回の改善）				ネイル道具一式
第20回		ネイル技術応用19		苦手箇所の改善ができる（第19回の改善）				ネイル道具一式
第21回		ネイル技術応用20		ナチュラルスカルプ3本揃えることができる				ネイル道具一式
第22回		ネイル技術応用21		ナチュラルスカルプ3本揃えることができる（第21回の改善）				ネイル道具一式
第23回		ネイル技術応用22		ナチュラルスカルプ3本揃えることができる（第22回の改善）				ネイル道具一式
第24回		ネイル技術応用23		ナチュラルスカルプ3本揃えることができる（第23回の改善）				ネイル道具一式
第25回		ネイル技術応用24		人の手にフォームを装着することができる（施術者）				ネイル道具一式
第26回		ネイル技術応用25		人の手にフォームを装着することができる（被施術者）				ネイル道具一式
第27回		ネイル技術応用26		フォーム装着の課題点の発見ができる（施術者）				ネイル道具一式
第28回		ネイル技術応用27		フォーム装着の課題点の発見ができる（被施術者）				ネイル道具一式
第29回		ネイル技術応用28		ナチュラルスカルプ5本施術することができる				ネイル道具一式
第30回		ネイル技術応用29		ナチュラルスカルプ5本施術することができる（第29回の改善）				ネイル道具一式
第31回		ネイル技術応用30		ナチュラルスカルプ5本施術することができる（第30回の改善）				ネイル道具一式
第32回		ネイル技術応用31		ナチュラルスカルプ5本施術することができる（第31回の改善）				ネイル道具一式
第33回		ネイル技術応用32		ナチュラルスカルプ、チップオーバーレイの施術者ができる				ネイル道具一式
第34回		ネイル技術応用33		ナチュラルスカルプ、チップオーバーレイの施術者ができる（第33回の改善）				ネイル道具一式
第35回		ネイル技術応用34		ナチュラルスカルプ、チップオーバーレイの施術者ができる（第34回の改善）				ネイル道具一式
第36回		ネイル技術応用35		ナチュラルスカルプ、チップオーバーレイの施術者ができる（第35回の改善）				ネイル道具一式
第37回		ネイル技術応用36		各工程ごとのタイム計測ができる				ネイル道具一式
第38回		ネイル技術応用37		各工程ごとのタイム計測ができる（第37回の改善）				ネイル道具一式
第39回		ネイル技術応用38		各工程ごとのタイム計測ができる（第38回の改善）				ネイル道具一式
第40回		ネイル技術応用39		各工程ごとのタイム計測ができる（第39回の改善）				ネイル道具一式
第41回		ネイル技術応用40		所定の時間内にナチュラルスカルプ3本、チップオーバーレイ2本が施術できる				ネイル道具一式
第42回		ネイル技術応用41		所定の時間内にナチュラルスカルプ3本、チップオーバーレイ2本が施術できる（第41回の改善）				ネイル道具一式
第43回		ネイル技術応用42		所定の時間内にナチュラルスカルプ3本、チップオーバーレイ2本が施術できる（第42回の改善）				ネイル道具一式
第44回		ネイル技術応用43		所定の時間内にナチュラルスカルプ3本、チップオーバーレイ2本が施術できる（第43回の改善）				ネイル道具一式
第45回		ネイル技術応用44		各工程ごとの苦手箇所の改善ができる				ネイル道具一式
第46回		ネイル技術応用45		各工程ごとの苦手箇所の改善ができる（第45回の改善）				ネイル道具一式
第47回		ネイル技術応用46		各工程ごとの苦手箇所の改善ができる（第46回の改善）				ネイル道具一式
第48回		ネイル技術応用47		各工程ごとの苦手箇所の改善ができる（第47回の改善）				ネイル道具一式
第49回		ネイル技術応用48		所定の時間内にナチュラルスカルプ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる				ネイル道具一式
第50回		ネイル技術応用49		所定の時間内にナチュラルスカルプ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる（第49回の改善）				ネイル道具一式
第51回		ネイル技術応用50		所定の時間内にナチュラルスカルプ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる（第50回の改善）				ネイル道具一式

2025年度シラバス

第52回		ネイル技術応用5 1	所定の時間内にナチュラルスカルプ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる（第51回の改善）	ネイル道具一式
第53回		ネイル技術応用5 2	所定の時間内にナチュラルスカルプ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる（第52回の改善）	ネイル道具一式
第54回		ネイル技術応用5 3	所定の時間内にナチュラルスカルプ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる（第53回の改善）	ネイル道具一式
第55回		ネイル技術応用5 4	所定の時間内にナチュラルスカルプ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる（第54回の改善）	ネイル道具一式
第56回		ネイル技術応用5 5	所定の時間内にナチュラルスカルプ5本、チップオーバーレイ2本が施術できる（第55回の改善）	ネイル道具一式
第57回		ネイル技術応用5 6	技術の見直し、苦手箇所の改善ができる（前半）	ネイル道具一式
第58回		ネイル技術応用5 7	技術の見直し、苦手箇所の改善ができる（後半）	ネイル道具一式
第59回		成績判定試験3	ナチュラルスカルプ、チップオーバーレイの施術できる	ネイル道具一式
第60回		成績判定試験4	ナチュラルスカルプ、チップオーバーレイの施術できる	ネイル道具一式

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。21.

出席率80%以上及び ①成績判定試験：実技試験：ナチュラルスカルプ、チップオーバーレイ ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	フルネームを記載	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹		ネイルⅢ		学科名 ² (コース名)		ビューティスペシャリスト科 ネイリストコース			学年		1学年	
授業形態 ⁴		実習		学期		後期		開講年月 ⁵ 9月		該当資格区分 ⁶ 民間検定		
教育課程区 ⁷ 分		選択必修		単位数 ⁸		4		時間数 ⁹ 60		該当資格名称 ¹⁰ ジェルネイル検定初級		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. ネイル技術のジェルオフ、ジェルカラーリング、ジェルアートの手技、手順を教授する 当該内容は現場での施術に役立つ										
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 ジェルネイル検定初級合格相当の知識を身に付ける。										
受講条件		13. ビューティスペシャリスト科ネイリストコースに在籍していること										
教科書名		14. JNAテクニカルシステム ジェルネイル							教材名 ¹⁵		ネイル道具一式	
設備名・機器名		16. ジェルランプ用コンセント							関連サイト ¹⁷		日本ネイリスト協会ホームページ https://www.nail.or.jp/	
関連前科目		18. ネイル基礎							関連後科目 ¹⁹		ネイルⅤ、ネイルⅥ、ネイルⅦ、ネイルⅧ	
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位												20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)				各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回		オリエンテーション				授業の内容、目標、授業評価について理解する				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第2回		ジェルネイル技術1				フローターについて理解し、自爪5本に施術することができる				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第3回		ジェルネイル技術2				フラットアート1の手技、手順を理解する				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第4回		ジェルネイル技術3				フラットアート1の施術ができる				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第5回		ジェルネイル技術4				ジェル初級の試験内容について理解する				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第6回		ジェルネイル技術5				片手5本カラージェルの手順、ジェルオフの手順について理解する				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第7回		ジェルネイル技術6				フラットアート2の手技、手順を理解する				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第8回		ジェルネイル技術7				フラットアート2の施術ができる				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第9回		ジェルネイル技術8				ピーコックの手技、手順を理解する				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第10回		ジェルネイル技術9				ピーコックの施術ができる				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第11回		ジェルネイル技術10				エンボス、3Dアートの手技、手順を理解する				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第12回		ジェルネイル技術11				エンボス、3Dアートの施術ができる				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第13回		ジェルネイル技術12				ジェルの工程について理解する				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第14回		ジェルネイル技術13				片手5本にカラージェルが施術できる				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第15回		ジェルネイル技術14				ジェル初級課題を一連の流れで施術ができる（施術者）				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第16回		ジェルネイル技術15				ジェル初級課題を一連の流れで施術ができる（被施術者）				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第17回		ジェルネイル技術16				ジェル初級課題の改善点の発見ができる				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第18回		ジェルネイル技術17				ジェル初級課題の改善ができる				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第19回		ジェルネイル技術18				ジェル初級課題を所定時間内に施術することができる（施術者）				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第20回		ジェルネイル技術19				ジェル初級課題を所定の時間内に施術することができる（被施術者）				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第21回		ジェルネイル技術20				ジェル初級課題の施術ができる（第19回の改善）				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第22回		ジェルネイル技術21				ジェル初級課題の施術ができる（第20回の改善）				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第23回		ジェルネイル技術22				ジェル初級課題とサンディングアリのジェルオフができる（施術者）				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第24回		ジェルネイル技術23				ジェル初級課題とサンディングアリのジェルオフができる（被施術者）				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第25回		ジェルネイル技術24				ジェル初級課題とサンディングアリのジェルオフができる（施術者）第23回の改善				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第26回		ジェルネイル技術25				ジェル初級課題とサンディングアリのジェルオフができる（被施術者）第24回の改善				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第27回		ジェルネイル技術26				ジェル初級課題の模擬試験実施（施術者）				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第28回		ジェルネイル技術27				ジェル初級課題の模擬試験実施（被施術者）				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第29回		ジェルネイル技術28				成績判定試験：ジェルオフ、ジェルカラーリング、ジェルアート				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
第30回		ジェルネイル技術29				成績判定試験：ジェルオフ、ジェルカラーリング、ジェルアート				JNAテクニカルシステム ジェル ネイル/ネイル道具一式		
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。												21.

2025年度シラバス

出席率80%以上及び

①成績判定試験：実技試験：ジェルオフ、ジェルカラーリング、ジェルアート

②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する

④授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する

上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	ネイルⅣ		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 ネイリストコース			学年	1 ³ 学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	4	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	ジェルネイル初級/ネイリスト技能検定2級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11 ネイル技術のネイルケア、チップ&ラップ、カラーリング、ネイルアート、ジェルネイルについて教授する 当該内容は現場での施術に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 ネイリスト技能検定2級試験・ジェルネイル初級試験合格相当の知識を身に付ける。						
受講条件		13 ビューティスペシャリスト科ネイリストコースに在籍していること						
教科書名 ¹⁴ テクニカルシステム ベーシック第4版2025年3月発行 JNAテクニカルシステム ジェルネイル				教材名 ¹⁵		ネイル道具一式		
設備名・機器名 ¹⁶		水道		関連サイト ¹⁷		公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター https://www.nail-kentei.or.jp/about/		
関連前科目 ¹⁸		ネイル基礎		関連後科目 ¹⁹		ネイルⅤ、ネイルⅥ、ネイルⅦ、ネイルⅧ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回		オリエンテーション		授業の内容、目標、評価表方法について理解する				ネイル道具一式
第2回		検定対策1		ネイルケアが施術できる				ネイル道具一式
第3回		検定対策2		カラージェル塗布の手技、手順を理解する				ネイル道具一式
第4回		検定対策3		カラージェル塗布を片手5本に施術ができる				ネイル道具一式
第5回		検定対策4		ネイルケア、プッシュアップの施術ができる				ネイル道具一式
第6回		検定対策5		ネイルケア、プッシュアップの施術ができる（第5回の改善）				ネイル道具一式
第7回		検定対策6		ネイルケア、プッシュアップの施術ができる（第6回の改善）				ネイル道具一式
第8回		検定対策7		ネイルケア、プッシュアップの施術ができる（第7回の改善）				ネイル道具一式
第9回		検定対策8		ネイルケア、ラウンド〜ニッパーの施術ができる				ネイル道具一式
第10回		検定対策9		ネイルケア、ラウンド〜ニッパー、ウッドスティック削りができる				ネイル道具一式
第11回		検定対策10		ネイルケアの施術ができる（施術者）				ネイル道具一式
第12回		検定対策11		ネイルケアの施術ができる（被施術者）				ネイル道具一式
第13回		検定対策12		ネイルケア、カラーリングの手技、手順を理解する				ネイル道具一式
第14回		検定対策13		ネイルケア、カラーリングの施術者ができる				ネイル道具一式
第15回		検定対策14		ジェルネイル初級のテーブルセッティングを理解する				ネイル道具一式
第16回		検定対策15		ジェルネイル理論を理解する				ネイル道具一式
第17回		検定対策16		ネイルケアが所定の時間内に施術することができる				ネイル道具一式
第18回		検定対策17		カラーリングの施術ができる（第14回の改善）				ネイル道具一式
第19回		検定対策18		ネイルケアの施術ができる（第17回の改善）				ネイル道具一式
第20回		検定対策19		第19回のネイルケアの課題点の発見ができる				ネイル道具一式
第21回		検定対策20		ネイルケア、カラーリングの模擬試験実施（前半）				ネイル道具一式
第22回		検定対策21		ネイルケア、カラーリングの模擬試験実施（後半）				ネイル道具一式
第23回		検定対策22		技術確認テスト実施（ネイルケア、カラーリング）前半				ネイル道具一式
第24回		検定対策23		技術確認テスト実施（ネイルケア、カラーリング）後半				ネイル道具一式
第25回		検定対策24		ジェルネイル校内テスト対策（ジェル初級試験課題1）				ネイル道具一式
第26回		検定対策25		ジェルネイル校内テスト対策（ジェル初級試験課題2）				ネイル道具一式
第27回		検定対策26		ジェルネイル校内テスト対策（ジェル初級試験課題1）（第25回の改善）				ネイル道具一式
第28回		検定対策27		ジェルネイル校内テスト対策（ジェル初級試験課題2）（第26回の改善）				ネイル道具一式
第29回		成績判定試験1		ジェルネイル初級校内テスト実施				ネイル道具一式
第30回		成績判定試験2		ジェルネイル初級校内テスト実施				ネイル道具一式
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.								
出席率80%以上及び ①成績判定試験：実技試験：ネイルケア、カラーリング ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 上記評価点数を下表の配分％で採分し総合点6.0点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準

2025年度シラバス

①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点 優（A）： 89点～80点 良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下
②確認テスト	2位	2位				15	
③課題レポート						なし	
④授業態度			2位	1位		15	
⑤作品						なし	
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	フルネームを記載	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版：2024.7.16 YIC京都 校長

科目名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020	1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100	1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147	1148	1149	1150	1151	1152	1153	1154	1155	1156	1157	1158	1159	1160	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1168	1169	1170	1171	1172	1173	1174	1175	1176	1177	1178	1179	1180	1181	1182	1183	1184	1185	1186	1187	1188	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222	1223	1224	1225	1226	1227	1228	1229	1230	1231	1232	1233	1234	1235	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1245	1246	1247	1248	1249	1250	1251	1252	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269	1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278	1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299	1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327	1328	1329	1330	1331	1332	1333	1334	1335	1336	1337	1338	1339	1340	1341	1342	1343	1344	1345	1346	1347	1348	1349	1350	1351	1352	1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1361	1362	1363	1364	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1383	1384	1385	1386	1387	1388	1389	1390	1391	1392	1393	1394	1395	1396	1397	1398	1399	1400	1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410	1411	1412	1413	1414	1415	1416	1417	1418	1419	1420	1421	1422	1423	1424	1425	1426	1427	1428	1429	1430	1431	1432	1433	1434	1435	1436	1437	1438	1439	1440	1441	1442	1443	1444	1445	1446	1447	1448	1449	1450	1451	1452	1453	1454	1455	1456	1457	1458	1459	1460	1461	1462	1463	1464	1465	1466	1467	1468	1469	1470	1471	1472	1473	1474	1475	1476	1477	1478	1479	1
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	---

2025年度シラバス

科目名 ¹	ネイルⅥ		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 (ネイリストコース)			学年	³ 2学年
授業形態 ⁴	実習		学期	前期	開講年月 ⁵ 4月	該当資格区分 ⁶ 民間検定		
教育課程区 分 ⁷	選択必修		単位数 ⁸	4	時間数 ⁹ 120	該当資格名称 ¹⁰	ネイリスト技能検定1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹			アクリル用材を用いたネイルアート、コンテストスタイルを教授する 当該内容はサロンワーク、お客様への施術の際に役立つ					
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹²			当該授業の教育課程における位置付けは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識、技術として位置づける。 ネイリスト技能検定1級合格相当の知識、技術を身に付ける 全日本ネイリスト選手権オンライン地区大会に出場する					
受講条件 ¹³			ネイルⅠ、ネイルⅡ、ネイルⅢ、ネイルⅣ履修済み					
教科書名 ¹⁴ JNAテクニカルシステムベーシック ネイリスト技能検定公式問題集					教材名 ¹⁵	ネイル道具一式		
設備名・機器名 ¹⁶ 該当なし					関連サイト ¹⁷	日本ネイリスト協会 https://www.nail.or.jp/		
関連前科目 ¹⁸ ネイルⅠ、ネイルⅡ、ネイルⅢ、ネイルⅣ					関連後科目 ¹⁹	ネイル総合		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月17日	オリエンテーション	授業の目標、目的、評価方法について理解する				ネイル道具一式	
第2回	4月17日	アクリルアドバンス1	アクリル用材を使用し、造形的な人工爪をつくることができる				ネイル道具一式	
第3回	4月17日	アクリルアドバンス2	チップの装着、ミクスチュアで人工爪を作ることができる				ネイル道具一式	
第4回	4月17日	ネイルマシン1	ネイルマシンの使用方法を理解する				ネイル道具一式	
第5回	4月24日	アクリルアドバンス3	アクリル用材を使用し、3Dアート作品を作ることができる				ネイル道具一式	
第6回	4月24日	アクリルアドバンス4	アクリル用材を使用し、フラットアートが作成できる				ネイル道具一式	
第7回	4月24日	ネイルマシン2	ネイルマシンを用いて、爪の形を整えることができる				ネイル道具一式	
第8回	4月24日	ネイルマシン3	ネイルマシンを用いて、甘皮処理ができる				ネイル道具一式	
第9回	5月8日	アクリルアドバンス5	アクリル用材を使用し、3Dアート＋フラットアートが作成できる				ネイル道具一式	
第10回	5月8日	アクリルアドバンス6	アクリル用材を使用し、3Dアート＋フラットアート＋エンボスが作成することができる				ネイル道具一式	
第11回	5月8日	ネイルマシン4	ネイルマシンを用いてジェルオフの手技、手順を理解する				ネイル道具一式	
第12回	5月8日	ネイルマシン5	ネイルマシンを用いてジェルオフができる				ネイル道具一式	
第13回	5月15日	アクリルアドバンス7	アクリル用材を用いて造形的な人口爪を作成し、チップ装着することができる				ネイル道具一式	
第14回	5月15日	アクリルアドバンス8	アクリル用材を用いて3Dアート＋フラットアート＋エンボスが作成できる				ネイル道具一式	
第15回	5月15日	ネイルマシン6	ネイルマシンを用いて角質除去ができる（施術者）				ネイル道具一式	
第16回	5月15日	ネイルマシン7	ネイルマシンを用いて角質除去ができる（被施術者）				ネイル道具一式	
第17回	5月22日	地区大会コンテスト対策1	オンライン地区大会の要項を理解する				ネイル道具一式	
第18回	5月22日	地区大会コンテスト対策2	トレーニングハンドにチップ到着し、スクエアオフに仕上げるができる				ネイル道具一式	
第19回	5月22日	地区大会コンテスト対策3	フリーエッジの長さをバランスよく仕上げるができる				ネイル道具一式	
第20回	5月22日	地区大会コンテスト対策4	課題点の発見、修正することができる				ネイル道具一式	
第21回	5月29日	地区大会コンテスト対策5	前回の課題点をもとにトレーニングハンドを用いてナチュラルスカルプチュアを施すことができる				ネイル道具一式	
第22回	5月29日	地区大会コンテスト対策6	前回の課題点をもとにトレーニングハンドを用いてナチュラルスカルプチュアを完成させることができる				ネイル道具一式	
第23回	5月29日	地区大会コンテスト対策7	今回の作品の課題点、改善点を発見することができる				ネイル道具一式	
第24回	5月29日	地区大会コンテスト対策8	今回の課題点の修整ができる				ネイル道具一式	
第25回	6月5日	地区大会コンテスト対策9	第21回、第22回の課題点をもとにトレーニングハンドを用いてナチュラルスカルプチュアを施すことができる				ネイル道具一式	
第26回	6月5日	地区大会コンテスト対策10	第21回、第22回の課題点をもとにトレーニングハンドを用いてナチュラルスカルプチュアを完成させることができる				ネイル道具一式	
第27回	6月5日	地区大会コンテスト対策11	第25回、第26回の課題点、改善点の発見ができる				ネイル道具一式	
第28回	6月5日	地区大会コンテスト対策12	第25回、第26回の作品修整ができる				ネイル道具一式	
第29回	6月12日	地区大会コンテスト対策13	コンテスト通し① コンテスト準備、セッティングができる				ネイル道具一式	
第30回	6月12日	地区大会コンテスト対策14	コンテスト通し① トレーニングハンドにナチュラルスカルプチュアを施すことができる				ネイル道具一式	
第31回	6月12日	地区大会コンテスト対策15	コンテスト通し① 所定の時間内にナチュラルスカルプチュアを完成させることができる				ネイル道具一式	
第32回	6月12日	地区大会コンテスト対策16	コンテスト通し① 写真撮影、画像アップロード練習ができる				ネイル道具一式	
第33回	6月19日	地区大会コンテスト対策17	コンテスト通し② コンテスト準備、セッティングができる				ネイル道具一式	
第34回	6月19日	地区大会コンテスト対策18	コンテスト通し② トレーニングハンドにナチュラルスカルプチュアを施すことができる				ネイル道具一式	
第35回	6月19日	地区大会コンテスト対策19	コンテスト通し② 所定の時間内にナチュラルスカルプチュアを完成させることができる				ネイル道具一式	
第36回	6月19日	地区大会コンテスト対策20	コンテスト通し② 写真撮影、画像アップロード練習ができる				ネイル道具一式	

2025年度シラバス

第37回	6月21日 (土)	コンテスト1	オンライン地区大会出場 コンテスト準備、セッティングができる	ネイル道具一式
第38回	6月21日 (土)	コンテスト2	オンライン地区大会出場 競技開始、ナチュラルスカルプチュアを施すことができる	ネイル道具一式
第39回	6月21日 (土)	コンテスト3	オンライン地区大会出場 ナチュラルスカルプチュアを完成させることができる	ネイル道具一式
第40回	6月21日 (土)	コンテスト4	オンライン地区大会出場 画像をアップロードする。結果を確認する	ネイル道具一式
第41回	6月26日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策1	全日本ネイリスト選手権通し① 準備、セッティングができる	ネイル道具一式
第42回	6月26日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策2	全日本ネイリスト選手権通し① ナチュラルスカルプチュアを施すことができる	ネイル道具一式
第43回	6月26日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策3	全日本ネイリスト選手権通し① ナチュラルスカルプチュアを完成させることができる	ネイル道具一式
第44回	6月26日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策4	全日本ネイリスト選手権通し①の課題点、改善点の発見を行う	ネイル道具一式
第45回	7月3日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策5	全日本ネイリスト選手権通し② 準備、セッティングができる	ネイル道具一式
第46回	7月3日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策6	全日本ネイリスト選手権通し② ナチュラルスカルプチュアを施すことができる	ネイル道具一式
第47回	7月3日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策7	全日本ネイリスト選手権通し② ナチュラルスカルプチュアを完成させることができる	ネイル道具一式
第48回	7月3日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策8	全日本ネイリスト選手権通し②の課題点、改善点の発見を行う	ネイル道具一式
第49回	7月10日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策9	全日本ネイリスト選手権通し③ 準備、セッティングができる	ネイル道具一式
第50回	7月10日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策10	全日本ネイリスト選手権通し③ ナチュラルスカルプチュアを施すことができる	ネイル道具一式
第51回	7月10日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策11	全日本ネイリスト選手権通し③ ナチュラルスカルプチュアを完成させることができる	ネイル道具一式
第52回	7月10日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策12	全日本ネイリスト選手権通し③の課題点、改善点の発見を行う	ネイル道具一式
第53回	7月17日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策13	全日本ネイリスト選手権通し④ 準備、セッティングができる	ネイル道具一式
第54回	7月17日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策14	全日本ネイリスト選手権通し④ ナチュラルスカルプチュアを施すことができる	ネイル道具一式
第55回	7月17日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策15	全日本ネイリスト選手権通し④ ナチュラルスカルプチュアを完成させることができる	ネイル道具一式
第56回	7月17日	全日本ネイリスト選手権 コンテスト対策16	全日本ネイリスト選手権通し④の課題点、改善点の発見を行う	ネイル道具一式
第57回	7月25日 (金)	成績判定試験1	成績判定試験 目標：実技試験（ナチュラルスカルプチュア1）	ネイル道具一式
第58回	7月25日 (金)	成績判定試験2	成績判定試験 目標：実技試験（ナチュラルスカルプチュア2）	ネイル道具一式
第59回	7月25日 (金)	成績判定試験3	成績判定試験 目標：実技試験（ナチュラルスカルプチュア3）	ネイル道具一式
第60回	7月25日 (金)	成績判定試験4	成績判定試験 目標：実技試験（ナチュラルスカルプチュア4）	ネイル道具一式

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。21.

出席率80%以上及び
成績判定試験：実技試験 90分
確認テスト：小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する
授業態度：提出物、持参物及び授業への出席状況を評価する
作品：所定課題作品を成績に反映する
上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	2位				1位	30	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位				1位	20	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品		2位			1位	30	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	齋藤多恵子
				実務経験紹介	該当なし

更新履歴

シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

1 科目名		ネイルⅦ		2 学科名 (コース名)		ビューティスペシャリスト科 ネイリストコース				学年		3 2学年			
4 授業形態		実習		学期		前期		5 開講年月		4月		6 該当資格区分		なし	
7 教育課程区 分		選択		8 単位数		2		9 時間数		60		10 該当資格名称		該当なし	
11 科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)				サロンワークで提供するネイル技術を教授する											
12 科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)				当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 お客様に満足していただける施術内容を考えて施術することができる サロン運営の企画・運営を組織的に実施することができる											
13 受講条件				YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科2年生に在籍していること											
14 教科書名				JNAテクニカルシステムベーシック						15 教材名		ネイル教材一式			
16 設備名・機器名				フットチェア						17 関連サイト		https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/blog			
18 関連前科目				ネイルⅠ・ネイルⅡ・ネイルⅢ・ネイルⅣ						19 関連後科目		ネイル総合			
20 授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目標単位、実習・演習：30コマ以上/単位															
回(コマ)		開講日		授業コマの主題(タイトル)				各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標						使用教科書・教材	
第1回		4月18日		オリエンテーション				授業の目的、目標、評価方法について理解する						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第2回		4月18日		サロンワーク実習 1				サロンワークについて理解する						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第3回		4月25日		サロンワーク実習 2				サロンワークでのコミュニケーションについて理解する						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第4回		4月25日		サロンワーク実習 3				サロンワークでのネイルケアについて理解する						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第5回		5月9日		サロンワーク実習 4				ネイルケア+リペア 1本ができる（施術者）						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第6回		5月9日		サロンワーク実習 5				ネイルケア+リペア 1本ができる（被施術者）						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第7回		5月16日		サロンワーク実習 6				サロンワークで提供するネイル技術のチェックができる（施術者）						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第8回		5月16日		サロンワーク実習 7				サロンワークで提供するネイル技術のチェックができる（被施術者）						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第9回		5月23日		サロンワーク実習 8				サロンメニュー実践 1ができる（施術者）						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第10回		5月23日		サロンワーク実習 9				サロンメニュー実践 1ができる（被施術者）						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第11回		5月30日		サロンワーク実習 1 0				サロンメニュー実践 2ができる（施術者）						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第12回		5月30日		サロンワーク実習 1 1				サロンメニュー実践 2ができる（被施術者）						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第13回		6月6日		サロンワーク実習 1 2				サロンワークで提供するチップ作成 1 ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第14回		6月6日		サロンワーク実習 1 3				サロンワークで提供するチップ作成 2 ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第15回		6月13日		サロンワーク実習 1 4				プレオープン準備、サロンレイアウト確認することができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第16回		6月13日		サロンワーク実習 1 5				サンプルチップ 1 作成ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第17回		6月20日		サロンワーク実習 1 6				サロンメニューの技術チェックができる（施術者）						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第18回		6月20日		サロンワーク実習 1 7				サロンメニューの技術チェックができる（被施術者）						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第19回		6月27日		サロンワーク実習 1 8				サロンメニュー練習 1 ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第20回		6月27日		サロンワーク実習 1 9				サロンオープン 1 準備、サロンレイアウト確認することができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第21回		7月4日		サロンワーク実習 2 0				サロンメニュー練習 2 ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第22回		7月4日		サロンワーク実習 2 1				サロンオープン 2 準備、サロンレイアウト確認することができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第23回		7月11日		サロンワーク実習 2 2				サロンメニュー練習 3 ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第24回		7月11日		サロンワーク実習 2 3				サロンオープン 3 準備、サロンレイアウト確認することができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第25回		7月18日		サロンワーク実習 2 4				サロンメニュー練習 4 ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第26回		7月18日		サロンワーク実習 2 5				サロンオープン 4 準備、サロンレイアウト確認することができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第27回		7月24日（木）		サロンワーク技術 2 6				合同授業 1 モデルの所定のメニューの施術ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第28回		7月24日（木）		サロンワーク技術 2 7				合同授業 2 モデルの所定のメニューの施術ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第29回		7月31日（木）		サロンワーク技術 2 8				合同授業 3 モデルの所定のメニューの施術ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第30回		7月31日（木）		サロンワーク技術 2 9				合同授業 4 モデルの所定のメニューの施術ができる						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
21 成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。															

2025年度シラバス

出席率80%以上及び
①確認テスト 技術チェック及び小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する
②授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する
③作品 所定の課題をふまえたサンプルチップ作成を評価する
上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①確認テスト	2位			2位	1位	40	秀（S）：100点～90点 優（A）：89点～80点 良（B）：79点～70点 可（D）：69点～60点 不可（E）：59点以下
③授業態度			1位	2位		30	
④作品		2位			1位	30	
						なし	
						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	新宮恵理菜
				実務経験紹介	該当なし

更新履歴

シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	ネイルⅧ		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 ネイリストコース			学年	³ 2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		¹¹ トレンドのネイルデザインを教授し、就職後のサロンワークに役立てる						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		¹² 就職後のサロンワークに必要な知識、技術として、ネイルデザインを考える力を身につけ、センスを磨く。 見栄えする写真を撮影できるようにコツを知る						
受講条件		¹³ YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科ネイルコース2年に在籍していること						
教科書名		¹⁴ JNAテクニカルシステムベーシック第4版2025年3月発行			教材名 ¹⁵	オリジナルプリント/ネイル道具一式		
設備名・機器名		¹⁶ 水道/ZOOM用端末			関連サイト ¹⁷	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター https://www.nail-kentei.or.jp/about/		
関連前科目		¹⁸ 該当なし			関連後科目 ¹⁹	ネイル総合/サロン運営Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	4月15日	ジェルアート1		サロンワークで定番のモチーフアートの方法を理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第2回	4月15日	ジェルアート2		サロンワークで定番のモチーフアートを練習し、サンプルチップとして作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第3回	4月22日	オリエンテーション1		授業の内容、目標、成績評価について理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第4回	4月22日	オリエンテーション2		ZOOM授業でのルールを理解する トレンドアートの情報収集の方法をを理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第5回	5月13日	サロンアート概論1		ニュアンスアートについて種類、客層、トレンドを理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第6回	5月13日	トレンドアート1		インクアートの方法を理解する インクアートのサンプルチップを作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第7回	5月20日	トレンドアート2		インクアートの方法を復習する インクアートのデザインをアレンジしてサンプルチップを作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第8回	5月20日	サロンアート概論2		サンプルチップの撮影の方法を理解する SNSで魅力的な見せ方を理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第9回	5月27日	トレンドアート3		ミラーアートの方法を理解する ミラーアートのサンプルチップを作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第10回	5月27日	トレンドアート4		ミラーアートのデザインをアレンジしてサンプルチップを作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第11回	6月3日	トレンドアート5		ミラーアートのサンプルチップを撮影する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第12回	6月3日	サロンアート概論3		ニュアンスアートを施術する際のカウンセリングの方法を理解する サロンワークにおけるトラブルを回避するカウンセリングを理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第13回	6月10日	トレンドアート6		マグネットアートの方法を理解する マグネットアートのサンプルチップを作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第14回	6月10日	トレンドアート7		マグネットアートの方法を復習する マグネットアートのデザインをアレンジしてサンプルチップを作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第15回	6月17日	トレンドアート8		マグネットアートのサンプルチップを撮影する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第16回	6月17日	サロンアート概論4		ニュアンスアートを施術する際の提案力を理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第17回	6月24日	トレンドアート9		ニュアンスアートのデザインを用いて定額デザインを試作する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第18回	6月24日	トレンドアート10		ニュアンスアートのデザインを用いて定額デザインのサンプルチップを作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第19回	7月1日	トレンドアート11		ニュアンスアートのサンプルチップを撮影する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第20回	7月1日	サロンアート概論5		ネイルデザイン着想のを理解する ファッションとネイルデザインの関係させて理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第21回	7月8日	サロンアート概論6		ネイルデザインを着想するためのセンスを磨く方法を理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第22回	7月8日	サロンアート概論7		ニュアンスアートのバランスを理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第23回	7月15日	サロンアート概論8		ネイルデザインをファッション雑誌をつかって着想する方法を理解する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第24回	7月15日	トレンドアート12		ファッション雑誌から着想したデザインのサンプルチップを作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第25回	7月22日	トレンドアート13		テキスタイルアートのチェック柄の方法を理解する テキスタイルアートのチェック柄のサンプルチップを作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第26回	7月22日	トレンドアート14		テキスタイルアートのドット柄とアニマル柄の方法を理解する テキスタイルアートのドット柄とアニマル柄のサンプルチップを作成する			テクニカルシステム ベーシック ネイリスト技能検定試験筆記試験公式問題集	
第27回	7月29日	成績判定試験1		サロンワーク実習用の定額デザインのサンプルチップを着想する			1	
第28回	7月29日	成績判定試験2		サロンワーク実習用の定額デザインのサンプルチップを試作する			1	
第29回	8月5日	成績判定試験3		サロンワーク実習用の定額デザインのサンプルチップを課題作成する				
第30回	8月5日	成績判定試験4		サロンワーク実習用の定額デザインのサンプルチップを課題作成し提出する				
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
出席率80%以上及び ①成績判定試験： 定額デザインのサンプルチップを指定のアート台に作成しサロンワーク実習に相応しいかを基準に判定する ②確認テスト： 撮影したサンプルチップの写真から正確性・理解度を確認する ④授業態度： 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位				1位	40	秀(S)：100点～90点
②確認テスト		2位				1位	20	優(A)：89点～80点
③課題レポート							なし	良(B)：79点～70点
④授業態度				2位	1位		40	可(D)：69点～60点

2025年度シラバス

⑤作品						なし	不可（E）:59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	平塚美千子	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	矢田美香			
				実務経験紹介	該当なし			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	ネイル総合		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 ネイリストコース			学年	2 ³ 学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区 ⁷ 分	選択必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	180	該当資格名称 ¹⁰	JNAジェルネイル検定上級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		ネイルアート、ジェルネイルの知識、技術を教授する 当該内容はサロンワーク、お客様への施術の際に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該授業の教育課程における位置付けは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識、技術として位置づける。 JNAジェルネイル検定上級合格相当の知識を身に付ける						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科ネイルコース2年に在籍していること						
教科書名 ¹⁴		JNAテクニカルシステムベーシック第4版2025年3月発行			教材名 ¹⁵	オリジナルプリント/ネイル道具一式		
設備名・機器名 ¹⁶		水道/ZOOM用端末			関連サイト ¹⁷	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター https://www.nail-kentei.or.jp/about/		
関連前科目 ¹⁸		ネイルⅤ、ネイルⅥ、ネイルⅦ、ネイルⅧ			関連後科目 ¹⁹	サロン運営Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位20.								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	水	オリエンテーション	授業の内容、目標、成績評価について理解する				ネイル道具一式	
第2回	水	検定対策 1	ジェルスカルブの施術ができる				ネイル道具一式	
第3回	水	検定対策 2	ジェルスカルブの施術ができる（第2回の改善）				ネイル道具一式	
第4回	水	検定対策 3	ジェルスカルブの施術ができる（第3回の改善）				ネイル道具一式	
第5回	木	コンテスト対策 1	校内ネイルアートコンテストの概要を理解する				ネイル道具一式	
第6回	木	コンテスト対策 2	ネイルアートデザインの考案ができる				ネイル道具一式	
第7回	木	コンテスト対策 3	ネイルアートデザインの試作ができる（前半）				ネイル道具一式	
第8回	木	コンテスト対策 4	ネイルアートデザインの試作ができる（後半）				ネイル道具一式	
第9回	水	検定対策 4	ジェルチップオーバーレイの施術ができる				ネイル道具一式	
第10回	水	検定対策 5	ジェルチップオーバーレイの施術ができる（第9回の改善）				ネイル道具一式	
第11回	水	検定対策 6	ジェルチップオーバーレイの施術ができる（第10回の改善）				ネイル道具一式	
第12回	水	検定対策 7	ジェルチップオーバーレイの施術ができる（第11回の改善）				ネイル道具一式	
第13回	木	コンテスト対策 5	ネイルアートデザインの試作ができる（第7、8回の改善）				ネイル道具一式	
第14回	木	コンテスト対策 6	ネイルアートデザインの試作ができる（第13回の改善）				ネイル道具一式	
第15回	木	コンテスト対策 7	ネイルアートデザインの試作ができる（第14回の改善）				ネイル道具一式	
第16回	木	コンテスト対策 8	ネイルアートデザインの試作ができる（第15回の改善）				ネイル道具一式	
第17回	水	検定対策 8	チップオーバーレイ フレンチルックの施術ができる				ネイル道具一式	
第18回	水	検定対策 9	チップオーバーレイ フレンチルックの施術ができる（第17回の改善）				ネイル道具一式	
第19回	水	検定対策 10	チップオーバーレイ フレンチルックの施術ができる（第18回の改善）				ネイル道具一式	
第20回	水	検定対策 11	チップオーバーレイ フレンチルックの施術ができる（第19回の改善）				ネイル道具一式	
第21回	木	コンテスト対策 9	コンテスト作品の作成ができる				ネイル道具一式	
第22回	木	コンテスト対策 10	コンテスト作品の作成ができる（第21回の改善）				ネイル道具一式	
第23回	木	コンテスト対策 11	コンテスト作品の作成ができる（第22回の改善）				ネイル道具一式	
第24回	木	コンテスト対策 12	コンテスト作品の作成ができる（第23回の改善）				ネイル道具一式	
第25回	水	検定対策 12	ネイリスト技能検定1級の試験課題が通して出来る				ネイル道具一式	
第26回	水	検定対策 13	ネイリスト技能検定1級の試験課題が通して出来る（第25回の改善）				ネイル道具一式	
第27回	水	検定対策 14	ネイリスト技能検定1級の試験課題が通して出来る（第26回の改善）				ネイル道具一式	
第28回	水	検定対策 15	ネイリスト技能検定1級の試験課題が通して出来る（第27回の改善）				ネイル道具一式	
第29回	木	コンテスト対策 13	コンテスト作品の作成ができる（第24回の改善）				ネイル道具一式	
第30回	木	コンテスト対策 14	コンテスト作品の作成ができる（第25回の改善）				ネイル道具一式	
第31回	木	コンテスト対策 15	コンテスト作品の作成ができる（第26回の改善）				ネイル道具一式	
第32回	木	コンテスト対策 16	コンテスト作品の作成ができる（第27回の改善）				ネイル道具一式	
第33回	水	検定対策 16	ジェル上級試験課題が通してできる				ネイル道具一式	
第34回	水	検定対策 17	ジェル上級試験課題が通してできる（第33回の改善）				ネイル道具一式	
第35回	水	検定対策 18	ジェル上級試験課題が通してできる（第34回の改善）				ネイル道具一式	
第36回	水	検定対策 19	ジェル上級試験課題が通してできる（第35回の改善）				ネイル道具一式	
第37回	木	コンテスト対策 17	コンテスト作品の作成ができる（第32回の改善）				ネイル道具一式	

2025年度シラバス

第38回	木	コンテスト対策１ 8	コンセント作品の作成ができる（第33回の改善）	ネイル道具一式
第39回	木	コンテスト対策１ 9	コンセント作品の作成ができる（第34回の改善）	ネイル道具一式
第40回	木	コンテスト対策２ 0	コンセント作品の作成ができる（第35回の改善）	ネイル道具一式
第41回	水	検定対策２ 0	ジェル上級試験課題が通しできる（第３ 6 回の改善）	ネイル道具一式
第42回	水	検定対策２ 1	ジェル上級試験課題が通しできる（第３ 7 回の改善）	ネイル道具一式
第43回	水	検定対策２ 2	ジェル上級試験課題が通しできる（第３ 8 回の改善）	ネイル道具一式
第44回	水	検定対策２ 3	ジェル上級試験課題が通しできる（第３ 9 回の改善）	ネイル道具一式
第45回	木	コンテスト対策２ 1	コンセント作品の作成ができる（第４ 0 回の改善）	ネイル道具一式
第46回	木	コンテスト対策２ 2	コンセント作品の作成ができる（第４ 1 回の改善）	ネイル道具一式
第47回	木	コンテスト対策２ 3	コンセント作品の作成ができる（第４ 2 回の改善）	ネイル道具一式
第48回	木	コンテスト対策２ 4	コンセント作品の作成ができる（第４ 3 回の改善）	ネイル道具一式
第49回	水	検定対策２ 4	ジェル上級試験課題の通しができる（第４ 4 回の改善）	ネイル道具一式
第50回	水	検定対策２ 5	ジェル上級試験課題の通しができる（第４ 5 回の改善）	ネイル道具一式
第51回	水	検定対策２ 6	ジェル上級試験課題の通しができる（第４ 6 回の改善）	ネイル道具一式
第52回	水	検定対策２ 7	ジェル上級試験課題の通しができる（第４ 7 回の改善）	ネイル道具一式
第53回	木	コンテスト対策２ 5	コンセント作品の作成ができる（第４ 8 回の改善）	ネイル道具一式
第54回	木	コンテスト対策２ 6	コンセント作品の作成ができる（第４ 9 回の改善）	ネイル道具一式
第55回	木	コンテスト対策２ 7	コンセント作品の作成ができる（第５ 0 回の改善）	ネイル道具一式
第56回	木	コンテスト対策２ 8	作品を所定の場所に展示することができる	ネイル道具一式
第57回	水	検定対策２ 8	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる	ネイル道具一式
第58回	水	検定対策２ 9	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第５ 7 回の改善）	ネイル道具一式
第59回	水	検定対策３ 0	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第５ 8 回の改善）	ネイル道具一式
第60回	水	検定対策３ 1	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第５ 9 回の改善）	ネイル道具一式
第61回	木	検定対策３ 2	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 6 0 回の改善）	ネイル道具一式
第62回	木	検定対策３ 3	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 6 1 回の改善）	ネイル道具一式
第63回	木	検定対策３ 4	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 6 2 回の改善）	ネイル道具一式
第64回	木	検定対策３ 5	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 6 3 回の改善）	ネイル道具一式
第65回	水	検定対策３ 6	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 6 4 回の改善）	ネイル道具一式
第66回	水	検定対策３ 7	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 6 5 回の改善）	ネイル道具一式
第67回	水	検定対策３ 8	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 6 6 回の改善）	ネイル道具一式
第68回	水	検定対策３ 9	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 6 7 回の改善）	ネイル道具一式
第69回	木	検定対策４ 0	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 6 8 回の改善）	ネイル道具一式
第70回	木	検定対策４ 1	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 6 9 回の改善）	ネイル道具一式
第71回	木	検定対策４ 2	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 7 0 回の改善）	ネイル道具一式
第72回	木	検定対策４ 3	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 7 1 回の改善）	ネイル道具一式
第73回	水	検定対策４ 4	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 7 2 回の改善）	ネイル道具一式
第74回	水	検定対策４ 5	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 7 3 回の改善）	ネイル道具一式
第75回	水	検定対策４ 6	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 7 4 回の改善）	ネイル道具一式
第76回	水	検定対策４ 7	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 7 5 回の改善）	ネイル道具一式
第77回	木	検定対策４ 8	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 7 6 回の改善）	ネイル道具一式
第78回	木	検定対策４ 9	アクリルオフ、ナチュラルスカルプの施術ができる（第 7 7 回の改善）	ネイル道具一式
第79回	木	成績判定試験対策 1	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（施術者前半）	ネイル道具一式
第80回	木	成績判定試験対策 2	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（施術者後半）	ネイル道具一式
第81回	水	成績判定試験対策 3	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（被施術者前半）	ネイル道具一式
第82回	水	成績判定試験対策 4	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（被施術者後半）	ネイル道具一式
第83回	水	成績判定試験対策 5	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（施術者前半）	ネイル道具一式
第84回	水	成績判定試験対策 6	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（施術者後半）	ネイル道具一式
第85回	木	成績判定試験対策 7	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（被施術者前半）	ネイル道具一式
第86回	木	成績判定試験対策 8	アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（被施術者後半）	ネイル道具一式
第87回	木	成績判定試験 1	実技試験：アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（施術者前半）	ネイル道具一式
第88回	木	成績判定試験 2	実技試験：アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（施術者後半）	ネイル道具一式
第89回	水	成績判定試験 3	実技試験：アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 5 本（被施術者前半）	ネイル道具一式

2025年度シラバス

第90回	水	成績判定試験4	実技試験：アクリルオフ、ナチュラルスカルプ5本（被施術者後半）				ネイル道具一式	
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								21.
出席率80%以上及び 成績判定試験：実技試験ネイルアート、アクリルオフ、ナチュラルスカルプ 確認テスト：小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する 授業態度：提出物、持参物及び授業への出席状況を評価する 作品：所定課題作品を成績に反映する								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点 優（A）： 89点～80点 良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下
②確認テスト		2位	2位				15	
③課題レポート							なし	
④授業態度				2位	1位		15	
⑤作品							なし	
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	フルネームを記載	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載			
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所			作成者	Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	エステ（ボディ）		学科名 ² （コース名）	ビューティスペシャリスト科		学年	³ 学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	民間検定
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸		時間数 ⁹	240	該当資格名称 ¹⁰	INFA国際ライセンス(ボディ)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ 本科目は、INFA国際ライセンス（ボディ）取得を目指す学生を対象に、国際基準に準じたエステティック技術と専門知識を身につけることを目的とする。正しい姿勢、手技、リズム、圧のコントロールをはじめ、クライアントに合わせたコンサルテーション技術、トリートメントプランニング、施術後のフィードバックまで、総合的な実践力を養う。 また、試験形式に沿った模擬実技試験やタイムマネジメントのトレーニングを重ね、合格に必要なスピード感と正確さを習得する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² INFA国際ライセンスのボディ試験規定に沿った技術を正確に再現できる クライアントの状態に合わせた適切なトリートメント計画を立て、実施できる サロンワークに必要なホスピタリティマインドを理解し、施術に活かせる 実技試験におけるタイムマネジメントとセルフチェックができる						
受講条件	¹³ エステ基礎、人体の構造と機能 履修程度の技術と知識						
教科書名	¹⁴ INFA (technique) テキスト			教材名 ¹⁵	オリジナルプリント オリジナル動画教材		
設備名・機器名	¹⁶ TVモニター			関連サイト ¹⁷			
関連前科目	¹⁸ エステ基礎 人体の構造と機能			関連後科目 ¹⁹	エステ（フェイシャル）		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回～第8回	10月2日10月3日	導入 確認テスト	実習室使用方法、清掃方法の確認。 コース内のルールを決定。 下肢背面確認テストの実施。				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第9回～第16回	10月9日10月10日	ヒップマッサージの習得 ヒップアップの手技を習得 立体的なヒップメイキングの手技	ヒップ軽擦、ヒップバイブレーション 3点プッシュ、ヒップタッピング、切打、拍打				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第17回～第24回	10月16日10月17日	背中中のマッサージの習得 背中中の痛みを和らげる手技 背中中の血行促進の手技	背中軽擦、8点プッシュ、のこぎり、6点圧				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第25回～第32回	10月23日10月24日	背面のマッサージのクオリティを上げる①（下肢背面、ヒップ、背中）	下肢背面、ヒップ、背中中のマッサージの復習 連続性、リズム、効果を意識しマッサージを行う				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第33回～第36回	10月30日	背面のマッサージのクオリティを上げる②（下肢背面、ヒップ、背中）	苦手箇所、修正箇所の確認。 背面マッサージを完璧に施術できるようになる				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第37回～第44回	11月6日11月7日	美脚マッサージを習得する むくみの解消 立体的なふくらはぎをつくる	下肢前面軽擦、足の指先マッサージ ペトリサージュ、切打、拍打 さすりあげ、9点プッシュ				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第45回～第52回	10月13日10月14日	理想的なウェスト作りの手技を習得 細いウェストを作る	腹部軽擦、ふなごぎ、ペトリサージュ 三角形のマッサージ、大腸マッサージ				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第53回～第60回	10月20日10月21日	前面のマッサージのクオリティを上げる①（下肢前面、腹部）	下肢前面、腹部のマッサージの復習 連続性、リズム、効果を意識しマッサージを行う				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第61回～第68回	10月27日10月28日	前面のマッサージのクオリティを上げる②（下肢前面、腹部）	苦手箇所、修正箇所の確認。 前面マッサージを完璧に施術できるようになる				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第69回～第76回	12月4日12月5日	・気になる二の腕を細くするマッサージの習得 細い指先をつくる	上腕の軽擦、8点プッシュ、手のひら、ストレッチ、 脇のリンパを流す フットケア、ネイルケア、				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第77回～第84回	12月11日12月12日	肩から首のマッサージを習得する 肩こりの解消 顔のむくみの解消	頸部マッサージ パディキュア				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第85回～第92回	12月18日12月19日	理想的なバスト形成のマッサージを習得する バストアップ、胸の谷間の皺とり	バスト軽擦、3点のつぼ、リサージュ、エフラーージュ エバンターユ、輪上軽擦、バイブレーション				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第93回～第100回	1月15日1月16日	美しいバストをメイキングする	バストマッサージの復習 バストバック、ODT				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第101回～第108回	1月22日1月23日	バストバック	バックの選別、バックの調合、バストバック塗布 ODT バックオフ				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第109回～第116回	1月29日1月30日	INFA試験項目の復習 ①	カウンセリング、カルテ作成を行い、お客様に的確なアドバイスをした上で、施術時間を管理し、効果、目的を意識しながら試験項目の施術ができるようになる				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
第117回～第120回	2月6日	INFA試験項目の復習 ②	カウンセリング、カルテ作成を行い、お客様に的確なアドバイスをした上で、施術時間を管理し、効果、目的を意識しながら試験項目の施術ができるようになる				INFAテキスト (Technique) オリジナルプリント 動画教材
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹							
①実技期末試験（配点90点）身だしなみ、事前準備、衛生面、モデルへの気遣い、マッサージの各工程が正しくできているかを評価、（詳細は別紙参照）							
②授業態度（配点10%）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①実技期末試験		2位	3位			1位	90
②授業態度				2位	1位		10
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	田澤 初美	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	田澤 初美	
					実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載	
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

2025年度シラバス

科目名 ¹	エステ（フェイシャル）		学科名（コース名） ²	ビューティスペシャリスト科			学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸		時間数 ⁹	240	該当資格名称 ¹⁰	INFA国際ライセンス(フェイシャル)	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ 本授業では、INFA国際ライセンス フェイシャル試験の合格を目指し、フェイシャルトリートメントにおける中心技術であるクレンジングオフ・フェイシャルマッサージ・デコルテマッサージの正確な手順と技術力を身につけます。 ¹² INFAの基準に基づいた「姿勢・手順・スピード・タッチ」の正確性だけでなく、皮膚構造や筋肉の走行を意識した理論に裏付けられたマッサージの意味と効果を理解し、安全で美しさを引き出す施術力を養います。すでにボディ試験に合格している学生を対象とし、フェイシャル分野での実践的完成度の向上を目指します。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹³ INFAフェイシャル試験の評価基準と手順を理解し、実技に正しく反映できる。 皮膚の構造、筋肉の走行、リンパの流れに沿ったマッサージを正確に行うことができる。 クレンジングオフ（コットン・スポンジ）の手順・手技を、安全かつ衛生的に実施できる。 デコルテ・フェイシャルマッサージの手順を通して、リズム・圧・方向性を意識したタッチを身につける。 モデルへの説明・接遇も含めた一連の施術対応を、国際基準に則って行うことができる。							
受講条件	エステ（ボディ）履修程度の技術と知識							
教科書名 ¹⁴	INFAテキスト（Technique）				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント オリジナル動画教材		
設備名・機器名 ¹⁶	TVモニター				関連サイト ¹⁷			
関連前科目 ¹⁸	エステ（ボディ）				関連後科目 ¹⁹	サロン運営		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回（コマ）	開講日	授業コマの主題（タイトル）	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回～第12回	4月16日17日18日	INFA特別授業	INFA国際試験 実技試験 受験				INFAテキスト（Technique）	
第13回～第20回	4月23日24日	INFA国際ライセンス（ボディ）フルボディチェック	マッサージの目的理解 各部位の軽擦 ハードテクニック				INFAテキスト（Technique）	
第21回～第32回	4月30日5月1日5月2日	INFA国際ライセンス（ボディ）フルボディチェック	エステティシャンの心構えと職業観 カルテ発表 口頭試問対策				INFAテキスト（Technique） INFA特別授業	
第33回～第40回	5月7日8日	INFA国際ライセンス（ボディ）フルボディチェック	試験項目最終確認				INFAテキスト（Technique）	
第41回～第44回	5月14日	INFA国際試験 ボディ 受験	INFA国際ライセンス ボディ 受験					
第45回～第48回	5月21日	フェイシャルケアの流れを理解する	INFA国際試験（フェイシャル）の試験項目、流れの説明 デコルテ周りの筋肉の確認 デコルテマッサージ				INFAテキスト（Technique） オリジナルプリント	
第49回～第56回	5月28日5月29日	デコルテマッサージ	デコルテと背中のオイル塗布、デコルテのエフルラージュ、ベトリサージュ、梯形骨拘縮部のベトリサージュ、頸椎捻り、プレシオン				INFAテキスト（Technique） オリジナルプリント 動画教材	
第57回～第64回	6月4日6月5日	デコルテマッサージ	首筋と肩のエフルラージュ、頸から鎖骨にかけてドレナージュ、胸骨→鎖骨にかけてエフルラージュ、胸鎖乳突筋のエフルラージュ、頸線からデコルテのエフルラージュ				INFAテキスト（Technique） オリジナルプリント 動画教材	
第65回～第68回	6月11日	フェイシャルマッサージ	口角下制筋、上唇鼻翼挙筋に沿ってのエフルラージュ、頸線に沿ってフラージュ、首の皺のリサージュ、ほうれい線のリサージュ、頸線に沿ってエフルラージュ、首のエフルラージュ、頸の回転エフルラージュ、				INFAテキスト（Technique） オリジナルプリント 動画教材	
第69回～第74回	6月18日	フェイシャルマッサージ	胸鎖乳突筋のエフルラージュ、咬筋に沿ってエフルラージュ、口角下制筋、上唇鼻翼挙筋に沿ってのエフルラージュ、大小頬骨筋に沿ってエフルラージュ、目の下の眼輪筋リサージュ、口輪筋に沿ってエフルラージュ、口角下制筋、上唇鼻翼挙筋に沿ってのエフルラージュ、鼻筋に沿ってエフルラージュ				INFAテキスト（Technique） オリジナルプリント 動画教材	
第75回～第86回	6月25日6月26日6月27日	フェイシャルマッサージ	小鼻に沿ってエフルラージュ、目の下の眼輪筋に沿ってリサージュ、鼻根筋、前頭筋、側頭筋に沿ってエフルラージュ、目じりで指先を回転させる、プレシオンシルキュレール、プレシオンボワンテ、鼻の付け根のフラージュ、額の皺のリサージュ、バイプレシオン				INFA特別授業	
第87回～第90回	7月2日	フェイシャルマッサージ	リサージュ、リサージュピアンノットモン、目尻のリサージュ、ほうれい線バンスモン、頬のバンスモン、頬のエバンタージュ、首のエバンタージュ、頬のパタージュ				INFAテキスト（Technique） オリジナルプリント 動画教材	
第91回～第98回	7月9日7月10日	フェイシャルマッサージ	咬筋のプレシオン、口角下制筋に沿ってプレシオン、顔の静脈のプレシオン、側頭部の静脈プレシオン、顔全体の静脈プレシオン				INFAテキスト（Technique） オリジナルプリント 動画教材	
第99回～第110回	7月16日7月17日7月18日	クレンジングオフ	クレンジング ベースクレンジング ポイントクレンジング スポンジオフ コットンふき取り クレンジング通し				INFA特別授業	
第111回～第118回	7月23日24日	マッサージ工程 クレンジング工程	クレンジング～デコルテマッサージ～フェイシャルマッサージ				INFAテキスト（Technique） オリジナルプリント 動画教材	
第119回～第120回	7月30日	期末試験実施	期末試験実施					
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
①実技期末試験（配点90点）身だしなみ、事前準備、衛生面、モデルへの気遣い、マッサージの各工程が正しくできているかを評価、（詳細は別紙参照） ②授業態度（配点10%）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①実技期末試験		2位	3位			1位	90	秀（S）：100点～90点
②授業態度				2位	1位		10	優（A）：89点～80点
								良（B）：79点～70点
								可（D）：69点～60点
								不可（E）：59点以下
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者	田澤 初美	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	田澤 初美		
					実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Checker(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	エステ総合	学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科				学年	³ 2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸		時間数 ⁹	180	該当資格名称 ¹⁰	INFA国際試験	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ この授業は、INFA国際試験(カトリック・フェイシャル)に合格した学生を対象に、サロン運営に備えた技術の復習と応用力の向上を目的とした実践的な指導を行います。試験で習得した知識と技術を再確認し、一般のお客様に対して安全かつ高品質な施術が提供できるよう、接客マナー・施術の流れ・タイムマネジメント・衛生管理を含めた総合的なサロンワークを学びます。技術のブラッシュアップとともに、実際のサロン現場を想定したロールプレイやケーススタディも実施します。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² INFA国際試験で習得した技術(ボディ・フェイシャル)を確実に再現し、実践レベルに高める。 学内サロンで一般のお客様に対応できるよう、施術手順・時間配分・接客スキルを統合的に身につける。 施術前後のカウンセリング・クロージングトークなど、サロン運営に必要なコミュニケーション力を強化する。 サロン運営における衛生管理、器具の取り扱い、トラブル時の対処など、安全で信頼される施術環境を構築する力を養う。							
受講条件 ¹³	エステ(ボディ)、エステ(フェイシャル)履修程度の知識と技術							
教科書名 ¹⁴	INFAテキスト(Technique)				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント オリジナル動画教材		
設備名・機器名 ¹⁶	TVモニター				関連サイト ¹⁷			
関連前科目 ¹⁸	エステ(ボディ)、エステ(フェイシャル)				関連後科目 ¹⁹	サロン運営		

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回～第8回	月1日10月2	フェイシャルパック・仕上げ技術の確認	パックの選別、パックの調査、パック塗布 ODT パックオフ	INFAテキスト (Technique)
第9回～第16回	月8日10月9	パーティメイクヘア ネイルケア ネイルカラー	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを30分で行う事ができるようにする フィードバックをもらい改善点を見つける 爪の構造を理解し、正しく消毒、ファイル、キューティクルクリーンができるようになる キューティクルライン、サイド、エッジを意識しムラなくネイルカラーを行う	INFAテキスト (Technique)
第17回～第24回	月15日10月1	試験項目全工程 通しで実施①	試験項目の全工程の実施 課題点を見つけ修正を行う①	INFAテキスト (Technique)
第25回～第32回	月22日10月2	試験項目全工程 通しで実施②	試験項目の全工程の実施 課題点を見つけ修正を行う②	INFAテキスト (Technique)
第32回～第40回	月29日10月3	試験項目全工程① (時間計測)	時間項目全工程を試験時間を考慮し実施 課題点を見つけ修正を行う①	INFAテキスト (Technique)
第41回～第48回	月5日11月6	試験項目全工程② (時間計測)	時間項目全工程を試験時間を考慮し実施 課題点を見つけ修正を行う②	INFAテキスト (Technique)
第49回～第56回	月12日11月1	試験項目全工程③ (時間計測)	時間項目全工程を試験時間を考慮し実施 課題点を見つけ修正を行う③	INFAテキスト (Technique)
第57回～第60回	11月19日	テーション・サロン実施の目的と	サロン運営の意義と今後の授業の流れを理解する	INFAテキスト (Technique)
第61回～第64回	11月20日	NFAボディ技術の手順確認(背面)	ボディマッサージの背面技術を正しく再現できる	INFAテキスト (Technique)
第65回～第68回	11月26日	ボディマッサージ(前面)の復習	流れ・方向・圧の調整を習得する	INFAテキスト (Technique)
第69回～第72回	11月27日	ボディ技術の通し練習	実践的に流れを把握し、技術の精度を高める	INFAテキスト (Technique)
第73回～第76回	12月3日	シャル技術の手順確認(クレンジ)	フェイシャルの基本手順を再確認し、正確に行えるようにする	INFAテキスト (Technique)
第77回～第80回	12月4日	フェイシャルマッサージの復習	リズム・圧・姿勢を再確認し、効果的なマッサージができる	INFAテキスト (Technique)
第81回～84回	12月10日	フェイシャル技術の通し練習	通し練習で時間配分と一連の流れを確認する	INFAテキスト (Technique)
第85回～第90回	12月11日	期末試験実施	期末試験実施	INFAテキスト (Technique)

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。

期末試驗

①実技期末試験（配点90点）身だしなみ、事前準備、衛生面、モデルへの気遣い、マッサージの各工程が正しくできているかを評価、（詳細は別紙参照）

②授業態度（配点10%）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点

[illegible]

シラバス作成者	田澤 初美	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	田澤 初美
				実務経験紹介	学校ＨＰ内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歷

シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	ヘアアレンジ応用		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 1学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ 相モデルを取り入れた『聴く』『観る』『実際に行う』の3つのパターンで成り立つ知識とそれを使った技術を教授する ¹⁰ フォトコンテスト制作に役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² ビューティスペシャリストとしての美容の知識・テクニックを実践しながら創造力と感性を高めクリエイティブな作品作りを取得する							
受講条件	¹³ YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名	¹⁴ 該当なし				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント		
設備名・機器名	¹⁶ ヘアアイロン用電気設備（コンセント）				関連サイト ¹⁷	該当なし		
関連前科目	¹⁸ ヘアアレンジ基礎				関連後科目 ¹⁹	該当なし		

授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第 1回	○月○日	オリエンテーション	オリエンテーションを理解する・ヘアアレンジ基礎の復習	ヘアアレンジ道具一式
第 2回	○月○日	ヘアアレンジ①	編み込を習得する	ヘアアレンジ道具一式
第 3回	○月○日	ヘアアレンジ②	ピン留め・ハーフアップスタイルを習得する	ヘアアレンジ道具一式
第 4回	○月○日	ヘアアレンジ③	編み込み・まとめ髪を習得する	ヘアアレンジ道具一式
第 5回	○月○日	ヘアアレンジ④	コテ巻き・巻きおろし・ピンワークを習得する	ヘアアレンジ道具一式
第 6回	○月○日	年代別ヘアアレンジ	80年代ディスコ風ヘアメイクを習得する	ヘアアレンジ道具一式
第 7回	○月○日	トレンドヘア①	トレンドヘアメイクを習得する	ヘアアレンジ道具一式
第 8回	○月○日	トレンドヘア②	外国人風・巻き髪を習得する	ヘアアレンジ道具一式
第 9回	○月○日	ヘアアレンジテスト	ヘアアレンジテストを実施する	ヘアアレンジ道具一式
第 10回	○月○日	コンテスト応募用作品作り	テーマ・コンセプトを決める事が出来る	ヘアアレンジ道具一式
第 11回	○月○日	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集・チェック・ヘアアレンジ実践が出来る	ヘアアレンジ道具一式
第 12回	○月○日	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集・チェック・ヘアアレンジ実践が出来る	ヘアアレンジ道具一式
第 13回	○月○日	コンテスト応募用作品作り	イメージ収集・チェック・ヘアアレンジ実践が出来る	ヘアアレンジ道具一式
第 14回	○月○日	撮影最終チェック	撮影最終チェック	ヘアアレンジ道具一式
第 15回	○月○日	コンテストエントリー	コンテストエントリーが出来る	ヘアアレンジ道具一式

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

出席率80%及び ①成績判定試験：試験課題ヘアアレンジの作成 ②小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度：提出物及び出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	1位	2位				15	優（A）：89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	奥谷千晴	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	メイクアップ応用		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科 エステティシャンコース			学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区 ⁷ 分	選択	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	顔分析、肌トラブルカバー方法、左右対称バランス、ドレスアップに合わせたメイク法を教授する 印象管理、話し方、伝え方について教授する							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、 将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 エステティシャンに相応しいメイクアップの技術を身に付ける 30分でドレスに合わせたフルメイクができる							
受講条件	Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科エステティシャンコースに在籍していること							
教科書名	該当なし				教材名 ¹⁵	メイクアップ道具一式、オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント		
設備名・機器名	投影用プロテクター/PC/Googleクラスルーム				関連サイト ¹⁷	INFA国際ライセンスHP http://www.infa-japan.gr.jp/infa/		
関連前科目	メイクアップ基礎				関連後科目 ¹⁹	エステ総合		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月15日	オリエンテーション	授業の目標・目的、成績評価について理解する/印象管理について理解する				メイク道具一式	
第2回	4月15日	セルフメイク実習1	技術チェック・セルフメイク実施				メイク道具一式	
第3回	4月22日	イメージメイク理論	エレガントメイクについて理解する				メイク道具一式	
第4回	4月22日	セルフメイク実習2	エレガントイメージにセルフメイクができる				メイク道具一式	
第5回	5月13日1限	セルフメイク実習3	エステティシャンに相応しいフルメイクができる※小テスト				メイク道具一式	
第6回	5月13日2限	セルフメイクまとめ	施したメイクのポイント、修正点について説明することができる				メイク道具一式	
第7回	5月20日	ベースメイク実習1	肌トラブルに合わせたベースメイク方法を理解する				メイク道具一式	
第8回	5月20日	ベースメイク実習2	相モデルで肌トラブルをカバーしたベースメイクができる				メイク道具一式	
第9回	5月27日	ポイントメイク実習1	骨格に合わせたアイブローの方法を理解する				メイク道具一式	
第10回	5月27日	ポイントメイク実習2	モデルに合わせてアイブローを左右対称に描くことができる				メイク道具一式	
第11回	6月3日	ポイントメイク実習3	モデルの目の形に合わせたアイメイク方法について理解する				メイク道具一式	
第12回	6月3日	ポイントメイク実習4	モデルの目の形に合わせたアイメイクができる				メイク道具一式	
第13回	6月10日	ポイントメイク実習5	リップ・チークのバリエーションについて理解する				メイク道具一式	
第14回	6月10日	ポイントメイク実習6	モデルのパーツバランスに合わせたリップ・チークを施すことができる				メイク道具一式	
第15回	6月17日	フルメイク実習1	モデルにエレガントイメージにフルメイクができる（施術者）				メイク道具一式	
第16回	6月17日	フルメイク実習2	モデルにエレガントイメージにフルメイクができる（被施術者）				メイク道具一式	
第17回	6月24日	フルメイク実習3	タイム計測 モデルにエレガントイメージにフルメイクができる（施術者）				メイク道具一式	
第18回	6月24日	フルメイク実習4	タイム計測 モデルにエレガントイメージにフルメイクができる（被施術者）				メイク道具一式	
第19回	7月1日	フルメイク実習5	タイム計測 課題点の発見と改善を行う（施術者）				メイク道具一式	
第20回	7月1日	フルメイク実習6	タイム計測 課題点の発見と改善を行う（被施術者）				メイク道具一式	
第21回	7月8日	エレガントメイク実習1	モデルに似合うドレスを選別し、フルメイクができる（施術者）				メイク道具一式	
第22回	7月8日	エレガントメイク実習2	モデルに似合うドレスを選別し、フルメイクができる（被施術者）				メイク道具一式	
第23回	7月15日	エレガントメイク実習3	モデルのイメージに合わせたフルメイクの課題点が修整できる（施術者）				メイク道具一式	
第24回	7月15日	エレガントメイク実習4	モデルのイメージに合わせたフルメイクの課題点が修整できる（被施術者）				メイク道具一式	
第25回	7月22日	エレガントメイク実習5	前回の課題点をふまえたエレガントメイクができる（施術者）				メイク道具一式	
第26回	7月22日	エレガントメイク実習6	前回の課題点をふまえたエレガントメイクができる（被施術者）				メイク道具一式	
第27回	7月29日	期末試験対策1	30分でエレガントメイクができる（施術者）				メイク道具一式	
第28回	7月29日	期末試験対策2	30分でエレガントメイクができる（被施術者）				メイク道具一式	
第29回	8月5日	成績判定試験1	成績判定試験実施 30分で所定課題のフルメイクを施し、メイクカルテの作成ができる				メイク道具一式	
第30回	8月5日	成績判定試験2	成績判定試験実施 プレゼンテーション 施したメイクのポイント・修正点について説明ができる				メイク道具一式	
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①成績判定試験：実技試験30分フルメイク ②小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する ⑤作品 所定の課題をクラスルームに提出 ⑥プレゼンテーション 施したメイクについて顔分析・修正ポイントについて説明が出来ているか								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験			2位			1位	60	秀(S)：100点～90点
②確認テスト			2位			1位	10	優(A)：89点～80点
③課題レポート							なし	良(B)：79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D)：69点～60点
⑤作品			2位			1位	10	不可(E)：59点以下
⑥プレゼンテーション			2位			1位	10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

2025年度シラバス

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福本真弓
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/
更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	パーツケア実習Ⅰ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科		学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定
教育課程区分 ⁷	選択必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	INFA国際ライセンス(ボディ)
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11この授業では、INFA国際試験に対応した技術指導を通じて、美容業界で必要とされる国際水準のスキルを習得します。ネイルケア・ネイルカラー、WAX脱毛、バストパックの各分野における正しい手順、使用する用具・化粧品取り扱い、安全性や衛生管理の基礎を理解し、実技演習を通して応用力を身につけます。受験対策としての実践的な内容も含まれ、試験本番に向けた総合的な技術力の向上を目指します。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12INFA国際試験に準拠した技術手順を理解し、正確に実践できるようになる。 各技術（ネイルケア、ネイルカラー、WAX脱毛、バストパック）に必要な用具・商材の名称・特徴・使用方法を習得する。 衛生管理・消毒法・施術時の安全対策について正しい知識を持ち、実践に活かせる。 施術中の姿勢やお客様への配慮、スムーズな動作など、国際試験で求められるプロフェッショナリズムを身につける。						
受講条件	13エステ基礎 エステ（ボディ）履修程度の知識と技術						
教科書名	14INFA（technique）テキスト			教材名	15WAX脱毛用ウォーマー/ネイル基礎教材/メイク基礎教材		
設備名・機器名	16WAX脱毛用ウォーマー			関連サイト	17		
関連前科目	18エステ基礎 エステ（ボディ）人体の構造と機能 皮膚科学 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学（口述）			関連後科目	19エステ（フェイシャル）		
20授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	4月14日	口頭試問対策	過去の口頭試問の出題傾向を説明し、口頭試問試験のポイントを理解する				
第2回	4月14日	バストマッサージ パック塗布とオフ	乳腺解剖学を学び、パック成分、ODT方法を理解して正しいバストケアを行う				
第3回	4月28日	WAX脱毛	毛の構造を理解し、正しく安全にWAX脱毛を行う			WAX脱毛用ウォーマー	
第4回	4月28日	ネイルカラー（ペデュキュア）	キューティクルライン、サイド、エッジを意識しムラなくネイルカラーを行う			ネイル基礎教材	
第5回	5月12日	口頭試問対策（前半）	カルテを完成させ、カルテに基づいた口頭試問に答えることができる				
第6回	5月12日	口頭試問対策（後半）	カルテを完成させ、カルテに基づいた口頭試問に答えることができる				
第7回	6月30日	ネイルケア ネイルカラー	爪の構造を理解し、正しく消毒、ファイル、キューティクルクリーンができるようになる キューティクルライン、サイド、エッジを意識しムラなくネイルカラーを行う			ネイル基礎教材	
第8回	7月7日	メイクアップ基礎 ベースメイク アイブロウ（前半）	骨格や顔の立体感について学びローライトハイライトを入れる事ができる 骨格にあったアイ ブロウを描けるようになる（前半）			メイク基礎教材	
第9回	7月7日	メイクアップ基礎 ベースメイク アイブロウ（後半）	骨格や顔の立体感について学びローライトハイライトを入れる事ができる 骨格にあったアイ ブロウを描けるようになる（後半）			メイク基礎教材	
第10回	7月14日	メイクアップ基礎 アイメイク リップメイク	モデルの目の形（一重、二重、奥二重）に合わせたアイメイクができるようになる モデルの リップラインに合わせた魅力的なリップメイクをする事ができる			メイク基礎教材	
第11回	7月14日	メイクアップ基礎 アイメイク リップメイク	モデルの目の形（一重、二重、奥二重）に合わせたアイメイクができるようになる モデルの リップラインに合わせた魅力的なリップメイクをする事ができる			メイク基礎教材	
第12回	7月28日	パーティメイクヘア（前半）	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを30分で行う事が できるようになる フィードバックをもらい改善点を見つける。（前半）			メイク基礎教材	
第13回	7月28日	パーティメイクヘア（後半）	相モデルの骨格やパーソナルカラーを分析し、パーティにふさわしいメイクを30分で行う事が できるようになる フィードバックをもらい改善点を見つける。（後半）			メイク基礎教材	
第14回	8月4日	期末試験（前半）	期末試験実施（前半）			ネイル基礎教材/メイク基礎教材	
第15回	8月4日	期末試験（後半）	期末試験実施（後半）			ネイル基礎教材/メイク基礎教材	
21成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
①実技期末試験（配点90点）ネイル：ケア、ファイル、カラーリングの状態で判定（詳細は別紙参照）35点配分 メイク：左右均等であるか、立体的であるかを判定（詳細は別紙参照）55点配分 ②授業態度（配点10%）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①実技期末試験		2位	3位			1位	90
②授業態度				2位	1位		10
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回
シラバス作成者		田澤 初美		シラバス承認者			
				授業担当教員		田澤 初美	
				実務経験紹介			
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

2025年度シラバス

科目名 ¹		パーツケア実習Ⅱ		学科名 ² (コース名)		ビューティスペシャリスト科				学年		2学年 ³							
授業形態 ⁴		実習		学期		前期		開講年月 ⁵		4月		該当資格区分 ⁶		民間検定					
教育課程区分 ⁷		選択必修		単位数 ⁸		1		時間数 ⁹		30		該当資格名称 ¹⁰		INFA国際ライセンス					
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		¹¹ 本授業では、WAX脱毛・ネイルケア・カラー・パーティメイクなどの基礎技術を踏まえ、実践的かつトータルにパーツ（手・足・顔・体）のケアを組み合わせる応用力を養います。 単独技術にとどまらず、「お客様のシーン・要望・全体バランス」に応じた提案力・実践力・完成度の高い表現力を身につけ、サロン現場で即戦力として活躍できる人材を目指します。																	
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		¹² 顧客ニーズ・TP0に合わせたパーツケア（脱毛・ネイル・メイク）の組み合わせ提案ができる。 各技術を高い衛生・安全意識のもとで正確に実施できる。 パーツごとの特徴を理解し、肌・爪・毛の状態に応じた施術アプローチができる。 ¹³ 美的センスやカラー知識を応用し、トータルバランスの取れたパーツケアを提供できる。 モデル対応やロールプレイングを通じ、現場さながらの接客・プレゼンテーション力を身につける。																	
受講条件		パーツケア実習Ⅰ 履修程度の技術力																	
教科書名 ¹⁴									教材名 ¹⁵		ネイル基礎教材/メイク基礎教材								
設備名・機器名 ¹⁶									関連サイト ¹⁷										
関連前科目 ¹⁸		パーツケア実習Ⅰ							関連後科目 ¹⁹										
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰																			
回(コマ)		開講日		授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標							使用教科書・教材						
第1回		4月14日		ガイダンス／応用としてのパーツケアとは		自分の強みと課題の整理、TP0別事例紹介													
第2回		4月14日		ハンドケア&ネイル①：ケアと色選びの応用		肌色・シーンに合わせたネイルデザイン実習							ネイル基礎教材						
第3回		4月28日		ハンドケア&ネイル②：アートと時短施術		5本指仕上げ・時短&アート提案							ネイル基礎教材						
第4回		4月28日		フットケア&ベディキュア①：足元の印象設計		フットケア衛生・カラー提案							ネイル基礎教材						
第5回		5月12日		フットケア&ベディキュア②：季節感の演出		サンダル映えカラー&パーツアレンジ							ネイル基礎教材						
第6回		5月12日		WAX脱毛①：顔周り・眉・鼻下のケア応用		安全なWAX操作と形づくりの練習							WAX脱毛ウォーマー						
第7回		6月30日		WAX脱毛②：腕・脚・ボディ部位別応用		状態に合わせた声かけ・冷却対応							WAX脱毛ウォーマー						
第8回		7月7日		カラープランニング：全体の調和と提案力		顔色・爪色・メイク色の統一感演習							メイク基礎教材						
第9回		7月7日		パーティメイク①：華やかさ×自然さのバランス		トレンドメイクとアイメイク重点練習							メイク基礎教材						
第10回		7月14日		パーティメイク②：イベント別・シーン別演出		顔立ち別&衣装別の提案演習							メイク基礎教材						
第11回		7月14日		シーン別パーツケア実習①（お呼ばれ系）		ネイル+メイク+手肌ケアのトータル提案							メイク基礎教材/ネイル基礎教材						
第12回		7月28日		シーン別パーツケア実習②（リゾート系）		肌見せ対応のWAX・ベディ・メイク構成演習							メイク基礎教材/ネイル基礎教材						
第13回		7月28日		モデル実習①：施術+プレゼンテーション		モデルを使った全体ケア・解説プレゼン							メイク基礎教材						
第14回		8月4日		モデル実習②：応用提案のロールプレイング		カウンセリング→施術→説明を一貫して実施							メイク基礎教材						
第15回		8月4日		期末試験実施		トータルケア実演&口頭解説、相互評価							ネイル基礎教材/メイク基礎教材						
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹																			
①実技期末試験（配点90点）ネイル：ケア、ファイル、カラーリングの状態で判定（詳細は別紙参照）35点配分 メイク：左右均等であるか、立体的であるかを判定（詳細は別紙参照）55点配分 ②授業態度（配点10％）1コマ欠席：－1点 授業中の私語、居眠り：－3点																			
↓判定方法\該当する観点→				知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		評価配分％		成績評価基準			
①実技期末試験				2位		3位						1位		90		秀（S）：100点～90点			
②授業態度								2位		1位				10		優（A）：89点～80点			
																良（B）：79点～70点			
																可（D）：69点～60点			
																不可（E）:59点以下			
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。														不合格の場合		再試験1回まで			
シラバス作成者		田澤 初美			シラバス承認者		フルネームを記載				授業担当教員		田澤 初美						
											実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載						
更新履歴																			
シラバス更新履歴				更新理由				更新箇所				作成者				Check者(確認者)			
改1																			
改2																			
改3																			
改4																			
改5																			

2025年度シラバス

科目名 ¹	イメージメイク応用		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科		学年	2学年	
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		メイクカルテを活用し理解力を高める・フォトコンテスト時の創造力、テクニックの向上に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		フォトコンテストのテーマに合わせたメイクを創造することが出来る。イメージメイクで学んだ知識を活かし技術を行う事でメイク表現の違いを理解する。様々なヘアメイクを表現し現場で活かせる応用技法を身に付ける。						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。						
教科書名 ¹⁴				該当なし		教材名 ¹⁵	メイクアップ道具一式、オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント	
設備名・機器名 ¹⁶				投影用プロテクター/PC		関連サイト ¹⁷	該当なし	
関連前科目 ¹⁸				該当なし		関連後科目 ¹⁹	該当なし	
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	○月○日	顔分析メイク①	横・内心・外心の顔分析を理解しメイクが出来る				メイク道具一式	
第 2回	○月○日	顔分析メイク②	縦・内心・外心の顔分析を理解しメイクが出来る				メイク道具一式	
第 3回	○月○日	顔分析メイク③	上方、下方の顔分析を理解しメイクが出来る				メイク道具一式	
第 4回	○月○日	顔分析メイクまとめ	顔分析によるメイクの実施				メイク道具一式	
第 5回	○月○日	モードメイクアイカラー①	アイカラーの中抜きテクニックを実践する事が出来る				メイク道具一式	
第 6回	○月○日	モードメイクアイカラー②	アイカラーの目頭抜きテクニックを実践する事が出来る				メイク道具一式	
第 7回	○月○日	モードメイクアイカラー③	アイカラーのシャープテクニックを実践する事が出来る				メイク道具一式	
第 8回	○月○日	モードメイクアイカラー④	アイカラーのラウンドテクニックを実践する事が出来る				メイク道具一式	
第 9回	○月○日	モードメイクアイライン①	アイラインのスリムラインとオープンアイのテクニックを実践することが出来る				メイク道具一式	
第 10回	○月○日	モードメイクアイライン②	アイラインのキャッツアイとアーモンドアイのテクニックを実践することが出来る				メイク道具一式	
第 11回	○月○日	コンテスト応募作品作り①	イメージ収集、チェック、メイク実施				メイク道具一式	
第 12回	○月○日	コンテスト応募作品作り②	イメージ収集、チェック、メイク実施				メイク道具一式	
第 13回	○月○日	コンテスト応募作品作り③	イメージ収集、チェック、メイク実施				メイク道具一式	
第 14回	○月○日	コンテスト応募作品作り④	最終確認				メイク道具一式	
第 15回	○月○日	撮影 (コンテスト応募用)	コンテストエントリー				メイク道具一式	
第 回	○月○日	↓以降は行数を増やす。					メイク道具一式	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
①成績判定試験：実技試験30分フルメイク ②小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 上記評価点数を下表の配分％で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①成績判定試験			2位			1位	70	秀 (S) : 100点～90点
②確認テスト							15	優 (A) : 89点～80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点～70点
④授業態度				2位	1位		15	可 (D) : 69点～60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	奥谷千晴	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	フルネームを記載		
					実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	サービス接遇特論		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科		学年	³ 学年	
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	サービス接遇検定2級 サービス接遇検定準1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ ビューティ業界で働くにあたり必要な心構えと基本的なサービス接遇マナーを教授する 当該内容は卒業後、社会人としての立ち居振る舞いに役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、 Diploma Policyの要件を満たす科目 サービス接遇2級試験、サービス接遇準1級試験合格相当の知識を身に付ける 社会人基礎力の向上を目指し、基本的な接客、接遇マナーを身に付ける							
受講条件	¹³ YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。							
教科書名	¹⁴ サービス接遇検定 2級公式テキスト公益財団法人 実務技能検定協会 サービス接遇検定1-2級 実問題集 (第52回～第58回)				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント		
設備名・機器名	¹⁶ ホワイトボード				関連サイト ¹⁷	公益財団法人 実務技能検定協会 https://jitsumu-kentei.jp/SV/index		
関連前科目	¹⁸ 該当なし				関連後科目 ¹⁹	サービス接遇特論		
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	9月29日	オリエンテーション		授業の概要、評価について理解する				
第2回	10月6日	2級試験対策1		2級試験課題を解くことができる				
第3回	10月20日	2級試験対策2		2級試験課題を解くことができる (第2回の課題の改善)				
第4回	10月27日	2級試験対策3		2級試験模擬試験実施。合格基準に達することができる				
第5回	11月10日	準1級試験対策1		準1級試験課題について理解する				
第6回	11月17日	準1級試験対策2		準1級試験課題接客ロールプレイングを実施し、接遇者としての基本対応ができる				
第7回	12月1日	準1級試験対策3		準1級試験課題接客ロールプレイングを実施し、接遇者としての基本対応ができる (第6回課題の改善)				
第8回	12月8日	準1級試験対策4		準1級試験課題接客ロールプレイングを実施し、接遇者としての基本対応ができる (第7回課題の改善)				
第9回	12月15日	準1級試験対策5		模擬試験実施 準1級試験合格基準に達することができる				
第10回	12月22日	所作実習		物の渡し方、受け方について理解し、実践することができる				
第11回	1月19日	敬語・言葉遣い1		正しい敬語について理解する				
第12回	2月2日	敬語・言葉遣い2		正しい敬語で話すことができる				
第13回	2月9日	企業リサーチ		職業別企業リサーチができる				
第14回	2月10日	文章作成		企業研究発表のシナリオ作成ができる				
第15回	2月16日	成績判定試験		実技試験：正しい敬語を用いて所定課題について話すことができる				
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
出席率80%以上及び ①成績判定試験 実技試験 ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し、総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点～90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A): 89点～80点
③課題レポート							なし	良(B): 79点～70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D): 69点～60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者		福本真弓	シラバス承認者		フルネームを記載	授業担当教員		城戸さち子
						実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹	基本IT技術		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		Excel、Wordの基本的な操作方法を教授する						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		Excelを使って商品の管理や売上の計算、平均・合計などの関数が使えるようになる。 Wordを使ってお客様への案内文や文書を適切に作成できるようになる。						
受講条件		Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に1年以上在籍していること						
教科書名		よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024			教材名 ¹⁵	オリジナルプリント		
設備名・機器名		学生用パソコン/教員用パソコン/投影用プロジェクター			関連サイト ¹⁷	マイクロソフトHP https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/free-office-online-for-the-web		
関連前科目		該当なし			関連後科目 ¹⁹	該当なし		

授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	9月30日	ガイダンス・ICTの基礎知識	授業の進め方を理解し、Excel・Wordの目的を知る	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第2回	10月6日	Excelの基本操作（セル・シート・入力・書式）	表計算ソフトの基本的な操作ができるようになる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第3回	10月14日	表の作成と書式設定（罫線、セルの結合、文字装飾）	美しく整った表を作成できるようになる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第4回	10月21日	四則演算の入力（＋、－、＊、／）と相対参照・絶対参照	数式の基本と参照の考え方を理解する	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第5回	10月28日	関数①：SUM、AVERAGE、MAX、MIN	基本的な関数を使って集計ができる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第6回	11月4日	関数②：IF関数の基礎	条件によって異なる処理ができるようになる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第7回	11月11日	商品管理表の作成（在庫数、単価、売上計算）	実用的な表を作成し、合計や平均を求められる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第8回	11月18日	グラフの作成（棒グラフ、円グラフ）	売上や在庫のデータを視覚的に表現できる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第9回	11月25日	印刷設定とページレイアウト	見やすく印刷できるように設定できる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第10回	12月2日	Wordの基本操作（文字入力、編集、保存）	文書作成ソフトの基本が身につく	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第11回	12月9日	書式設定（フォント、段落、行間、余白）	読みやすく整った文書に仕上げられる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第12回	12月16日	表の挿入と編集	案内文に表を組み込んで見やすくできる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第13回	1月20日	ビジネス文書の作成①（顧客向けの案内文：構成）	目的に応じた文章の構成を理解する	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第14回	1月27日	ビジネス文書の作成②（顧客向けの案内文：完成）	案内文を実際作成し完成できる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024
第15回	2月3日	総まとめ・課題発表・振り返り	Excel・Wordを活用した成果物を発表し、学びを定着させる	よくわかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21

出席率80%以上及び
①成績判定試験課題 Excel・Wordを活用した成果物を作成する
③課題 授業毎の課題の提出
④授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 21

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						30	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						該当なし	優（A）：89点～80点
③課題	2位				1位	50	良（B）：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品	2位				1位	該当なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション						該当なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	佐川奈都子
				実務経験紹介	該当なし

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹	キャリアデザイン		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶		
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当資格なし	
科目の概要 ¹¹		個人ワーク、グループワークを通して自分への洞察を深め、仕事全般についての理解を高めて、仕事選択ができるようになる。						
科目の到達目標 ¹²		1. 自分を知る事で「やりたい事」「出来る事」「将来像」を明確にしていく。 2. 希望する企業に自分の強みが伝えられるよう、プレゼンテーション能力を身につける。 3. 社会人として必要なコミュニケーション能力を身につける☑☑						
受講条件 ¹³		出席率80%以上が前提となる。						
教科書名 ¹⁴		未来ノート、NAVIノート			教材名 ¹⁵	PowerPoint、内定ロードマップ		
設備名・機器名 ¹⁶		プロジェクター			関連サイト ¹⁷	特になし		
関連前科目 ¹⁸		特になし			関連後科目 ¹⁹	特になし		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位²⁰

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	9月29日	オリエンテーション	就活の流れ、シラバス、NAVIノートの説明、マイナビ・リクナビの登録、就職先希望調査	未来ノート、就活NAVIノート
第2回	10月6日	キャリアマップ登録会	キャリアマップ登録	未来ノート、就活NAVIノート
第3回	10月20日	自己理解Ⅰ（私の大切なもの探し、ネガボジマップ）	自分の価値観を知る 「自己イメージ」を言語化・明確化する	未来ノート、就活NAVIノート
第4回	10月27日	自己理解Ⅱ（過去を振り返ろう）	過去のライフイベントを振り返り、自分らしさや「やる気」を形づくってるものについて洞察を深める	未来ノート、就活NAVIノート
第5回	11月10日	自己理解Ⅲ（ジョハリの窓）	「自分から見た自分」と「他人から見た自分」についての気づきを得て自己理解を深める	未来ノート、就活NAVIノート
第6回	11月17日	自己PR文をつくろう	自己分析の結果を他己分析の結果を元に自己PR文を作成する	未来ノート、就活NAVIノート
第7回	12月1日	敬語、ビジネススキルを学ぶ（外部講師 ジョブパーク）	敬語の基本、ビジネススキルを習得する	未来ノート、就活NAVIノート
第8回	12月8日	仕事理解Ⅰ（企業研究グループワーク）	グループごとに企業を調査し、業界把握や具体的な企業情報検索方法を学ぶ	未来ノート、就活NAVIノート
第9回	12月15日	仕事理解Ⅱ（企業研究発表）	企業の人事担当者として、グループごとに調べた企業のプレゼンをする	未来ノート、就活NAVIノート
第10回	12月22日	履歴書の書き方	履歴書の書き方、就職活動に必要な書類の書き方を学ぶ	就活NAVIノート
第11回	1月19日	合同企業説明会事前セミナー	合同企業説明会前の諸注意、所作について学ぶ	就活NAVIノート
第12回	1月26日	合同企業説明会	合同企業説明会（京都テルサ）	就活NAVIノート
第13回	2月2日	志望動機を書いてみよう	志望動機の書き方を学ぶ	就活NAVIノート
第14回	2月9日	模擬面接（外部講師 キャリア形成）	講義でグループ面接について学び、実践する	就活NAVIノート
第15回	2月16日	後期試験	後期試験（筆記試験、面接）	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。²¹

単位認定 ・ 総合成績60%点・出席率80%以上 ・ 定期試験70%成績判定①成績判定試験（筆記試験：記述式11問30点、最低記述要件3行以上、選択問題5問10点と模擬面接30点試験時間90分の計70点満点）②課題レポート25%、③グループでのプレゼンテーション5%を勘案して総合評価を行う。							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト						なし	優（A）： 89点～80点
③課題レポート		2位	1位			25	良（B）： 79点～70点
④授業態度						なし	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション			2位	1位		5	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	土井 宏美	シラバス承認者	澤 智春	授業担当教員	森田 有香
				実務経験紹介	

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	プレゼンテーション		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年	3 ² 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11話し方や立ち居振る舞い、資料作成、自己PR方法など、効果的なプレゼンテーションスキルを教授する 当該内容は現場での商品説明等の接客販売の際に役立つ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12プレゼンテーションの基本構成と話し方の技術を理解し、実践できる 身だしなみや表情、ボディランゲージの重要性を理解し、適切に使いこなせる 自己紹介や作品紹介、企画提案などのプレゼンを自ら構成・実演できる							
受講条件	13Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること							
教科書名	14該当なし				教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント		
設備名・機器名	16投影用プロジェクター/講師用PC				関連サイト ¹⁷	17 リクルートホームページ https://www.recruit-ms.co.jp/glossary/dtl/0000000174/		
関連前科目	18該当なし				関連後科目 ¹⁹	19サロン運営 I		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	オリエンテーション	授業の目標・目的、成績評価について理解する プレゼンテーションとは何かを理解する	
第2回	○月○日	話し方の基本	基本的な声の出し方、滑舌、話すスピードについて理解する	
第3回	○月○日	非言語コミュニケーション	表情、姿勢、視線の重要性について理解する	
第4回	○月○日	プレゼンテーションの構成1	導入、展開、まとめの構成を理解する	
第5回	○月○日	プレゼンテーションの構成2	SDS法、PREP法を理解する	
第6回	○月○日	自己紹介プレゼンテーション1	自己紹介の台本作成をすることができる	
第7回	○月○日	自己紹介プレゼンテーション2	第6回の台本を元に発表を行う。発表者のフィードバックができる	
第8回	○月○日	商品プレゼンテーション1	プレゼンテーションの内容を選定、アピールポイントを作成することができる	
第9回	○月○日	商品プレゼンテーション2	プレゼンテーション内容のビジネスプランを作成することができる	
第10回	○月○日	商品プレゼンテーション3	プレゼンテーション内容についてマーケティングを行うことができる	
第11回	○月○日	商品プレゼンテーション4	プレゼンテーションに必要な資料作成ができる	
第12回	○月○日	商品プレゼンテーション5	プレゼンテーションに必要な資料作成ができる（第11回の課題点の改善）	
第13回	○月○日	商品プレゼンテーション6	お気に入り商品台本作成ができる	
第14回	○月○日	商品プレゼンテーション7	プレゼンテーションリハーサルを実施する	
第15回	○月○日	成績判定試験	成績判定試験：お気に入り商品のプレゼンテーション	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

出席率80%以上及び ①成績判定試験 導入、展開、まとめの構成で台本作成ができる ④授業態度 提出物及び出席状況を成績に反映する ⑥プレゼンテーション お気に入り商品のプレゼンテーションができる 上記評価点数を下表の配分%で按分し、総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		2位			1位	50	秀(S):100点~90点
②確認テスト						なし	優(A):89点~80点
③課題レポート						なし	良(B):79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション				2位	1位	40	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	フルネームを記載	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	硬筆書写		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科			学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		硬筆書写の基礎的な技術及び知識を教授する 当該内容は就職活動、現場での接客応対の際に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該授業の教育課程における位置付けは、将来卒業後に必要な知識、技術として位置づける。 履歴書、お客様への手紙やお礼状、ご案内などを美しくバランスのよい手書き文字がかかる						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること。						
教科書名		硬筆書写検定3級合格のポイント (令和7年度版)製造元：日本習字普及協会 ペン習字ハンドブック 著者川端比呂子B5判104頁			教材名 ¹⁵	無地レポート用紙B5/ゲルインクボールペン黒0.5		
設備名・機器名		ホワイトボード			関連サイト	一般財団法人 日本書写技能検定協会 https://www.nihon-shosha.or.jp/pen.html		
関連前科目		該当なし			関連後科目 ¹⁹	サロン運営 I		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月14日	オリエンテーション	学習目標、内容を理解する 美しい文字を書く基本を理解する	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第2回	4月21日	楷書の基礎・基本Ⅰ	楷書の基礎について理解する	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第3回	4月28日	楷書の基礎・基本Ⅱ	楷書で手書き文字をバランスよく書くことができる	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第4回	5月12日	平仮名・片仮名の基礎・基本Ⅰ	平仮名・片仮名の正しい書き方を理解する	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第5回	5月19日	平仮名・片仮名の基礎・基本Ⅱ	平仮名・片仮名を手書き文字でバランスよく書くことができる	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第6回	5月26日	横書きの基礎・基本	横書きの正しい書き方を理解する	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第7回	6月2日	行書の基礎・基本Ⅰ	行書の書き方について理解する	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第8回	6月9日	行書の基礎・基本Ⅱ	行書で手書き文字をバランスよく書くことができる	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第9回	6月16日	縦書きの基礎・基本Ⅰ	縦書きの正しい書き方について理解する	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第10回	6月23日	縦書きの基礎・基本Ⅱ	縦書きで手書き文字をバランスよく書くことができる	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第11回	6月30日	添え状の書き方	就職活動、インターンシップに向けた添え状をバランスよく美しく書くことができる	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第12回	7月7日	履歴書の書き方	就職活動の履歴書をバランスよく美しく書くことができる	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第13回	7月14日	お礼状の書き方	お客様へのお礼状をバランスよく美しく書くことができる	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第14回	7月28日	硬筆書写まとめ	1～13回の授業を復習し理解度を高める	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5
第15回	8月4日	成績判定試験	成績判定試験実施 目標：縦書き、横書きの用紙に的確な大きさでの確かな正しい字を書くことができる	硬筆書写検定3級合格のポイント ペン習字ハンドブック 無地レポート用紙B5 ゲルインクボールペン黒0.5

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

出席率80%以上及び
成績判定試験：筆記試験 50分
確認テスト：小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する
授業態度：授業への出席状況及び態度を評価する
上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S)：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				10	優(A)：89点～80点
③課題レポート						なし	良(B)：79点～70点
④授業態度			2位	1位		20	可(D)：69点～60点
⑤作品						なし	不可(E)：59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者		授業担当教員	上川華代
				実務経験紹介	該当なし

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ^{1.}	サロン運営Ⅰ		学科名 (コース名) ^{2.}	ビューティスペシャリスト科 ネイリストコース			学年	2学年
授業形態 ^{4.}	実習		学期	前期	開講年月 ^{5.} 4月	該当資格区分 ^{6.} なし		
教育課程区 分 ^{7.}	選択		単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.} 60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		サロン運営における企画、運営、接客、施術について教授する 当該内容は現場での接客、施術に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 お客様に満足していただける施術内容を考えて施術することができる サロン運営の企画・運営を組織的に実施することができる						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科2年生に在籍していること						
教科書名		該当なし			教材名 ^{15.}	オリジナルPowerPoint／オリジナルプリント		
設備名・機器名		フットチェア			関連サイト ^{17.}	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/blog		
関連前科目		ネイルⅠ・ネイルⅡ・ネイルⅢ・ネイルⅣ			関連後科目 ^{19.}	サロン運営Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	4月18日	オリエンテーション		授業の目的、目標、評価方法について理解する			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第2回	4月18日	サロン考案Ⅰ		事業計画書を作成することができる			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第3回	4月25日	サロン考案Ⅱ		サロンメニュー内容を考案することができる			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第4回	4月25日	サロン考案Ⅲ		サロン施術内容を考案することができる			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第5回	5月9日	サロン広告Ⅰ		パンフレット、ペーパーアイテムを作成することができる			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第6回	5月9日	サロン広告Ⅱ		パンフレット発送準備ができる			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第7回	5月16日	サロン広告Ⅲ		メニュー内容施術（施術者）			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第8回	5月16日	サロン技術Ⅰ		メニュー内容施術（被施術者）			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第9回	5月23日	サロン技術Ⅱ		接客、施術技術チェック（施術者）			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第10回	5月23日	サロン技術Ⅲ		接客、施術技術チェック（被施術者）			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第11回	5月30日	サロン技術Ⅳ		合同サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる（施術者）			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第12回	5月30日	サロン技術Ⅴ		合同サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる（被施術者）			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第13回	6月6日	サロン技術Ⅵ		合同サロンメニュー施術の問題点の改善ができる（施術者）			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第14回	6月6日	サロン技術Ⅶ		合同サロンメニュー施術の問題点の改善ができる（被施術者）			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第15回	6月13日	ブレオープンⅠ		サロン営業準備を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第16回	6月13日	ブレオープンⅡ		教職員をモデルにサロンメニューの施術ができる			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第17回	6月20日	オープン準備Ⅰ		ブレオープンでの課題点、改善点の共有を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第18回	6月20日	オープン準備Ⅱ		お出迎え～お見送りまでの流れを実施する			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第19回	6月27日	サロン営業Ⅰ①		営業1日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第20回	6月27日	サロン営業Ⅰ②		営業1日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第21回	7月4日	サロン営業Ⅱ①		営業2日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第22回	7月4日	サロン営業Ⅱ②		営業2日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第23回	7月11日	サロン営業Ⅲ①		営業3日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第24回	7月11日	サロン営業Ⅲ②		営業3日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第25回	7月18日	サロン営業Ⅳ①		営業4日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第26回	7月18日	サロン営業Ⅳ②		営業4日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第27回	7月24日（木）	サロン営業Ⅴ①		1年生合同授業①　モデルにサロンメニューの施術ができる			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第28回	7月24日（木）	サロン営業Ⅴ②		1年生合同授業①　施術評価を元に課題点の発見を行う			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第29回	7月31日（木）	サロン営業Ⅵ①		1年生合同授業②　モデルにサロンメニューの施術ができる			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第30回	7月31日（木）	サロン運営まとめ		サロン運営振り返りを行い、レポート提出（成績評価）ができる			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}								
出席率80％以上及び ①接客技術：お客様の声、接客、施術姿勢を評価する ②課題レポート：サロン運営を通じて達成したこと、課題点、今後の目標を600字以上800字以内で述べる ③授業態度：提出物及び授業への出席状況を評価する ④サロン貢献度：施術数、予約数を成績に反映する 上記評価点数を下乗の配分％で換算し、総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①接客技術					2位	1位	25	秀（S）：100点～90点
②課題レポート		2位	1位				25	優（A）：89点～80点
③授業態度				1位	2位		25	良（B）：79点～70点

2025年度シラバス

④サロン貢献度			1位	2位		25	可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下	
⑤作品						なし		
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	新宮恵理菜
				実務経験紹介	該当なし

更新履歴

シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	サロン運営Ⅰ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科 エステティシャンコース			学年	3 ³ 学年
授業形態 ⁴	実習		学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	なし
教育課程区分 ⁷	選択		単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. サロン運営における企画、運営、接客、施術について教授する 当該内容は現場での接客、施術に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 お客様に満足していただける施術内容を考えて施術することができる サロン運営の企画・運営を組織的に実施することができる						
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科2年生に在籍していること						
教科書名		14. 該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint／オリジナルプリント		
設備名・機器名		16. 施術用ベッド			関連サイト ¹⁷	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/blog		
関連前科目		18. エステ（ボディ）			関連後科目 ¹⁹	サロン運営Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月25日	オリエンテーション	授業の目的、目標、評価方法について理解する				オリジナルプリント	
第2回	4月25日	サロン考案Ⅰ	事業計画書を作成することができる				オリジナルプリント	
第3回	5月9日	サロン考案Ⅱ	サロンメニュー内容を考案することができる				オリジナルプリント	
第4回	5月9日	サロン考案Ⅲ	サロン施術内容を考案することができる				オリジナルプリント	
第5回	5月16日	サロン広告Ⅰ	パンフレット、ペーパーアイテムを作成することができる				オリジナルプリント	
第6回	5月16日	サロン広告Ⅱ	パンフレット発送準備ができる				オリジナルプリント	
第7回	5月22日（木）	サロン広告Ⅲ	パンフレットを発送することができる。300件以上ポスティングができる				オリジナルプリント	
第8回	5月22日（木）	サロン技術Ⅰ	接客、施術マニュアルを作成することができる				オリジナルプリント	
第9回	5月23日	サロン技術Ⅱ	相モデルでサロンメニューの施術を行う（施術者）				オリジナルプリント	
第10回	5月23日	サロン技術Ⅲ	相モデルでサロンメニューの施術を行う（被施術者）				オリジナルプリント	
第11回	5月30日	サロン技術Ⅳ	サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる（施術者）				オリジナルプリント	
第12回	5月30日	サロン技術Ⅴ	サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる（被施術者）				オリジナルプリント	
第13回	6月6日	サロン技術Ⅵ	サロンメニュー施術の問題点の改善ができる（施術者）				オリジナルプリント	
第14回	6月6日	サロン技術Ⅶ	サロンメニュー施術の問題点の改善ができる（被施術者）				オリジナルプリント	
第15回	6月13日	プレオープンⅠ	サロン営業準備を行う				オリジナルプリント	
第16回	6月13日	プレオープンⅡ	教職員をモデルにサロンメニューの施術ができる				オリジナルプリント	
第17回	6月19日（木）	オープン準備Ⅰ	プレオープンでの課題点、改善点の共有を行う				オリジナルプリント	
第18回	6月19日（木）	オープン準備Ⅱ	お出迎え～お送りまでの流れを実施する				オリジナルプリント	
第19回	6月20日	サロン営業Ⅰ①	営業1日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第20回	6月20日	サロン営業Ⅰ②	営業1日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第21回	6月27日	サロン営業Ⅱ①	営業2日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第22回	6月27日	サロン営業Ⅱ②	営業2日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第23回	7月4日	サロン営業Ⅲ①	営業3日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第24回	7月4日	サロン営業Ⅲ②	営業3日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第25回	7月11日	サロン営業Ⅳ①	営業4日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第26回	7月11日	サロン営業Ⅳ②	営業4日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第27回	7月18日	サロン営業Ⅴ①	営業5日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第28回	7月18日	サロン営業Ⅴ②	営業5日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第29回	7月25日	サロン営業Ⅵ①	営業6日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第30回	7月25日	サロン運営まとめ	営業6日目　施術アンケートをご記入いただき、サロン営業全体の振り返りを行う レポート提出（成績評価）				オリジナルプリント	
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.								
出席率80％以上及び ①接客技術：お客様の声、接客、施術姿勢を評価する ②課題レポート：サロン運営を通じて達成したこと、課題点、今後の目標を600字以上800字以内で述べる事ができる ③授業態度：提出物及び授業への出席状況を評価する ④サロン貢献度：施術数、予約数を成績に反映する 上記評価点数を下表の配分%で換算し、総合点60.0点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①接客技術					2位	1位	25	秀（S）：100点～90点
②課題レポート		2位	1位				25	優（A）：89点～80点

2025年度シラバス

③授業態度			1位	2位		25	良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下
④サロン貢献度			1位	2位		25	
⑤作品						なし	
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福本真弓・竹縄恵理		
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/		

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	サロン運営Ⅰ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	1月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. サロン運営における企画、運営、接客、施術について教授する 当該内容は現場での接客、施術に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件であるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 お客様に満足していただける施術内容を考えて施術することができる サロン運営の企画・運営を組織的に実施することができる						
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に1年以上在籍していること						
教科書名		14. 該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint／オリジナルプリント		
設備名・機器名		16. 施術用ベッド、施術用鏡、施術用机			関連サイト ¹⁷	17. https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/blog		
関連前科目		18. サロン運営Ⅰ			関連後科目 ¹⁹	19. サロン運営Ⅲ		
20. 授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回		オリエンテーション	授業の目的、目標、評価方法について理解する (全コース)				オリジナルプリント	
第2回		サロン考案Ⅰ	事業計画書を作成することができる（全コース）				オリジナルプリント	
第3回		サロン考案Ⅱ	サロンメニュー内容を考案することができる（全コース）				オリジナルプリント	
第4回		サロン考案Ⅲ	サロン施術内容を考案することができる（全コース）				オリジナルプリント	
第5回		サロン広告Ⅰ	パンフレット、ペーパーアイテムを作成することができる（全コース）				オリジナルプリント	
第6回		サロン広告Ⅱ	パンフレット発送準備ができる（全コース）				オリジナルプリント	
第7回		サロン広告Ⅲ	パンフレットを発送することができる。300件以上ポスティングができる（全コース）				オリジナルプリント	
第8回		サロン技術Ⅰ	接客、施術マニュアルを作成することができる（全コース）				オリジナルプリント	
第9回		サロン技術Ⅱ	相モデルでサロンメニューの施術を行う（施術者）（全コース）				オリジナルプリント	
第10回		サロン技術Ⅲ	相モデルでサロンメニューの施術を行う（被施術者）（全コース）				オリジナルプリント	
第11回		サロン技術Ⅳ	サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる（施術者）（全コース）				オリジナルプリント	
第12回		サロン技術Ⅴ	サロンメニューのタイム計測を行い、問題点の発見ができる（被施術者）（全コース）				オリジナルプリント	
第13回		サロン技術Ⅵ	サロンメニュー施術の問題点の改善ができる（施術者）（全コース）				オリジナルプリント	
第14回		サロン技術Ⅶ	サロンメニュー施術の問題点の改善ができる（被施術者）（全コース）				オリジナルプリント	
第15回		プレオープンⅠ	サロン営業準備を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第16回		プレオープンⅡ	教職員をモデルにサロンメニューの施術ができる（全コース）				オリジナルプリント	
第17回		オープン準備Ⅰ	プレオープンでの課題点、改善点の共有を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第18回		オープン準備Ⅱ	お出迎え～お見送りまでの流れを実施する（全コース）				オリジナルプリント	
第19回		サロン営業Ⅰ①	営業1日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第20回		サロン営業Ⅰ②	営業1日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第21回		サロン営業Ⅱ①	営業2日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第22回		サロン営業Ⅱ②	営業2日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第23回		サロン営業Ⅲ①	営業3日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第24回		サロン営業Ⅲ②	営業3日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第25回		サロン営業Ⅳ①	営業4日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第26回		サロン営業Ⅳ②	営業4日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第27回		サロン営業Ⅴ①	営業5日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第28回		サロン営業Ⅴ②	営業5日目　施術アンケートをご記入いただき、次回の課題点の発見を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第29回		サロン営業Ⅵ①	営業6日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う（全コース）				オリジナルプリント	
第30回		サロン運営まとめ	営業6日目　施術アンケートをご記入いただき、サロン営業全体の振り返りを行う レポート提出（成績評価）（全コース）				オリジナルプリント	
21. 成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
出席率80％以上及び ①接客技術：お客様の声、接客、施術姿勢を評価する ②課題レポート：サロン運営を通じて達成したこと、課題点、今後の目標を600字以上800字以内で述べる事ができる ③授業態度：提出物及び授業への出席状況を評価する ④サロン貢献度：施術数、予約数を成績に反映する 上記評価点数を下表の配分%で按分し、総合点60.0点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①接客技術					2位	1位	25	秀（S）：100点～90点
②課題レポート		2位	1位				25	優（A）：89点～80点

2025年度シラバス

③授業態度			1位	2位		25	良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下
④サロン貢献度			1位	2位		25	
⑤作品						なし	
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福本真弓・竹縄恵理		
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/		

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度シラバス

科目名 ¹	サロン運営Ⅲ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	後期	開講年月 ⁵	1月	該当資格区分 ⁶	なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		サロン運営における企画、運営、接客、施術について教授する 当該内容は現場での接客、施術に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 お客様に満足していただける施術内容を考えて施術することができる サロン運営の企画・運営を組織的に実施することができる						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科1年以上在籍していること						
教科書名					教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint／オリジナルプリント		
設備名・機器名					関連サイト ¹⁷	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/blog		
関連前科目					関連後科目 ¹⁹	該当なし		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回		サロン営業1	営業1日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第2回		サロン営業2	営業1日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第3回		サロン営業3	営業2日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第4回		サロン営業4	営業2日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第5回		サロン営業5	営業3日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第6回		サロン営業6	営業3日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第7回		サロン営業7	営業4日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第8回		サロン営業8	営業4日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第9回		サロン営業9	営業5日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第10回		サロン営業10	営業5日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第11回		サロン営業11	営業6日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第12回		サロン営業12	営業6日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第13回		サロン営業13	営業7日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第14回		サロン営業14	営業7日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第15回		サロン営業15	営業8日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第16回		サロン営業16	営業8日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第17回		サロン営業17	営業9日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第18回		サロン営業18	営業9日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第19回		サロン営業19	営業10日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第20回		サロン営業20	営業10日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第21回		サロン営業21	営業11日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第22回		サロン営業22	営業11日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第23回		サロン営業23	営業12日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第24回		サロン営業24	営業12日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第25回		サロン営業25	営業13日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第26回		サロン営業26	営業13日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第27回		サロン営業27	営業14日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第28回		サロン営業28	営業14日目　施術アンケートをご記入いただき、次の課題点の発見を行う				オリジナルプリント	
第29回		サロン営業29	営業15日目　ご予約いただいたお客様に施術を行う				オリジナルプリント	
第30回		サロン営業30	営業15日目　施術アンケートをご記入いただき、サロン営業全体の振り返りを行う レポート提出（成績評価）				オリジナルプリント	
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
出席率80％以上及び ①接客技術：お客様の声、接客、施術姿勢を評価する ②課題レポート：サロン運営を通じて達成したこと、課題点、今後の目標を600字以上800字以内で述べることができる ③授業態度：提出物及び授業への出席状況を評価する ④サロン貢献度：施術数、予約数を成績に反映する 上記評価点数を下表の配分％で換分し、総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①接客技術					2位	1位	25	秀（S）：100点～90点
②課題レポート		2位	1位				25	優（A）：89点～80点
③授業態度				1位	2位		25	良（B）：79点～70点
④サロン貢献度				1位	2位		25	可（D）：69点～60点

2025年度シラバス

⑤作品						なし	不可（E）:59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員				
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹		イベントプロデュース		学科名 ² (コース名)		ビューティスペシャリスト科		学年		学年							
授業形態 ⁴		講義		学期		前期		開講年月 ⁵		10月		該当資格区分 ⁶		該当なし			
教育課程区分 ⁷		選択		単位数 ⁸		1		時間数 ⁹		30		該当資格名称 ¹⁰		該当なし			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		イベント企画段階からプロセスを経て目標達成の為に最高のパフォーマンスが発揮出来るようイベントのノウハウやプランニング方法等を教授する。 具体的なイベントの活動の企画力・実行力・協調性など社会人として役立つ															
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		実際にイベント企画を行い制作ノウハウを身に付ける。自分たちが考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析しグループワークで各自が役割に対する責務を果たしチーム全体の力を発揮する事が出来る。															
受講条件		Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること															
教科書名		該当なし						教材名		15		該当なし					
設備名・機器名		該当なし						関連サイト		17		該当なし					
関連前科目		18						該当なし		関連後科目		19		該当なし			
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位												20.					
回(コマ)		開講日		授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標						使用教科書・教材					
第 1 回		○月○日		授業ガイダンス		2025年度のイベントについて理解する						正式な名称を記述する。					
第 2 回		○月○日		イベントについて		イベントの意義について理解する											
第 3 回		○月○日		イベントの目的		イベントを実施する側に明確な『目的』がある事を理解する											
第 4 回		○月○日		プランニングと運営について		プランニング (計画性) の重要性と運営について理解する											
第 5 回		○月○日		イベント企画会議		実際の行事の企画会議を実施する (ほりかわ祭)											
第 6 回		○月○日		イベント運営のグループワーク		イベント運営とグループワーク (ほりかわ祭)											
第 7 回		○月○日		イベント運営のシミュレーション①		運営シュミレーション (ほりかわ祭)											
第 8 回		○月○日		イベント運営の実際①		ほりかわ祭について①											
第 9 回		○月○日		イベントプロデュースの分析と展望		ほりかわ祭について②											
第 10 回		○月○日		イベント企画会議		実際の行事の企画会議を実施する (就職egg)											
第 11 回		○月○日		イベント運営のグループワーク		イベント運営とグループワーク (就職egg)											
第 12 回		○月○日		イベント運営のシミュレーション②		運営シュミレーション (就職egg) を実施する											
第 13 回		○月○日		イベント運営の実際②		学生ショー準備①											
第 14 回		○月○日		イベントプロデュースの分析と展望		学生ショー準備②											
第 15 回		○月○日		学生ショー実施		学生ショー実施											
第 回		○月○日		↓以降は行数を増やす。													
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …『筆記試験』における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。												21.					
出席率80%以上及び 成績判定試験 接客販売コンテスト審査表を利用し項目に沿って評価する 授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする																	
↓判定方法\該当する観点→				知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		評価配分%		成績評価基準	
①成績判定試験				1位		2位								70		秀 (S) : 100点~90点	
②確認テスト				2位		2位								15		優 (A) : 89点~80点	
③課題レポート														なし		良 (B) : 79点~70点	
④授業態度								2位		1位				15		可 (D) : 69点~60点	
⑤作品														なし		不可 (E) : 59点以下	
⑥プレゼンテーション														なし			
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。												不合格の場合		補修、追試の有無等			
シラバス作成者		奥谷千晴		シラバス承認者		フルネームを記載		授業担当教員		フルネームを記載							
								実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載							
更新履歴																	
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)									
改1																	
改2																	
改3																	
改4																	
改5																	

2025年度シラバス

科目名 ¹	企業研究		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科		学年	³ 1学年	
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		ビューティ業界ではどのような業界があるのか、関連業種などについて調査、ビューティ業界での就職に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		ビューティ業界を調べる事によって業界内の様々な職種を知る。またそこで求められる人物像、知識などを各自が明確にイメージすることによって学習意欲を高め就職活動に役立つ						
受講条件		Y I C 京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること						
教科書名 ¹⁴		該当なし		教材名 ¹⁵		該当なし		
設備名・機器名 ¹⁶		該当なし		関連サイト ¹⁷		該当なし		
関連前科目 ¹⁸		該当なし		関連後科目 ¹⁹		該当なし		
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第 1 回	○月○日	ガイダンス		美容業界がどのようなものか理解する			該当なし	
第 2 回	○月○日	業界企業の特徴①		上場・未上場・親会社が他業種などプライダル企業の現在を学ぶ			該当なし	
第 3 回	○月○日	業界企業の特徴②		グループワークでビューティ企業を調べる			該当なし	
第 4 回	○月○日	業界調査発表		前回調べた企業を発表する			該当なし	
第 5 回	○月○日	企業研究①		企業理念・社長について・改革・事業展開・企業カルチャーについて調べる			該当なし	
第 6 回	○月○日	企業研究②		企業理念・社長について・改革・事業展開・企業カルチャーについて調べる			該当なし	
第 7 回	○月○日	企業研究③		企業理念・社長について・改革・事業展開・企業カルチャーについて調べる			該当なし	
第 8 回	○月○日	企業研究④		企業理念・社長について・改革・事業展開・企業カルチャーについて調べる			該当なし	
第 9 回	○月○日	企業研究⑤		企業理念・社長について・改革・事業展開・企業カルチャーについて調べる			該当なし	
第 10 回	○月○日	企業研究⑥		企業理念・社長について・改革・事業展開・企業カルチャーについて調べる			該当なし	
第 11 回	○月○日	合同企業説明会		YIC京都合同企業説明会(京都テルサ)			該当なし	
第 12 回	○月○日	就職情報サイト登録		就職情報サイトエントリー企業の研究をする			該当なし	
第 13 回	○月○日	履歴書の書き方・自己PR・エントリーシート		履歴書・エントリーシートの書き方・注意点を理解する			該当なし	
第 14 回	○月○日	模擬面接		グループディスカッション・グループ面接を実施			該当なし	
第 15 回	○月○日	模擬面接		期末テストを実施			該当なし	
第 回	○月○日	↓以降は行数を増やす。					該当なし	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
出席率80%以上及び 成績判定試験 接客販売コンテスト審査表を利用し項目に沿って評価する 授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト		1位	2位				15	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者		奥谷千晴	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員		フルネームを記載
						実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度シラバス

科目名 ¹		ボランティア活動Ⅰ		学科名 ² (コース名)		ビューティスペシャリスト科		学年		2学年	
授業形態 ⁴		講義		学期		通期		開講年月 ⁵		10月	
教育課程区分 ⁷		選択		単位数 ⁸		1		時間数 ⁹		30	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		ボランティアの理念・目的・意義・現状や問題を講義する・ボランティアの理念・目的・意義・現状や問題点を教授する									
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		ボランティアの理念・ボランティア活動の基本原則を理解する・実際のボランティア活動に参加する・ボランティア活動参加の意義を説明できる									
受講条件		ビューティスペシャリスト科1年以上在籍していること									
教科書名		該当なし						教材名 ¹⁵		該当なし	
設備名・機器名		該当なし						関連サイト ¹⁷		該当なし	
関連前科目		該当なし						関連後科目 ¹⁹		ボランティア活動Ⅱ	
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰											
回(コマ)		開講日		授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第 1回		○月○日		ボランティアの理念		無償性・自主性・公益性				正式な名称を記述する。	
第 2回		○月○日		ボランティア活動の基本原則		自ら進んで行動する・共に支えあい・学びあう『見返りを求めないよりよい社会』を理解する					
第 3回		○月○日		実際のボランティア活動		ボランティア活動について話し合う					
第 4回		○月○日		ボランティア活動参加の意義		他人同士が様々なシチュエーションで繋がりを持ちお互いに学びあって生きる喜びを確かめ合うことを理解する					
第 5回		○月○日		自分にあったボランティア活動は		自分にあったボランティア活動について考察する					
第 6回		○月○日		ボランティア活動①		ボランティア活動に参加する					
第 7回		○月○日		ボランティア活動②		ボランティア活動に参加する					
第 8回		○月○日		ボランティア活動③		ボランティア活動に参加する					
第 9回		○月○日		ボランティア活動④		ボランティア活動に参加する					
第 10回		○月○日		ボランティア活動⑤		ボランティア活動に参加する					
第 11回		○月○日		ボランティア活動⑥		ボランティア活動に参加する					
第 12回		○月○日		ボランティア活動⑦		ボランティア活動に参加する					
第 13回		○月○日		ボランティア活動⑧		ボランティア活動に参加する					
第 14回		○月○日		ボランティア活動⑨		ボランティア活動に参加する					
第 15回		○月○日		振り返り		レポート作成をする					
第 回		○月○日		↓以降は行数を増やす。							
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹											
出席率80%以上及び 成績判定試験 接客販売コンテスト審査表を利用し項目に沿って評価する 授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする											
↓判定方法\該当する観点→				知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度	
①成績判定試験				1位		2位				70	
②確認テスト										15	
③課題レポート										なし	
④授業態度						2位		1位		15	
⑤作品										なし	
⑥プレゼンテーション										なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。										不合格の場合	
補修、追試の有無等											
シラバス作成者		フルネームを記載		シラバス承認者		フルネームを記載		授業担当教員		フルネームを記載	
								実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載	
更新履歴											
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)			
改1											
改2											
改3											
改4											
改5											

2025年度シラバス

科目名 ¹	ボランティア活動Ⅱ		学科名 ² (コース名)	ビューティスペシャリスト科		学年	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	通期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ¹⁶	該当なし
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁶	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11ユニバーサル社会の実現のために高齢者、身体の不自由な人、または国籍やLGBTQなど多種多様の ¹⁰ 人たちに対して、分け隔てないおもてなし「ヒューマニティ」「人間性尊重精神」を持てるように接客・接遇の知識と技術を身につける。					
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12・お客様に合わせた接客と介助・サービスの実践力を身につける。 ・ボランティアを実際に体験することで、コミュニケーションと共感の大切さを学ぶ。 ・ボランティアの基礎を覚え、ボランティア活動に対するイメージを広げる。					
受講条件		13ビューティスペシャリスト科1年以上在籍していること					
教科書名		14該当なし		教材名		15該当なし	
設備名・機器名		16該当なし		関連サイト		17該当なし	
関連前科目		18該当なし		関連後科目		19ボランティア活動Ⅱ	
20授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材
第 1回	○月○日	オリエンテーション ボランティア活動とは		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 ボランティアの理念、ボランティア活動の社会的意義 ボランティアの基礎知識(車椅子、手引きなど)や現状を理解できる			心のバリアフリーの教材
第 2回	○月○日	外部講師による講義・体験授業		ボランティア入門講座、車椅子体験、手引き体験 当事者の思いを体験し、今後同様の場面に会おうことを考えることができる			心のバリアフリーの教材
第 3回	○月○日	振り返り		ボランティア入門講座、車椅子体験、手引き体験を受けての振り返りを行う 振り返りを行うことで、実際に体験したことを確認することができる			心のバリアフリーの教材
第 4回	○月○日	具体的なボランティア活動への参加に向けて		ボランティア活動の種類や活動の範囲について理解できるようになる			心のバリアフリーの教材
第 5回	○月○日	校外学習の事前学習		施設見学をする前に、ユニバーサルサービスについての取り組みがわかるようになる			心のバリアフリーの教材
第 6回	○月○日	校外学習（ホテル施設の見学）		現場での体験を通して、ユニバーサル社会の実現を考え自ら行動できる ホスピタリティを学ぶことができる			心のバリアフリーの教材
第 7回	○月○日	振り返り		施設見学を受けての振り返り 振り返りを行うことで、あらためて現場で学んだことを理解できるようになる			心のバリアフリーの教材
第 8回	○月○日	校外学習の事前学習		事前に校外学習する施設を調べることで、ボランティア活動のイメージがわかるようになる			心のバリアフリーの教材
第 9回	○月○日	校外学習 (ボランティア活動への参加)		実際にボランティア活動を行うことで、コミュニケーションと共感することの大切さがわかるようになる			心のバリアフリーの教材
第 10回	○月○日	振り返り		体験の振り返りや感想の振り返りを行う ボランティア活動に参加して、「人とのつながり」「地域社会とのつながり」での再発見することができる			心のバリアフリーの教材
第 11回	○月○日	ボランティア活動の発表準備		これまで取り組んできたボランティア活動を振り返りレポートにまとめる これまでのボランティア体験を振り返り、紙面にまとめることができる			心のバリアフリーの教材
第 12回	○月○日	ボランティア発表会に向けての整理		これまで取り組んできたボランティア活動の内容をパワーポイントにまとめる			心のバリアフリーの教材
第 13回	○月○日	ボランティア発表会に向けて プレゼン練習		これまで取り組んできたボランティア活動の内容をパワーポイントにまとめ、発表できるように準備する			心のバリアフリーの教材
第 14回	○月○日	発表会リハーサル		発表会のリハーサルを行う 事前にリハーサルを行うことで、自信をもって当日は発表することができる			心のバリアフリーの教材
第 15回	○月○日	発表会		これまでの講義・校外学習を受けての発表を行う			心のバリアフリーの教材
第 回	○月○日	↓以降は行数を増やす。					
21成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
出席率80%以上及び 成績判定試験 接客販売コンテスト審査表を利用し項目に沿って評価する 授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験							70
②確認テスト							15
③課題レポート		2位	1位				なし
④授業態度				2位	1位		15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション				2位		1位	なし
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
補修、追試の有無等							
シラバス作成者	奥谷千晴	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	フルネームを記載	
					実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載	
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

2025年度シラバス

科目名 ¹	ソーシャルメディア活用概論		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	³ 2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ 情報リテラシー、ソーシャルメディア活用、広告作成の基本について教授する							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² 情報セキュリティ、個人情報取り扱い及びソーシャルメディアにおける著作権について理解する 広告データの制作ができる							
受講条件	¹³ ビューティスペシャリスト科1年以上在籍していること							
教科書名	¹⁴ 該当なし				教材名 ¹⁵	¹⁵ オリジナル教材		
設備名・機器名	¹⁶ パソコン、Googleクラスルーム、Inkscape				関連サイト ¹⁷	¹⁷ 総務省令和3年版 リテラシー向上の必要性 https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd124200.html		
関連前科目	¹⁸ ビジネスと仕事の実践				関連後科目 ¹⁹	¹⁹		

授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.

回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	○月○日	情報リテラシーⅠ	オリエンテーション インターネットの基礎知識について理解する	オリジナル教材
第2回	○月○日	情報リテラシーⅡ	情報セキュリティ、個人情報の取り扱いについて理解する	オリジナル教材
第3回	○月○日	情報リテラシーⅢ	ソーシャルメディアにおける著作権の取扱いについて理解する	オリジナル教材
第4回	○月○日	ソーシャルメディア活用概論Ⅰ	ソーシャルメディアの歴史、SNSの特性について理解する	オリジナル教材
第5回	○月○日	ソーシャルメディア活用概論Ⅱ	マーケティング戦略におけるSNSの位置付け、お客様を集める具体策について考案する	オリジナル教材
第6回	○月○日	顧客分析Ⅰ	身近な題材を用いてペルソナを理解し顧客分析を行う	オリジナル教材
第7回	○月○日	顧客分析Ⅰ	エステ、メイク、ネイルサロンに来店するお客様についてペルソナを用いて分析する	オリジナル教材
第8回	○月○日	キャッチコピーについて	キャッチコピーの考え方、作り方を学ぶ	オリジナル教材
第9回	○月○日	テキスト構成について	見やすいフォント、テキスト構成を学ぶ	オリジナル教材
第10回	○月○日	広告データ作成準備Ⅰ	WEB広告に必要な素材を集める	オリジナル教材
第11回	○月○日	広告データ作成準備Ⅱ	集めた素材から広告を作成する	オリジナル教材
第12回	○月○日	広告データ作成Ⅰ	個人サロンのWEB広告を作成することができる	オリジナル教材
第13回	○月○日	広告データ作成Ⅱ	個人サロンのWEB広告を作成することができる	オリジナル教材
第14回	○月○日	広告データ作成Ⅲ	個人サロンのWEB広告を作成することができる	オリジナル教材
第15回	○月○日	広告データ作成Ⅳ	個人サロンのWEB広告を作成することができる	オリジナル教材

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.

出席率80%以上及び
③課題 授業毎の課題の提出
④授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する
③作品 個人サロン広告データ作成
上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする 21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							秀(S)：100点～90点
②確認テスト							優(A)：89点～80点
③課題レポート	2位				1位		良(B)：79点～70点
④授業態度			2位	1位			可(D)：69点～60点
⑤作品	2位				1位		不可(E)：59点以下
⑥プレゼンテーション							
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	再試験1回

シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福永健
				実務経験紹介	該当なし

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度シラバス

科目名 ¹		論理的思考力基礎		学科名 ² (コース名)		ビューティスペシャリスト科		学年		学年	
授業形態 ⁴		講義		学期		前期		開講年月 ⁵		4月	
該当資格区分 ⁶		該当なし									
教育課程区分 ⁷		選択		単位数 ⁸		1		時間数 ⁹		30	
該当資格名称 ¹⁰										該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		日常生活に関する題材を取り上げ、現状認識、問題発見をつかさどる把握力、定量分析、定性分析に発展させる分析力、意思決定、情報を研ぎ澄ませる選択力、シミュレーション能力を磨く為の予測力、プレゼンテーション能力を発揮できる表現力の基礎を教授する。									
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該科目の教育課程における位置づけは、身近な問題を解くことを通して、読解力、把握力、分析力、選択力、予測力、表現力、を養うための基礎知識を習得する。									
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること									
教科書名 ¹⁴		該当なし						教材名 ¹⁵		オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
設備名・機器名 ¹⁶		教材投影用プロジェクター/PC(講師用)						関連サイト ¹⁷			
関連前科目 ¹⁸		該当なし						関連後科目 ¹⁹			
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰											
回(コマ)		開講日		授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回				オリエンテーション 数学基礎学力テスト		授業の進め方・評価基準・評価方法について説明する 数学基礎学力試験				数学検定試験	
第2回				速さの基礎		速さの定義、秒速、分速、時速、速さと距離時間の関係の復習 速さを求める説明をする				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第3回				旅人算・流水算		動くものが2つあるとき、2つのものの隔たりの推移に関する説明をする				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第4回				割合の基礎		単位の換算、百分率と歩合、濃度の計算(重量パーセントからモル濃度)を理解する説明をする				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第5回				損益算		売買による損益に関する計算。原価(仕入れ値)・定価・売価(売り値)・利益の関係 特に利益率、値引率の割合の意味を理解する説明をする。 問題を解く。				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第6回				仕事算		単位日数や単位時間にできる仕事の量や、仕上げるのにかかる日数や時間を求める説明をする				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第7回				計算の基礎・虫食い算		四則計算、四則混合計算、Xを使う式、連立方程式を説明をする。 問題を解く				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第8回				順列・確立		順列・確立の基本的な考え方と、保険・銀行の融資・株式市場の分散投資について説明をする				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第9回				集合		集合と要素・部分集合・空集合・関集合・和集合・全体集合・補集合について説明する				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第10回				推理		リーグ戦の勝敗・対応関係・うそつき問題を説明する 問題を解く				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第11回				面積・体積		平行四辺形の面積・三角形の面積・台形の面積・ひし形の面積・円の面積・柱体の体積 錐体の体積を求める説明をする				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第12回				展開図		直方体・立方体・その他の図形の展開図から、体積・表面積を求める説明をする				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第13回				把握力と分析力		業界シェアの動向・所得税を求める説明をする				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第14回				選択力と予測力		最適な通勤ルートはどれか・来月の売上予想はいくらか求める説明をする				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第15回				表現力		売上高を棒グラフで表す・データ分布のヒストグラムを説明する				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) ²¹											
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題) ②記述式問題 授業内で出てきたワード(専門用語)を記述すること ③確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度、提出物及び授業への出席状況を評価する。 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点6.0点以上を合格とする											
↓判定方法\該当する観点→				知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度	
①成績判定試験				1位		2位				50	
②確認テスト				1位		3位		2位		30	
③課題レポート						1位		2位		10	
④授業態度								2位		10	
⑤作品										なし	
⑥プレゼンテーション										なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。										不合格の場合	
補修、追試の有無等											
シラバス作成者		竹縄恵理		シラバス承認者		フルネームを記載		授業担当教員		竹縄恵理	
								実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載	
更新履歴											
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)			
改1											
改2											
改3											
改4											
改5											

2025年度シラバス

科目名 ¹	ビジネスマネジメント		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科		学年	2 ³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	9月	該当資格区分 ⁶	該当なし
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		管理職(マネージャー)は、企業と社員の結節点として、「経営ビジョンの浸透」や「事業戦略の策定・遂行」「チームモチベーションの向上」「人材育成」などの多様な重要な役割を担っています。まさに企業の浮沈の鍵を握る要の存在です。この授業ではマネジメント知識を学び社会人基礎力を高めることを教授する。					
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該科目の教育課程における位置づけは卒業後に必要な知識を習得する科目。サロン運営の際に必要な基礎知識を習得する。					
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること					
教科書名		該当なし		教材名 ¹⁵		オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター/PC(講師用)		関連サイト ¹⁷			
関連前科目		該当なし		関連後科目 ¹⁹			
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回		マネージャーの役割と心構え	マネージャーが直面するビジネス環境について説明する			シラバス オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
第2回		マネージャーの役割と心構え	マネージャーに求められるミッションと5つの役割について説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第3回		マネージャーの役割と心構え	マネージャーの資質について説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第4回		マネージャーの役割と心構え	マネージャーの資質について説明する心得について説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第5回		人と組織のマネジメント	マネージャー自身のマネジメントについて説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第6回		人と組織のマネジメント	コミュニケーションの重要性について説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第7回		人と組織のマネジメント	部下のマネジメント、上司・外部とのコミュニケーションについて説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第8回		人と組織のマネジメント	人材育成と人事課・チームマネジメントと企業組織論について説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第9回		業務のマネジメント	経営計画・事業計画の策定について説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第10回		業務のマネジメント	マネージャーに求められる業務マネジメント			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第11回		業務のマネジメント	成果の検証と問題発見及びその解決・経営に関わる基礎知識について説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第12回		リスクのマネジメント	リスクマネジメントの考え方とその実践			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第13回		リスクのマネジメント	職場・業務に関わるリスクマネジメント			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第14回		リスクのマネジメント	組織に関わるリスクマネジメント・事故災害時に関わるリスクマネジメントについて説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPointno	
第15回		成績判定試験	成績判定試験実施 到達目標 筆記試験(選択問題・記述問題を解くことができる)			オリジナル試験問題	
21.							
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) ²¹							
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題) 記述式問題 授業内で出てきたワード(専門用語)を記述すること ④授業態度、提出物及び授業への出席状況を評価する。 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				60
②確認テスト							なし
③課題レポート			1位	2位			30
④授業態度				2位	1位		10
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹縄恵理	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	竹縄恵理	
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版:2024.7.16_YIC京都_校長

科目名 ¹		ビジネス英語		学科名 ² (コース名)		ビューティスペシャリスト科			学年 ³		2学年				
授業形態 ⁴		講義		学期		後期		開講年月 ⁵		9月		該当資格区分 ⁶		該当なし	
教育課程区分 ⁷		選択		単位数 ⁸		1		時間数 ⁹		30		該当資格名称 ¹⁰		該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. サロンでの対応について色々な場面で会話を教授する。 授業は簡単な会話を中心としビューティ分野に必要な表現も併せて教授する。													
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 英語でのコミュニケーションが出来る様になる。 中学1，2年で学ぶ内容をカバーしながら、英語で基本的なやり取りができる力を身につける。													
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること													
教科書名		14. 該当なし						教材名 ¹⁵		15. オリジナルプリント オリジナルPowerPoint					
設備名・機器名		16. 教材投影用プロジェクター/PC(講師用)						関連サイト ¹⁷		17.					
関連前科目		18. 該当なし						関連後科目 ¹⁹		19.					
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位												20.			
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標						使用教科書・教材				
第1回		基礎英語力テスト			英単語・レベルチェック						シラバス オリジナルPowerPoint オリジナルプリント				
第2回		Nice to meet you			オリエンテーション 自己紹介 初対面の挨拶						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第3回		How are you this morning?			相手の調子を尋ねたり、自分の調子を言うことが出来る、相槌を打つことが出来る様に説明をする。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第4回		What do you do in your free time?			余暇の過ごし方について尋ねたり、答えることができる様に説明する。 種類を尋ねたり、答えることができる様に説明する。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第5回		Where are you from?			天気の話をもきっかけに見知らぬ人と会話を始めることが出来る様に説明する。 出身地を尋ねたり、答える事が出来る様に説明する。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第6回		How much is it?			値段を尋ねたり、答えることが出来る様に説明する。 数字を正しく言えるように説明する。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第7回		May I have your name please?			受付で約束があることを伝えることが出来る様に説明する。 位置を表す表現を使うことが出来る様に説明する。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第8回		Where is the nearest bookstore?			道を尋ねたり、答えることが出来る様に説明する。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第9回		How was your weekend?			趣味について尋ねたり、答えることが出来る様に説明する。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第10回		Nice talking with you.			自然に会話を終わらせることが出来る様に説明する。 色々な別れの挨拶をすることが出来る様に説明する。 別れの挨拶に返答することが出来る様に説明する。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第11回		How about some paperbacks?			第三者の誕生日や好きなことを尋ねたり、答えることが出来る様に説明する。 提案する表現が使える様に説明する。 月や日付を正しく言えることが出来る様に説明する。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第12回		Do you have a fitness center?			Haveを使って設備やサービスについて質問できる様に説明する。 序数を使って何階かを伝えることが出来る様に説明する。 InやNext toを使って場所を伝えることが出来る様に説明する。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第13回		業務内で想定される会話			ビューティ業界に就職し、海外のお客様をお迎えした際に想定される会話の実践						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第14回		色々な場面の会話			自分が伝えたい事を英語で伝えられる様に説明する。						オリジナルプリント オリジナルPowerPoint				
第15回		成績判定試験			成績判定試験実施						オリジナルプリント				
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)												21.			
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題) ②記述式問題 授業内で出てきたワード(専門用語)を記述すること ③確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度、提出物及び授業への出席状況を評価する。 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点6.0点以上を合格とする															
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		評価配分%		成績評価基準	
①成績判定試験		1位		2位								50		秀(S):100点~90点	
②確認テスト		1位		3位		2位						30		優(A):89点~80点	
③課題レポート				1位		2位		3位				10		良(B):79点~70点	
④授業態度						2位		1位				10		可(D):69点~60点	
⑤作品												なし		不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション												なし			
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。												不合格の場合		補修、追試の有無等	
シラバス作成者		竹縄恵理		シラバス承認者		フルネームを記載		授業担当教員		竹縄恵理					
								実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載					
更新履歴															
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所				作成者		Check者(確認者)					
改1															
改2															
改3															
改4															
改5															

2025年度シラバス

科目名 ¹	インターンシップⅠ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科		学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を教授する。 インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成することを教授する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって、高い職業意識を育成する。 実社会に触れることによって、学習意欲を向上させる 人間性を高め、基本的な生活習慣を身につける						
受講条件	YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること						
教科書名	該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint オリジナルプリント		
設備名・機器名	教材投影用プロジェクター/PC(講師用)			関連サイト ¹⁷			
関連前科目	該当なし			関連後科目 ¹⁹			
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回		実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に説明する				シラバス オリジナルPowerPoint オリジナルプリント
第2回		実務研修の依頼	就職を希望する企業、サロンの調査表、インターンシップの依頼(電話・依頼文作成)企業等とのマッチング、日程調整を説明する				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint
第3回		挨拶状・レポート作成	受け入れ企業の決定に基づき、必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なものにする				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint
第4回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)				
第5回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)				
第6回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)				
第7回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)				
第8回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)				
第9回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)				
第10回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)				
第11回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)				
第12回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)				
第13回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)				
第14回		インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知識や経験を文書化し、共有化することを目的に体験報告を行う。それぞれの就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint
第15回		インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知識や経験を文書化し、共有化することを目的に体験報告を行う。それぞれの就業体験を通じて得たものを自己定着させる。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) ²¹							
出席率80%以上及び ③課題レポート 提出物を全体の成績に反映する ④授業態度、提出物及び授業への出席状況を評価する。 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験							秀(S): 100点~90点
②確認テスト							優(A): 89点~80点
③課題レポート		1位	2位	3位		30	良(B): 79点~70点
④授業態度				2位	1位	10	可(D): 69点~60点
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹縄恵理	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	竹縄恵理		
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

2025年度シラバス

科目名 ¹	インターンシップⅡ		学科名 (コース名) ²	ビューティスペシャリスト科			学年	2学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	選択	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を教授する。 インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成することを教授する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって、高い職業意識を育成する。 実社会に触れることによって、学習意欲を向上させる 人間性を高め、基本的な生活習慣を身につける						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること						
教科書名		該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint オリジナルプリント		
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター/PC(講師用)			関連サイト ¹⁷			
関連前科目		該当なし			関連後科目 ¹⁹			
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回		実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に説明する				シラバス オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第2回		実務研修の依頼	就職を希望する企業、サロンの調査表、インターンシップの依頼(電話・依頼文作成)企業等とのマッチング、日程調整を説明する				オリジナルプリント オリジナルPowerPointto	
第3回		挨拶状・レポート作成	受け入れ企業の決定に基づき、必要書類などの作成を行いインターンシップを有意義なものにする				オリジナルプリント オリジナルPowerPointto	
第4回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)					
第5回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)					
第6回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)					
第7回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)					
第8回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)					
第9回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)					
第10回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)					
第11回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)					
第12回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)					
第13回		実務研修	受け入れ事業所で就業体験(実習日誌)					
第14回		インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知識や経験を文書化し整理することを目指す。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する				オリジナルプリント オリジナルPowerPointto	
第15回		インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知識や経験を文書化し整理することを目指す。体験報告レポートをまとめ、インターンシップ報告書を作成することを説明する				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint	
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) ²¹								
出席率80%以上及び ③課題レポート 提出物を全体の成績に反映する ④授業態度、提出物及び授業への出席状況の評価する。 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験								秀(S): 100点~90点
②確認テスト								優(A): 89点~80点
③課題レポート		1位	2位	3位			30	良(B): 79点~70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D): 69点~60点
⑤作品							なし	不可(E): 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	竹縄恵理	シラバス承認者	フルネームを記載			授業担当教員	竹縄恵理	
						実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載	
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所			作成者	Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								